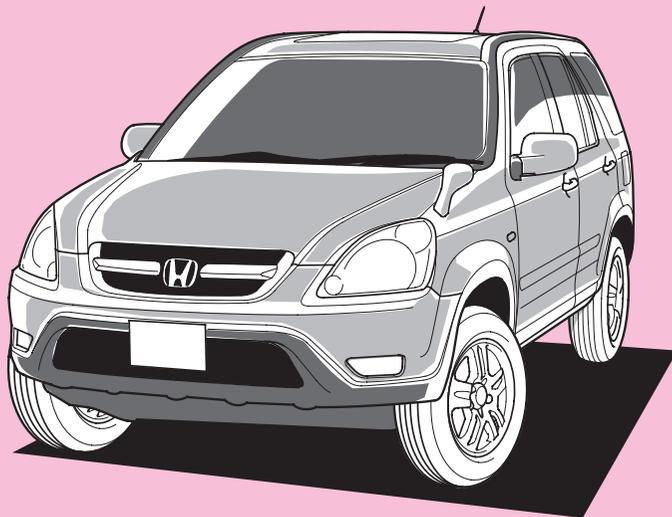


このたびはHonda車をお買い上げいただき、 ありがとうございます。

この本は **CR-V** の取り扱いについて
必要事項を説明しています。
安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、
ご使用前に必ずお読みください。



<ul style="list-style-type: none">● 運転はルールを守り、マナーよく。<ul style="list-style-type: none">・ シートベルトを着用しましょう。・ 法定速度を守りましょう。・ 子供やお年寄りをいたわりましょう。・ 駐停車は、ルールに従いましょう。・ 迷惑運転はやめましょう。・ 自然環境保護に気をくばりましょう。	<ul style="list-style-type: none">● 取扱説明書はメンテナンスノートと共に、いつもお車に保管してください。● お車をゆずられるときは、つぎに所有されるかたのためにこの取扱説明書およびメンテナンスノートを車につけておいてください。
<ul style="list-style-type: none">● 保証や点検整備に関することはメンテナンスノートに記載しておりますので、ご使用前に必ずお読みください。	<ul style="list-style-type: none">● ご不明な点は、担当セールスマンにおたずねください。

車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。

本書の読みかた

この本はドライバーの動作に沿って各部の取り扱いを説明しています。
また、装備、万一のときの応急処置、お車の手入れなど、必要な情報を説明しています。

「安全ドライブのための必読6ポイント」

重要ですので、しっかりお読みください。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

アドバイス

お車のために守っていただきたいこと
(車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、異常事態の処置方法を記載しています)

知識

知っておいていただきたいこと
知っておくと便利なこと

タイトル

階層ごとにデザインを変えてあります

ヘッダー

ページの内容を示しています

ページ

インデックス
(→4ページ)

7. 車との上手なつきあいかた

積雪・寒冷時の取り扱い



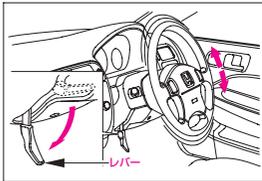
ハンドル・バックミラーの調節

チルトステアリング

ハンドルの高さを適切な位置に変えることができます。



レバーを押し下げ、ハンドルの高さを適切な位置にして、レバーを元の位置まで確実に引き上げて固定します。



△注意

- 走行中に調節するとハンドルが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行する前に行い、ハンドルに上下方向の力を加え固定されていることを確認してください。

ルームミラー

知 識

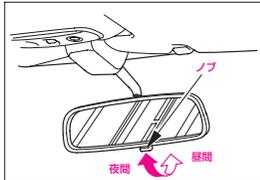
- 走行中はミラーの調節を行わないでください。

●防眩式ルームミラー

夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を弱くできます。



ノブを動かして切り換えます。



角度調節はノブを昼間の位置にして行ってください。

●長期間使わないで屋外におくとき

塗装面の保護とドアまわりの凍結を防ぐために、ボディカバーを使ってください。

△注意

- 格納するとき、エンジン部を毛布で覆ったり、ラジエーターのまわりに段ボールや新聞紙をはさみ込んだりしないでください。そのまま走行すると、火災のおそれがあります。

193

44

説明文

装置／機構について

解説



操作方法

安全に関する表示

に分けて記載しています。

※このページはサンプルページですので、記載されている内容と実車は異なります。

本書の上手な使いかた

知りたい項目の説明がすぐ探せるように、いろいろな引きかたが用意されています。



タイトルから探すとき



目次(P.5)

ページインデックス:

目次と対応しているので、目的のページが辞書を引くように探せます。



スイッチ類などの名称が
わからないとき



ビジュアル目次
(P.6~10)



名称から探すとき



さくいん
(P.306~315)

目次

◆安全ドライブのための必読 6 ポイント

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. お出かけまえに 12 | 2. お子さまに思いやりを 14 |
| 3. 正しい知識で最適運転 18 | 4. オートマチック車の注意ポイント 20 |
| 5. 駐車や停車はしっかりと 24 | 6. こんなことにも注意をしよう 26 |

11

1. 車を運転する前に

- | | |
|--------------------|------------|
| ・各部の開閉 32 | ・シートの調節 48 |
| ・ハンドル・バックミラーの調節 62 | ・シートベルト 68 |
| ・チャイルドシート固定装置 78 | |

31



2. 車を運転するときに

- | | | |
|---------------|-------------|----------------------|
| ・メーター 84 | ・表示灯 88 | ・警告灯 92 |
| ・スイッチの使いかた 98 | ・運転のしかた 108 | ・コーナーセンサー&バックソナー 126 |

83



3. 安全装備

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| ・SRSエアバッグシステム 130 | ・サイドエアバッグシステム 138 |
| ・シートベルトプリテンショナー 148 | ・アンチロックブレーキシステム(ABS) 150 |
| ・ビークルスタビリティアシスト(VSA) 152 | ・四輪駆動機構(4WD) 156 |
| ・その他の安全装備 157 | |

129



4. ドライブを快適にする装備

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| ・エアコン 160 | ・オーディオ 170 | ・室内装備品 212 |
|-----------|------------|------------|

159



5. 万一のとき

- | | | |
|--------------------|--------------|------------------|
| ・工具・スペアタイヤ・発炎筒 230 | ・故障したとき 232 | ・事故が起きたとき 234 |
| ・けん引 236 | ・パンクしたとき 240 | ・オーバーヒートしたとき 250 |
| ・電気系統が異常のとき 252 | | |

229



6. 車の手入れ

- | | | |
|----------------|-------------|-----------------|
| ・点検・整備について 268 | ・日常の手入れ 270 | ・車にあった部品の使用 280 |
|----------------|-------------|-----------------|

267



7. 車との上手なつきあいかた

- | | |
|------------------|-------------|
| ・積雪・寒冷時の取り扱い 282 | ・こんなときは 292 |
|------------------|-------------|

281



・サービスデータ

298

・さくいん

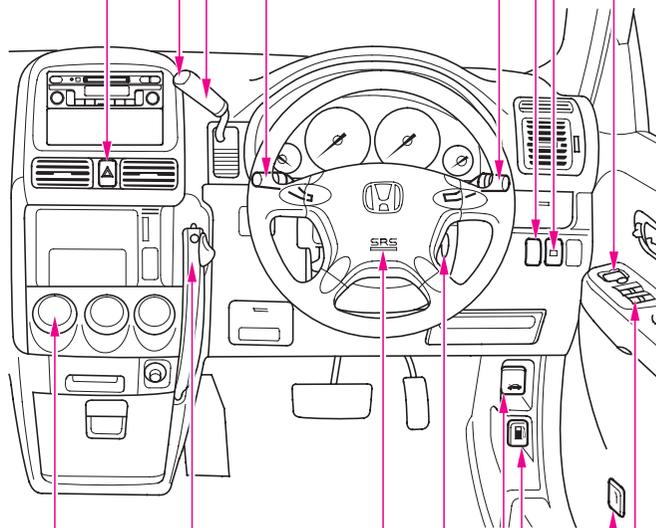
306

・こんなことでお困りのとき

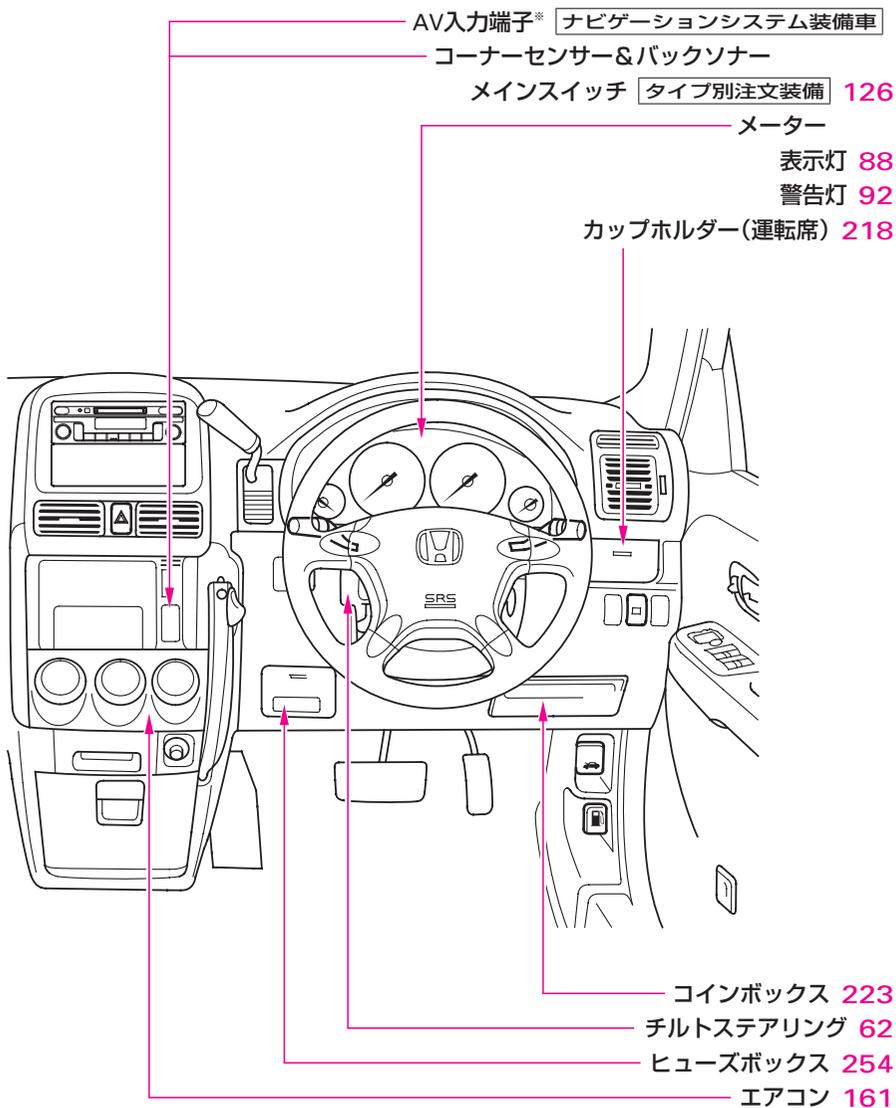
巻末

ビジュアル目次

- ドアミラー調節スイッチ 64
- サンルーフスイッチ タイプ別注文装備 46
- ビークルスタビリティアシスト(VSA)OFFスイッチ タイプ別注文装備 154
- ライト/方向指示器スイッチ 100、101
- フォグライトスイッチ タイプ別装備 101
- ワイパー/ウォッシャースイッチ 102
- セレクトレバー オートマチック車 114
- チェンジレバー マニュアル車 112
- オーバードライブ(O/D)スイッチ
オートマチック車 116
- 非常点滅灯(ハザード)スイッチ 106



- リヤデフロスタースイッチ 105
- パーキングブレーキ 111
- ホーンスイッチ 106
- エンジンスイッチ 98
- ボンネット解錠ノブ 36
- フューエルリッドオープナー 42
- ガラスハッチオープナー 40
- パワーウィンドースイッチ 44



※：ナビゲーションシステム装備車については、
 別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をご覧ください。

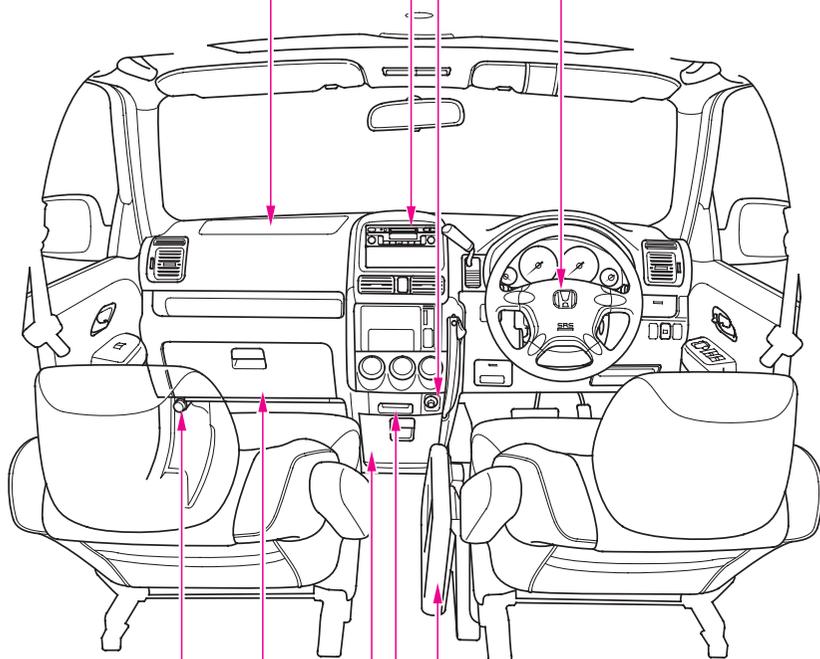
ビジュアル目次

SRSエアバッグシステム(運転席用) 130

シガレットライター 214

オーディオ 注文装備 173

SRSエアバッグシステム(助手席用) 130



発炎筒 230

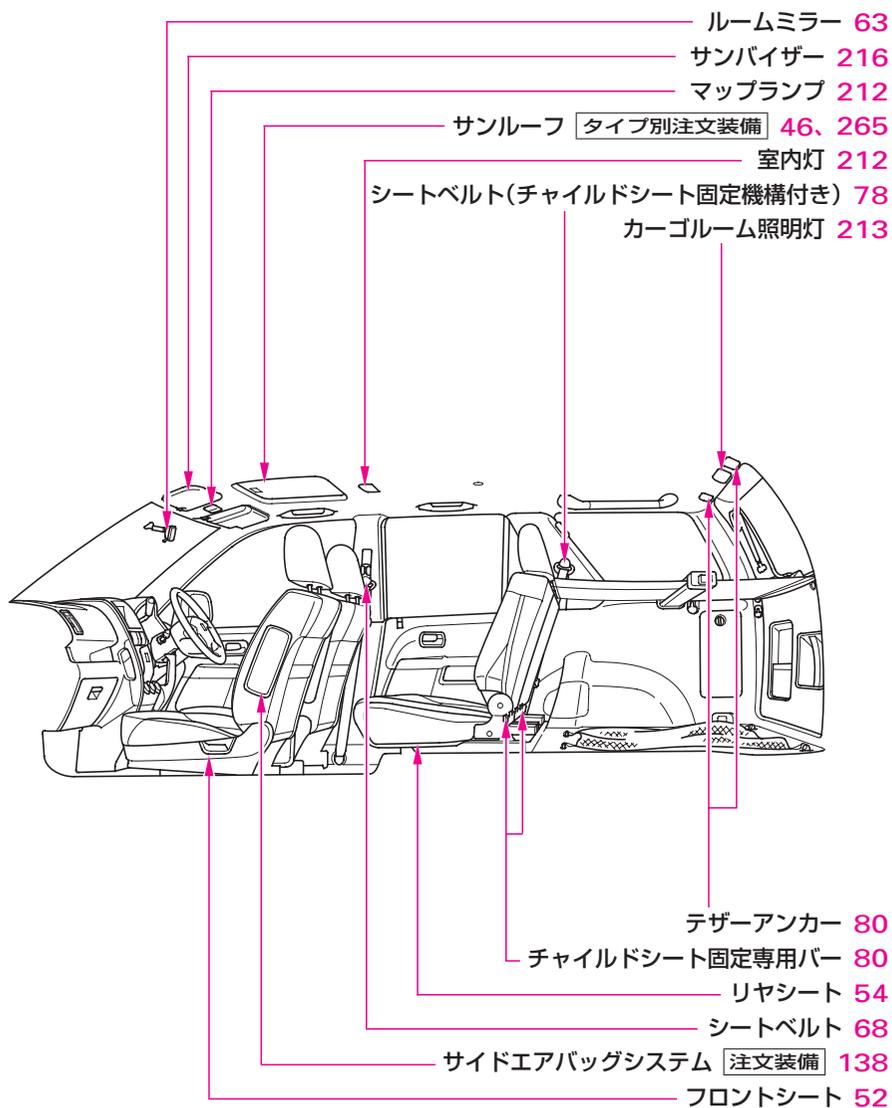
グローブボックス 222

センターポケット

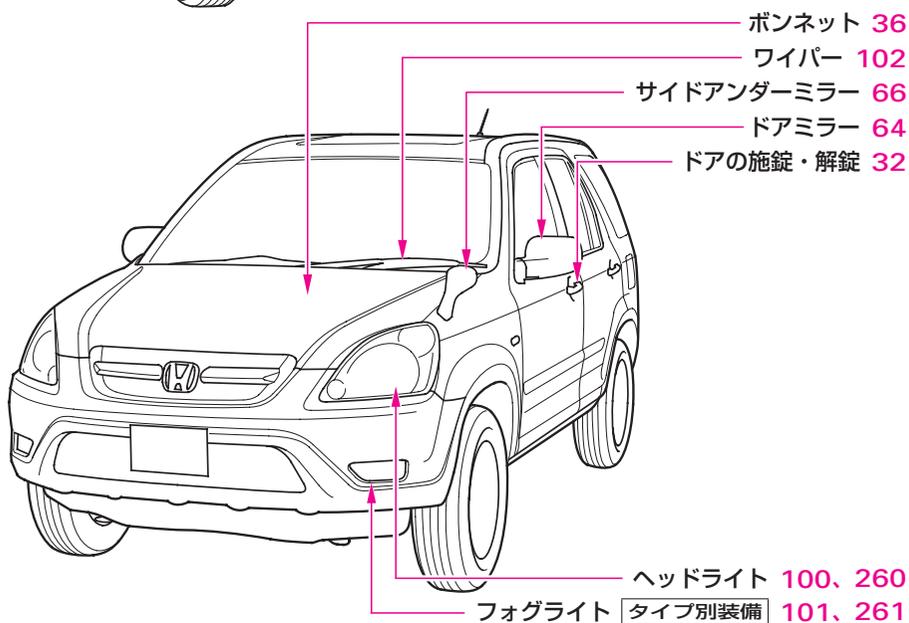
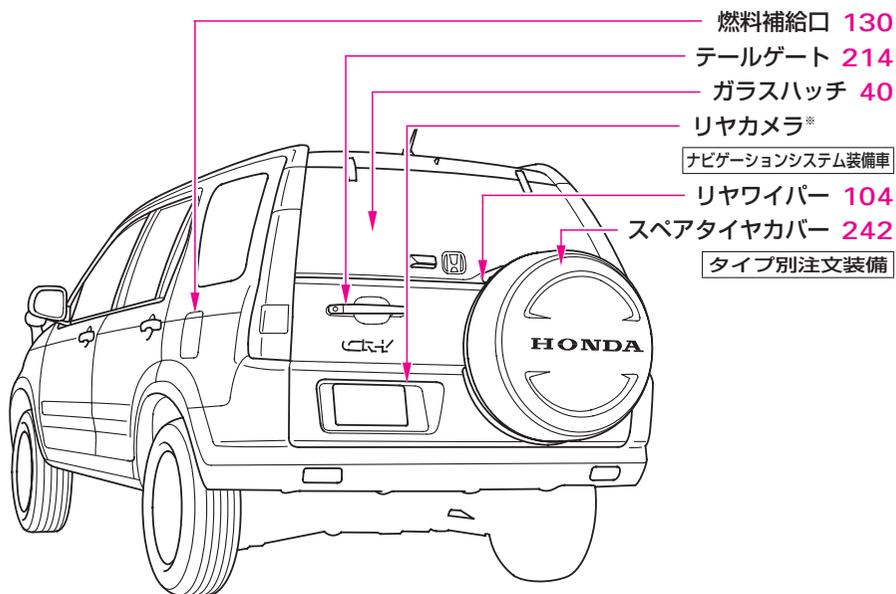
オートマチック車 222

灰皿 215

センターテーブル 217



ビジュアル目次



※リヤカメラについては、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をご覧ください。

安全ドライブのための 必読6ポイント

ご使用の前に知っておいていただきたいこと、
守っていただきたいことをまとめてあります。

POINTS

6

- お出かけまえに…………… 12
- お子さまに思いやりを…………… 14
- 正しい知識で最適運転…………… 18
- オートマチック車の注意ポイント… 20
- 駐車や停車はしっかりと…………… 24
- こんなことにも注意をしよう…………… 26

1 お出かけまえに・・・

点検をわすれずに。

<メンテナンスノート参照>

- 道路運送車両法により、法定定期点検と日常点検が義務づけられています。

安全・快適にお使いいただくために、Hondaの点検要領に従って必ず点検してください。

日常点検は車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

- 普段と違う点に気づいたら、ホンダベルノ店で点検を受けてください。(音、におい、ブレーキ液の不足、地面に油のあとが残っている時・・・)
- 走行中も車の状態に気を配り、いつもと違う音やにおい、運転感覚などを感したら早めに点検しましょう。

シートベルトを正しく着用。

<68ページ参照>

- 運転する人はもちろん、同乗する人にも必ず着用させてください。
- シートに深く腰かけ、背もたれは必要以上に倒さないでください。
- 腰骨のできるだけ低い位置に着用してください。



- ベルトにねじれがないか確かめてください。



- ベルトがくび、あご、顔などに当たらないようにしてください。



- 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。



燃料の入った容器やスプレー缶などはのせないで。

引火、爆発のおそれがあります。



運転のさまたげになるものには注意を。

- 走行中動きやすい物を床にそのまま置かないでください。
- フロアマットが、ペダルに引っかからないように注意してください。ブレーキやアクセルのペダル操作が、確実にできないおそれがあります。

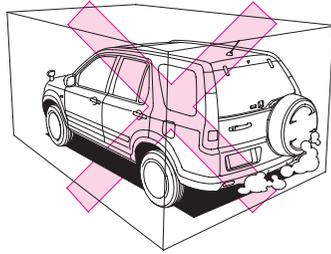


- 手荷物はシートの高さを越えないようにしましょう。後方視界をさまたげたり、急ブレーキのときなどに荷物がとび出すおそれがあります。



排気ガスには十分に気をつけて。

- 排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素が含まれているため、吸い込むと一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところでは、エンジンをかけたままにしないでください。車内や屋内などに排気ガスが充満し一酸化炭素中毒のおそれがあります。



- 排気管に穴や亀裂があったり、排気音の異常に気づいたらホンダベルノ店で点検を受けてください。車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。

お子さまに思いやりを

お子さまは、うしろの席に。

- 助手席にのせるのは避けましょう。
 - ・ 不意の動作が気になったり、スイッチ・レバー類のいたずらなど運転のさまたげになるおそれがあります。また、事故が起きた場合、後席のほうが安全といわれています。
 - ・ インstrumentパネルに手をついたり、顔や胸を近づけた状態での乗車は、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受けるおそれがあり危険です。
 - ・ サイドエアバッグ装備車では、フロントドアに寄りかかった状態での乗車は、サイドエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受けるおそれがあり危険です。
 - ・ お子さまを後席に乗せることができなく、やむをえず助手席に乗せるときは、一番大きなお子さまを乗せてください。

- チャイルドブーフをお使いください。<35ページ参照>

お子さまにもシートベルトを。

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させるか、チャイルドシート*をお使いください。
お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず危険です。



- ※：乳児用シート、幼児用シート、学童用シートをまとめた総称として「チャイルドシート」と呼んでいます。

●お子さまのくびやあごにシートベルトがあたる場合や腰骨にかからない場合は、**幼児用シートや学童用シート**を使用してください。

- シートベルトをそのまま使うと衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。また、ひとりですわることのできない小さなお子さまは乳児用シートを使用してください。
- チャイルドシートは安全装備です。国土交通大臣が型式を指定または認定したマークが付いているもの、もしくはアメリカやヨーロッパなどの安全基準に合格しているものを必ず選んでください。
- シート形状などにより、チャイルドシートを正しく取り付けできない席があります。このようなときは、他の席で試してください。または、この車に合ったチャイルドシートを使用してください。
- この車には、ISO FIX テザータイプのチャイルドシートを固定するための専用バーとテザーアンカーが装備されています。この車用に認可を取得したチャイルドシートのみ固定し、使用することができます。

ISO FIX テザータイプチャイルドシート固定装置 →80ページ

- Honda純正品をご用意しています。ご購入、ご使用に際してはホンダベルノ店にご相談ください。

《選択の目安》

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

ISO FIXタイプを除く

	体重(kg)	身長(cm)	参考年令
乳児用(ベビー)シート	~10	~75	~12か月
幼児用(チャイルド)シート	7~18	65~100	4か月~4才
学童用(ジュニア)シート	15~32	100~135	4才~10才

ISO FIXテザータイプ

	体重(kg)	身長(cm)	参考年令
乳児用(ベビー)シート	~9	~75	~9か月
幼児用(チャイルド)シート	9~18	75~100	9か月~4才

安全ドライブのための必読6ポイント

- チャイルドシートは確実に取り付けてください。

お子さまを乗せるときは、チャイルドシートが車に確実に取り付けられていることを確認してください。

また、お子さまの体をチャイルドシートにきちんと固定してください。

- ・ISO FIX対応以外のチャイルドシートは、シートベルトの種類やチャイルドシートの種類と取り付けの向きによっては、固定金具(ロッキングクリップ)が必要になることがあります。

シートベルトの種類 →70ページ

チャイルドシート固定機構付き

シートベルト →78ページ

- ・ISO FIX テザータイプのチャイルドシートは、専用バーとテザーアンカーを用いて固定します。

チャイルドシートを前向きに取り付けるときは、このバーとテザーアンカーを用いて固定します。

後ろ向きに取り付けるときは、テザーアンカーは使用しません。

チャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。

- ・車両側のテザーアンカーにテザーストラップを結合することにより、チャイルドシートを確実に固定することができます。

ISO FIX テザータイプチャイルド

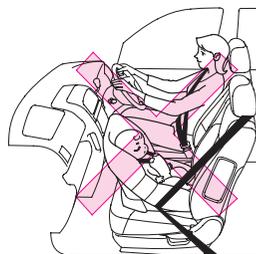
シート固定装置 →80ページ

- ・詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

- 助手席には乳児用シートを取り付けしないでください。また、幼児用シートを後ろ向きに取り付けしないでください。

・SRSエアバッグが膨らむ際、乳児用シートや、幼児用シートの背面に強い衝撃を受け危険です。

・やむをえず幼児用シートを前向きに取り付ける場合は、SRSエアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。



- チャイルドシートを取り外したまま車内に放置しないでください。

ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

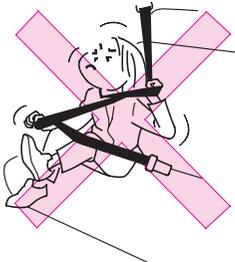
お子さまを乗せないときでも確実に取り付けるか、家などに保管してください。

ドア、テールゲート、ガラスハッチ、ウィンドー、サンルーフ、シートの操作は必ず大人が。

- 手、足、くびなどをはさまないように、気をつけてください。
- パワーウィンドーのメインスイッチは、“OFF”にしておきましょう。
＜44ページ参照＞
- 走行中、一時停止のときなど、窓やサンルーフから手や頭、物などを出さないよう、注意してください。
思わぬ障害物で事故のおそれがあります。

お子さまをシートベルトで遊ばせないで。

- チャイルドシート固定機構付きシートベルトでは、ベルトをすべて引き出すと完全にベルトを戻すまでは引き出し方向には動きません。
ベルトを身体に巻きつけたりして遊んでいると、固定機構が作動してベルトがゆるまなくなり、窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 万一ベルトをゆるめることができなくなった場合は、はさみなどでベルトを切断してください。



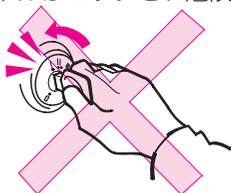
車から離れるときは、お子さまも一緒に連れて。

- お子さまだけを車内に残さないでください。
 - ・炎天下の車内は、高温になり危険です。
 - ・お子さまのいたずらにより車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。



正しい知識で最適運転

- 走行中ハンドルの中に手を入れて、スイッチを操作しないでください。ハンドル操作のさまたげになり大変危険です。
- 走行中はエンジンを止めないでください。
 - ・ ブレーキ倍力装置が作用しないため、ブレーキのききが悪くなります。
 - ・ パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなり、ハンドル操作が重くなります。
 - ・ マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“0”にすると、キーが抜けることがあり、ハンドルがロックされ危険です。



長い下り坂ではエンジンブレーキを。

- ブレーキペダルを踏み続けて走行するとブレーキが過熱して、ききが悪くなることがあります。
- 長い下り坂では、走行速度に合わせ、ギヤを一段ずつ落として、エンジンブレーキを併用してください。オートマチック車はオーバードライブ(O/D)スイッチをOFFにするかを使ってください。特に強いブレーキ力が必要なときはを使ってください。



エンジンブレーキ：

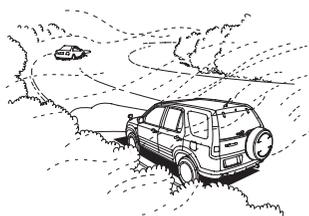
走行中アクセルペダルを戻したときにかかるブレーキ力のことで、低速ギヤほどよくききます。

オーバードライブ(O/D)スイッチ

→116ページ

霧が出たときは。

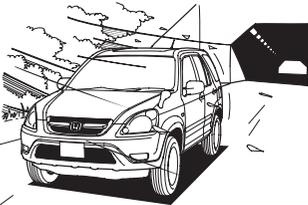
- 霧が出たときは、視界が悪くなります。屋間でもヘッドライトを下向きで点灯し、中央線、ガードレールや前の車の尾灯などをめやすにして、速度を落として運転してください。



横風の強い日は。

- 横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、スピードを徐々に下げて進路を立て直してください。

トンネルの出口、橋・土手の上、山を削った切り通し、大型トラックを追い越したり、追い越されたりするときなどには、特に横風の影響を受けやすいので十分注意してください。



雨天時の走行には注意を。

- 雨天時やぬれた道路では、路面が滑りやすくなっておりタイヤのグリップ力が低下するため、通常より注意深い運転が必要です。

急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、スピードを落として安全運転に心がけてください。

- わだちなどの水のたまりやすい場所では、ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

ハイドロプレーニング現象とは

→292ページ



水たまりに入ったあとはブレーキのきき具合を確認。

- 水たまり走行後や洗車後は、低速で走行しながらブレーキペダルを軽く踏んできき具合を確認してください。ぬれたブレーキはききが悪かったり、ぬれていない片側だけがきいてハンドルをとられることがあります。
- ブレーキのききが悪いときは、前後の車に十分注意しながら低速で走行し、ブレーキのききが回復するまで、繰り返しブレーキペダルを踏んでください。

走行中異常があったら。

- 警告灯が点灯したら、ただちに安全な場所に停車し処置をしてください。
<92ページ参照>

点灯したまま走行を続けると、思わぬ事故のもとになったり、エンジンなどを損傷するおそれがあります。

- 走行中にタイヤがパンクやバースト（破裂）してもあわてずに、ハンドルをしっかり握り、徐々にブレーキをかけてスピードを落とし、安全な場所に停車してください。

急ブレーキや急ハンドルは車のコントロールを失うことがあり危険です。

- 床下に強い衝撃を受けたときは、ただちに車を止めて、ブレーキ液や燃料の漏れ、各部に損傷がないかを確認してください。

ブレーキ液や燃料の漏れ、損傷などにより思わぬ事故につながるおそれがあります。

オートマチック車の 注意ポイント

4

オートマチック車は、その特性や操作上の注意をよく理解することが大切です。

「オートマチック車の運転のしかた」もあわせてお読みください。

<118ページ参照>

オートマチック車の特性を正しく理解。

クリーブ現象とは

- エンジンがかかっているとき、セレクタレバーがP/N以外に入っていると、動力がつながった状態になり、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出します。これをクリーブ現象といいます。

キックダウンとは

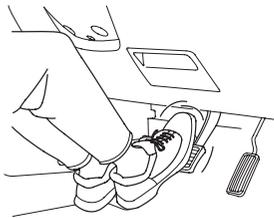
- Pで走行中にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り換わり、エンジンの回転数が上がって、力強い加速を得ることができます。これをキックダウンといいます。

1 ブレーキは右足で。

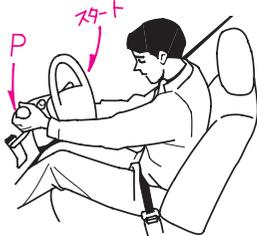
- ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけましょう。
不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。

2 エンジンをかけるまえに。

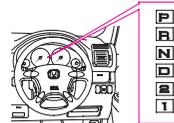
- ペダルの踏みまちがいのないよう、右足でペダルの位置を確認しておきましょう。

**3 エンジンをかけるとき。**

- 安全のため、セレクトレバーは駆動輪が固定されるPでエンジンをかけましょう。

**4 スタートするとき。**

- 思いちがいを防ぐため、セレクトレバーの位置をメーター内のセレクトポジション表示灯で確認しましょう。
- 発進時のセレクトレバーの操作は、右足でブレーキペダルをしっかりと踏み、車が動かないようにして行いましょう。
- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。急発進して思わぬ事故のもとになります。



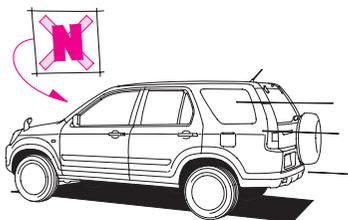
- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がり、クリーブ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかり踏んでいてください。エアコン作動時も同じです。
- 坂道での発進は車が後退しないように必ずパーキングブレーキを併用し、先にブレーキペダルを離してアクセルペダルに踏みかえてから、パーキングブレーキをもどしてください。

安全ドライブのための必読6ポイント

5 走行しているとき。

- 走行中は、セレクトレバーをNにしないでください。

エンジンブレーキが全くきかず、思わぬ事故のもとになります。



- 上り坂で、速度を保とうとしてアクセルペダルを踏み込んだとき、キックダウンにより、急にエンジン回転が上がり、思ったより速度が出てしまうことがあります。

アクセルペダルは、慎重に操作してください。

また、すべりやすい路面やカーブでは、急激なアクセルペダル操作は避けてください。

- 下り坂では、エンジンブレーキも使いましょう。

フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが過熱して、ブレーキのききが悪くなるおそれがあります。

エンジンブレーキ →18ページ

6 停車しているとき。

- 車が動かないようにブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけましょう。
- 停車中の空ぶかしは、やめましょう。万一、セレクトレバーがR以外入りのとき、思わぬ急発進のもとになります。

7 駐車するとき。

- 駐車するときは、パーキングブレーキをかけてセレクトレバーをPに入れ、エンジンを止めましょう。

万一、セレクトレバーがR以外に入っていると、クリーブ現象で車が動き出したり、乗り込むときに、誤ってアクセルペダルを踏み込んで急発進したりするおそれがあります。



ほかに気をつけたいこと。

- 後退したあとは、すぐ④から⑤にもどす習慣をつけましょう。
ちょっと後退したときなど、④に入れたことを忘れてしまうことがあります。
- 前進から後退、後退から前進するときは車を完全に止め、ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバーを操作してください。
車が完全に止まらないうちにレバーを操作すると、トランスミッション破損のおそれがあります。
- 車が完全に止まらないうちに、④に入れないでください。
急停止して危険であるばかりでなく、トランスミッション破損のもとになります。

シフトロック装置の正しい理解を。

- ブレーキペダルを踏んでいないと、④からのセレクトレバー操作はできません。
 - ・ エンジンスイッチが、“1”または“0”のときには、ブレーキペダルを踏んでも、レバーは操作できません。
 - ・ セレクトレバーを引いたままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- ④以外では、エンジンスイッチからキーは抜けません。
④以外では、キーが“1”から“0”に回りません。
- ④に入るとチャイムが鳴ります。
 - ・ セレクトレバーが④のときにチャイムが鳴り、④に入っていることを運転者に知らせます。
 - ・ 車外の人には音が聞こえませんので、ご注意ください。
- 万一、④や⑤からセレクトレバーが操作できないときは：
 - ・ カバーを外し、
→121ページ
 - ・ キーまたはドライバーをシフトロック解除穴に差し込み、
 - ・ キーまたはドライバーを押しながら、セレクトレバーを操作します。

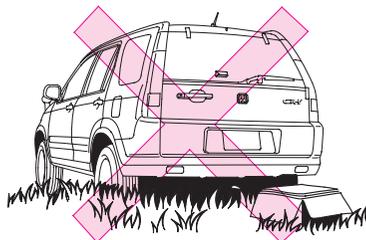


5 駐車や停車は しっかりと

可燃物には注意を。

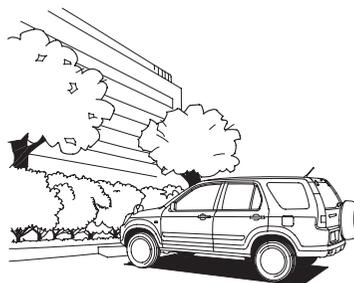
- 枯草や紙、油、木材など燃えやすいものがあるところには、駐停車しないでください。

排気管や排気ガスの熱により、着火するおそれがあります。



植込みなどにも注意して。

- 植込みなどの近くに駐停車するときには、排気ガスが当たらないように、車の向きを決めましょう。



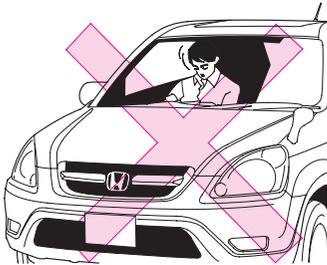
仮眠するときはエンジンを止める。

- エンジンを必ず止めてください。

無意識にチェンジレバーやセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

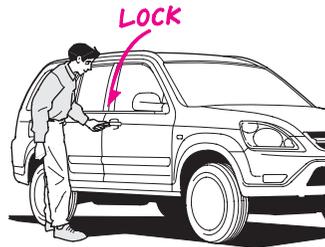
また、無意識にアクセルペダルを踏み続けたりした場合、オーバーヒートなどを起こしたり、エンジンや排気管などの異常過熱による火災事故が発生するおそれがあります。

さらに風向や周囲の状況等によっては、車内に排気ガスが侵入し一酸化炭素中毒のおそれもあります。



車から離れるときには施錠を。

- 必ずパーキングブレーキをかけ、エンジンを止め、ドアを施錠してください。
- 車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
- お子さまも連れていきましょう。



車の移動はエンジンをかけて。

- 車を移動するときは、必ずエンジンをかけてください。

下り坂を利用した移動などは、思わぬ事故を招くことがあります。

坂道での駐車は。

- パーキングブレーキをかけ、チェンジレバーまたはセレクトレバーを下表の位置に入れてください。

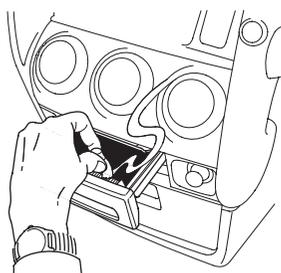
	マニュアル車	オートマチック車
上り坂	1	
下り坂	R	P
平地		

さらに、タイヤに輪止めをすると効果があります。

こんなことにも 注意をしよう

タバコの吸いがらは火を消して。

- タバコ、マッチなどは、確実に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず閉めてください。
- 灰皿の中に吸いがらをため過ぎたり、燃えやすいものを入れたりしないでください。



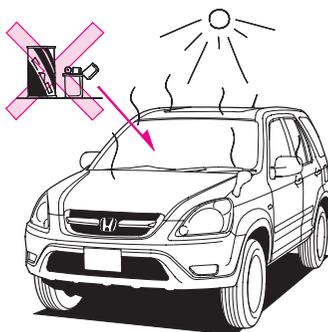
アクセサリーの取り付けには注意を。

- ガラス面にアクセサリーなどを取り付けしないでください。
視界をさまたげたり、吸盤がレンズのはたらきをして火災を起こしたり、思わぬ事故のもとになります。



車内にライターや炭酸飲料缶などを放置しないで。

炎天下での駐車などで車内温度が上昇すると、ライターなどの可燃物は自然発火したり、缶などは破裂したりするおそれがあります。



ラジエーターキャップに気をつけて。

- ラジエーターキャップが熱いときは、外さないでください。
蒸気や熱湯が吹き出し危険です。



ハンドルをいっぱい回した状態をつづけない。

- ハンドルをいっぱい回した状態から、さらに回そうとする力をかけつづけないでください。
パワーステアリングポンプがオイル潤滑不良をおこし、損傷することがあります。

動物を乗せるときは、動きまわらないように注意して。

運転のさまたげになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながるおそれがあります。

携帯電話の使用は停車中に。

- 運転者は、携帯電話を走行中に使用しないでください。
運転中の使用により周囲の状況に対する注意が不十分になると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

改造はしない。

- Honda純正部品以外の、車の性能や機能に適さない部品を、使用しないでください。
 - ・適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりすることがあります。
 - ・Hondaが国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、違反になることがあります。
- ホイールは、CR-V専用品をご使用ください。
専用品以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすことがあります。
ホンダベルノ店にご相談ください。
- 無線装置や自動車電話などの取り付けの際には、必ずホンダベルノ店にご相談ください。
装置や取り付け方法が適切でない場合、電子機器部品に悪影響をおよぼすことがあります。



安全ドライブのための必読6ポイント

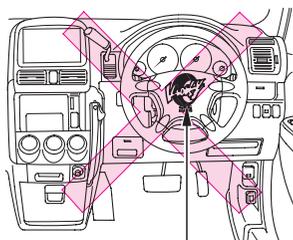
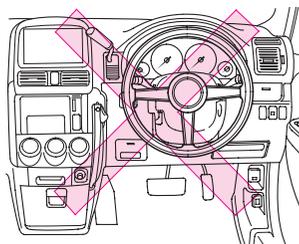
- 運転席および助手席に、SRSエアバッグシステムが装備されています。ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりしないください。

インストルメントパネル上面には、ステッカー類を貼ったり、アクセサリや芳香剤など物を置かないください。

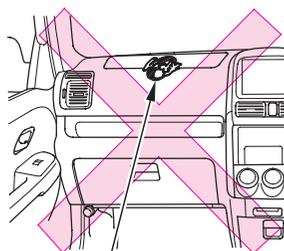
また、フロントガラスにアクセサリなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。

- ・SRSエアバッグが正常に機能しなくなります。
- ・作動時にこれらの物がとぶことがあります危険です。
- ・次の場合は、必ず、ホンダベルノ店にご相談ください。

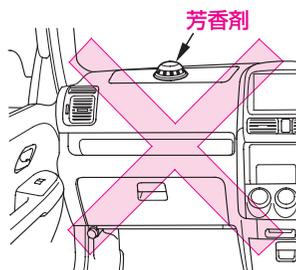
- ①ハンドルまわりの修理
- ②センターコンソール付近の修理
- ③カーステレオ等用品の取り付け
- ④ダッシュボード周辺の板金塗装および修理
- ⑤インストルメントパネルまわりの修理



ステッカー



ステッカー



芳香剤

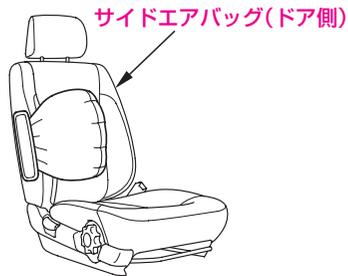
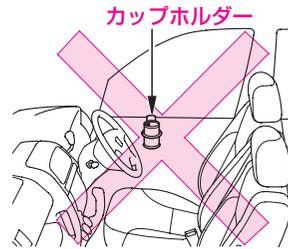
- 運転席および助手席用サイドエアバッグシステム装備車は、フロントドアやその周辺にカップホルダーなどの用品を取り付けたりしないでください。

フロントシートとドアの間付近に傘などの物を置かないでください。

フロントシートにシートカバーを取り付けしないでください。

また、新車時についているビニールのシートカバーは、必ず外してください。

- ・サイドエアバッグが正常に機能しなくなります。
- ・作動時にこれらの物がとぶことがあります。
- ・次の場合は、必ず、ホンダベルノ店にご相談ください。
 - ①フロントシートまわりの修理
 - ②センターコンソール付近の修理
 - ③カーステレオ等用品の取り付け
 - ④センターピラーまわりの修理

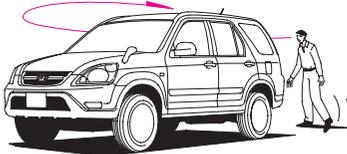


安全ドライブのための必読6ポイント

発進するときは、まわりの状況に十分注意して。

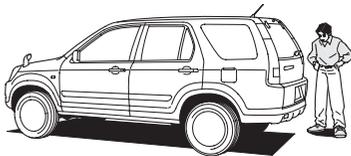
車の周りには運転席から見えないところ(死角)があります。発進するときは子供や障害物など車のまわりの状況に十分注意してください。

- 駐車後に発進するときは、車のまわりの安全確認を十分に行ってください。



- 後退するときに十分な視界が得られない場合は、車から降りて後方を確認してください。

バックミラーでは確認しきれない死角(車の直後など)があります。



- 信号待ちなどの停車後に発進するときは、つねにまわりの状況に目を配り、安全確認を十分に行ってください。





車を運転する前に

●各部の開閉

キー	32
ドアの施錠・解錠	32
ボンネット	36
テールゲート	38
ガラスハッチ	40
燃料補給口	42
パワーウィンドー	44
サンルーフ	46

●シートの調節

正しい運転姿勢	48
シートアレンジインデックス	50
フロントシート	52
リヤシート	54
フラットシート (前後席フラットモード)	58
カーゴスペースの作りかた	60

●ハンドル・バックミラーの調節

チルトステアリング	62
ルームミラー	63
ドアミラー	64
サイドアンダーミラー	66

●シートベルト

シートベルト	68
着用のしかた	74

●チャイルドシート固定装置

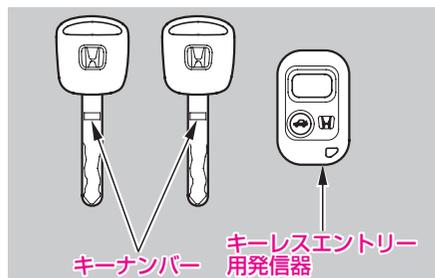
チャイルドシート固定機構 付きシートベルト	78
ISO FIX テザータイプチャイルド シート固定装置	80

1

各部の開閉

キー

キーは、エンジンの始動、停止のほかに、ドア、テールゲートの施錠・解錠、ガラスハッチの解錠に使えます。



キーレスエントリー用発信器はドアとテールゲートの施錠・解錠、ガラスハッチの解錠がキーを使わずにできます。

キーレスエントリー →34ページ

キーレステールゲートオープナー
→38ページ

キーレスガラスハッチオープナー
→40ページ

知 識

- キーナンバーを控えておいてください。キーを紛失したときは、キーナンバーをホンダベルノ店へご連絡いただければ、購入することができます。

キーレスエントリー用発信器を紛失したときは、ホンダベルノ店へご連絡ください。

ドアの施錠・解錠

⚠ 注意

- ドアは確実に閉めてください。半ドアでは、走行中にドアが開き思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

🎓 知 識

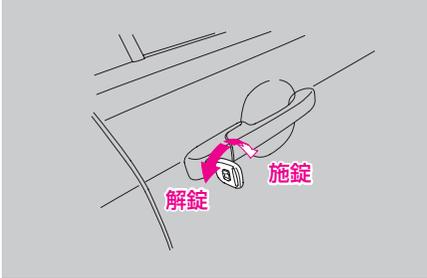
- ドアは不用意に開けると後続車などがぶつかることがあるので周囲の安全を確かめてから開けてください。
- 強風時にドアを開閉するときは、風にあおられないよう注意してください。
- 車から離れるときは、エンジンを止めドアを必ず施錠してください。また、車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
- 運転席ドアの解錠・施錠に連動して、室内灯が点灯・消灯します。

室内灯 →212ページ



●車外から行う場合

キーを確実に差し込んで回します。
運転席ドアを施錠(解錠)すると、他のすべてのドアも同時に施錠(解錠)します。



●車内から行う場合

ノブを矢印の方向に動かします。
運転席ドア部のスイッチまたはノブを操作すればすべてのドアやテールゲートの施錠(解錠)ができます。



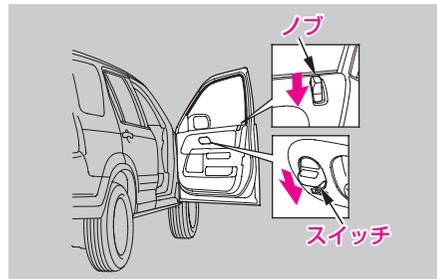
●キーを使わないで施錠する場合

知識

- キー閉じ込み防止のため、キーを持っていることを確認してから施錠しましょう。

運転席ドア

- ①ノブまたはスイッチを施錠の方向に動かします。



- ②ドアを閉めます。

運転席ドアを施錠すると、他のすべてのドアとテールゲートも同時に施錠されます。

・キー閉じ込み防止装置

キーがエンジンスイッチに差し込まれたままだと施錠できません。

その他のドア

ノブを施錠の方向に動かしてドアを閉めます。

●キーレスエントリー

ドアとテールゲートの施錠・解錠がキーを使わずにできます。



発信器のボタンを押すとすべてのドアとテールゲートが施錠(解錠)され、もう一度押すと解錠(施錠)されます。



🎓 知識

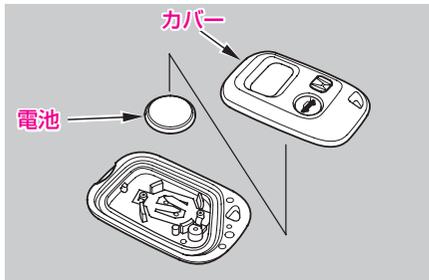
- 発信器には、精密な電子部品が組み込まれています。発信器の故障を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・直射日光が当たるところやインストルメントパネルの上など、高温になるところに置かないでください。
 - ・衝撃を与えないでください。
 - ・水にぬらさないでください。
- 微弱電波を使用しているため、周囲の状況により作動範囲が変化することがあります。
- キーレスエントリー用発信器で解錠してから約30秒以内にドア、テールゲートを開けなかった場合は、自動的に再度施錠されます。
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているときやドア、テールゲートが開いているときは、キーレスエントリーは作動しません。
- 車を離れるときは、ドアハンドルを引いて施錠されていることを確認してください。



発信器のボタンを押しても作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられますので早めに電池を交換してください。

使用電池……………ボタン電池CR1616

カバーに傷を付けないようにコイン等に布を巻いてカバーを外し、電池を交換します。



知識

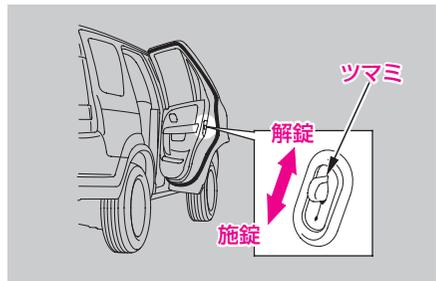
- 液漏れなどを防ぐため、電池の⊕極と⊖極は正しく取り付けてください。
- 電池はHonda販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。

●チャイルドブローフ

ノブの位置に関係なく、後席ドアが車内から開かなくなります。お子さまを乗せるときなどにお使いください。



ツマミを施錠の位置にしてドアを閉めます。



ドアを開く場合は、外側のドアハンドルで開けます。

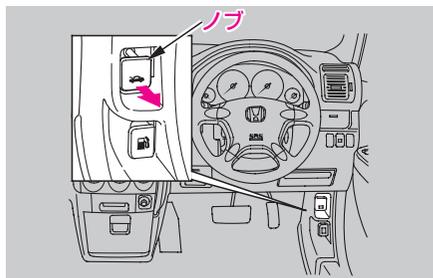
知識

- 車内から開けたい場合は、ノブを解錠状態にして後席ウィンドーを下げ窓から手を出して外側のドアハンドルを引ってください。

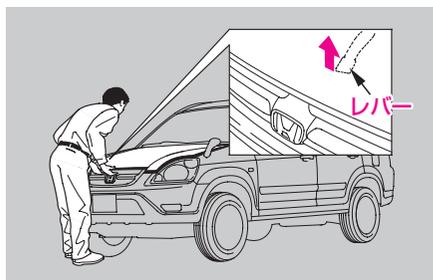
ボンネット

●開けかた

①運転席足元のノブを引きます。



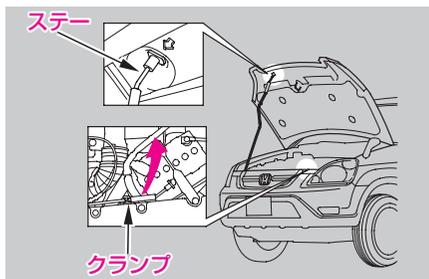
②ボンネット前部が少し浮き上がるので、レバーを押しながら開けます。



🎓 知識

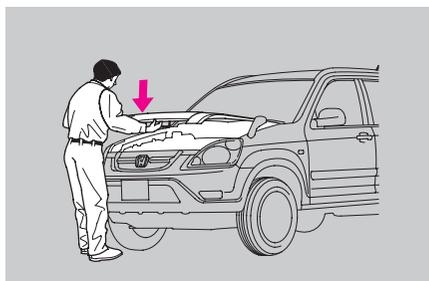
- ワイパーアームを起こした状態でボンネットを開けないでください。ボンネットがワイパーに当たり、ボンネットやワイパーが損傷します。

③必ずステーを確実にかけ、固定します。



●閉めかた

ステーを外し、クランプに納めます。ボンネットを静かに下げ、手を離します。



ボンネットが完全に閉まっていることを確認します。



⚠ 注意

- ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。

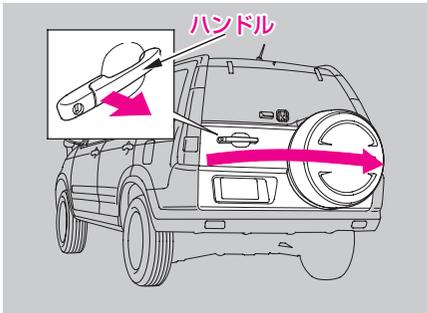
🎓 知識

- ボンネットを開けているときに、風にあおられてステーが外れることがあります。特に風の強いときは、ご注意ください。
- ボンネットが完全に閉まっていないうままに走行すると開くことがあります。走行前に必ず確認してください。



●開けかた

テールゲートを解錠してからハンドルを引き、静かに開けます。



●閉めかた

テールゲートを静かに動かし、手で押さえつけるように閉めます。テールゲートが完全に閉まっていることを確認します。

⚠注意

- テールゲートを閉めるときは手などをはさまないように注意してください。
- エンジンをかけた状態で手荷物を出し入れするときは、排気管の後方に立たないでください。やけどなど思わぬけがをすることがあります。
- カーゴスペース内には人を乗せないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをすることがあります。

🎓知識

- テールゲートを開けたまま走行しないでください。車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。
- 風の強いときや坂道などでテールゲートを開けると急に開いたり閉まることがあります。安全のため、開閉は必ずゆっくり行ってください。
- テールゲートの破損を防ぐために、次のことに十分気をつけてください。
 - ・開いているテールゲートに寄りかかるなどの大きな力を加えないでください。
- ガラスハッチを開けたままテールゲートを開くときは、電柱など周囲の障害物に十分注意して開けてください。

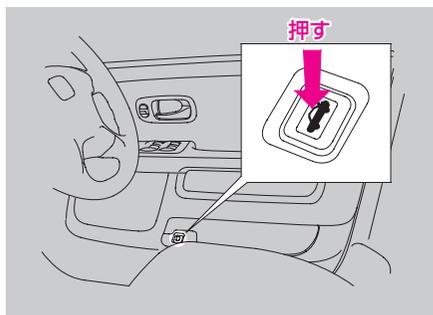
ガラスハッチ

●開けかた

車内から行う場合

運転席ドアにある解錠ボタン(ガラスハッチオープナー)を押すとガラスハッチが少し浮き上がるので静かに引き上げて開けます。

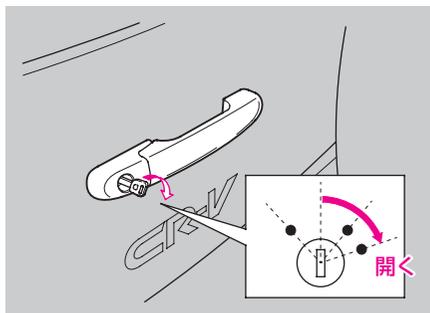
いっばいに開けてお使いください。



車外から行う場合

キーを矢印の方向に回すと、少し浮き上がるので静かに引き上げて開けます。

いっばいに開けてお使いください。

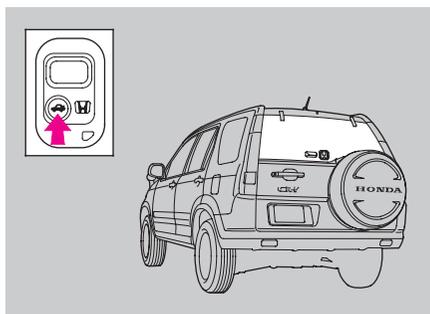


キーレスガラスハッチオープナー

キーレスエントリー用発信器を使って行います。

発信器のボタンを約2秒間押し続けるとガラスハッチが少し浮き上がるので静かに引き上げて開けます。

いっばいに開けてお使いください。





●閉めかた

ガラスハッチを静かに下げ、手で押さえつけるように閉めます。

ガラスハッチが完全に閉まっていることを確認します。

⚠注意

- ガラスハッチを閉めるときは手などをはさまないように注意してください。
- エンジンをかけた状態で手荷物を出し入れするときは、排気管の後方に立たないでください。やけどなど思わぬけがをすることがあります。

🎓知識

- ガラスハッチを開けたまま走行しないでください。
車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。
- ガラスハッチの破損を防ぐために、次のことに十分気をつけてください。
 - ・ガラスハッチは、スペアタイヤの上などに荷物等がないことを確認してから閉めてください。
- ガラスハッチを開けたままテールゲートを開くときは、電柱など周囲の障害物に十分注意して開けてください。

燃料補給口

燃料補給口は車の左側後方にあります。

使用燃料：無鉛ガソリン
(無鉛レギュラー又は
ハイオク)

タンク容量：58 ℓ

警告

- 燃料補給時は火気厳禁です。
燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
 - ・ エンジンは必ず止めてください。
 - ・ タバコなどの火気を近づけないでください。
- 燃料補給作業は静電気を除去してから行ってください。
静電気の放電による火花により気化したガソリンに引火し、やけどを負うおそれがあります。

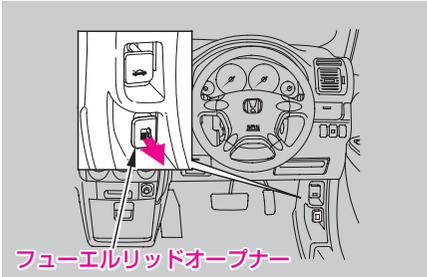
アドバイス

- 必ず無鉛ガソリンを補給してください。補給するときは、無鉛ガソリンであることを確認してください。
- ・ 有鉛ガソリンを補給すると、触媒装置などを損ないます。
- ・ 高濃度アルコール含有燃料を補給すると、エンジンや燃料系などを損傷する原因となります。
- ・ 軽油や粗悪ガソリンを補給したり、不適切な燃料添加剤を使うと、エンジンなどに悪影響を与えます。

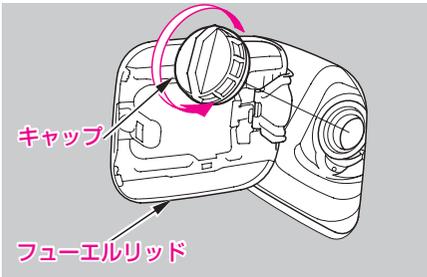


●開けかた

- ①運転席足元にあるフューエルリッドオープナーを引いてリッドを開けます。



- ②フューエルキャップを開ける前に、身体の静電気除去を行います。
③キャップをゆっくり回して開けます。



⚠注意

- キャップはゆっくり開けてください。
急激に開けると燃料補給口より吹き返しが発生し、火災になるおそれがあります。

🎓知識

- 車体や給油機などの金属部分に触れると、静電気を放電することができます。
- 燃料補給作業は、静電気を放電した人のみで行ってください。
- 燃料補給中に車内にもどったりすると再び帯電することがあります。
- 燃料補給は自動停止後に追加補給しないでください。気温の変化によりあふれることがあります。

●閉めかた

キャップを“カチッ”という音が2回以上するまで締め付けます。フューエルリッドは手で押さえつければ閉まります。

⚠注意

- キャップが確実に閉まっていることを確認してください。
確実に閉まっていないと走行中に燃料がもれ、火災になるおそれがあります。

パワーウィンドー

エンジンスイッチが“II”のとき、ウィンドーの開閉ができます。

開閉は、それぞれのスイッチで操作します。

- ・運転席スイッチは、助手席および後席ウィンドーも操作できます。

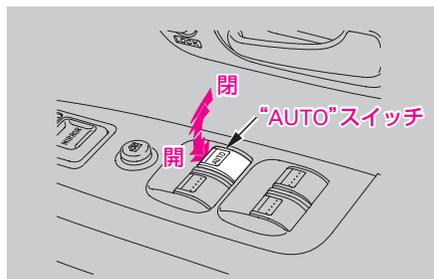
●運転席ウィンドーの開閉

スイッチを軽く操作している間、作動します。

強く操作すると、自動で全開(全閉)します。

開けるとき…スイッチを押します。

閉めるとき…スイッチを引きます。



自動開閉中にウィンドーを停止させるときは、スイッチを作動方向とは逆へ軽く操作します。

●運転席以外のウィンドーの開閉

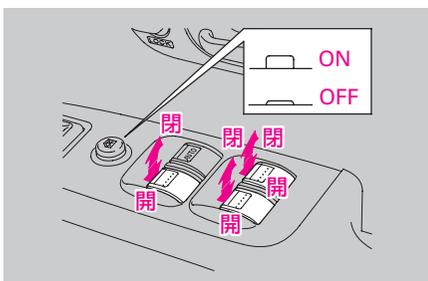
メインスイッチを“ON”にしてから、スイッチを操作します。

スイッチを操作している間、作動します。

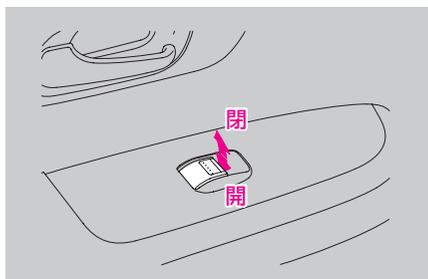
開けるとき…スイッチを押します。

閉めるとき…スイッチを引きます。

・運転席ドアスイッチ



・その他のドアスイッチ



運転席以外のウィンドーを動かなくしたいとき(メインスイッチ)

メインスイッチを“OFF”にしておけば、運転席以外のウィンドーは作動しません。



⚠️ 警告

- パワーウィンドーを閉めるときは、手やくびなどをはさまないようにしてください。
ドアガラスにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。特にお子さまには気をつけてください。

⚠️ 注意

- 車から離れるときはキーを抜き、お子さまも一緒に連れて行ってください。
いたずらなど誤った操作をして思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知識

- ウィンドーの開閉はお子さまではなく大人が操作するようにしてください。
- 小さなお子さまが同乗しているときは、お子さまが誤って操作しないよう、メインスイッチを“OFF”にしておきましょう。

● はさみ込み防止機構(運転席のみ)

運転席ウィンドーを自動で閉じているときに、窓枠とドアガラスの間に異物のはさみ込みを検知するとはさみ込み防止機構が作動し、ドアガラスの上昇が停止して自動で下降します。

⚠️ 注意

- ウィンドーを確実に閉めるため、閉めきる直前の部分では、はさみ込みを検知できない領域があります。指などをはさまないように注意してください。

🎓 知識

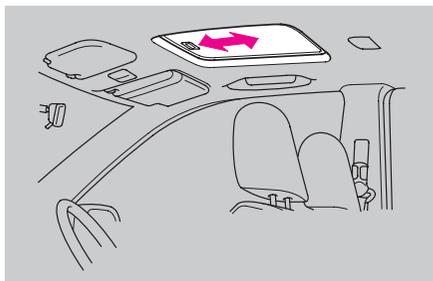
- 故障などではさみ込み防止機構が作動してしまい、ウィンドーを自動で閉めることができなくなったときは、スイッチを軽く引き上げ続けると閉めることができます。
- 環境や走行条件による衝撃などで、はさみ込み防止機構が作動することがあります。
- バッテリーやヒューズを交換した場合は、オート作動ができなくなります。
その場合は、エンジンを始動しドアガラスを一番下まで下げてから、スイッチを引き上げ続け、ウィンドーを締め切った状態で、約1秒間スイッチを保持すると機能が復帰します。

サンルーフ

タイプ別注文装備

●サンシェード(遮光板)

サンシェードは手動で開閉します。サンルーフを開ける場合は同時に作動します。サンルーフが開いた状態ではサンシェードは全閉できません。



🎓 知識

- サンシェードは全開か全閉の位置で使ってください。途中で止めて使うと、走行中の振動で音が出ることがあります。

●開閉

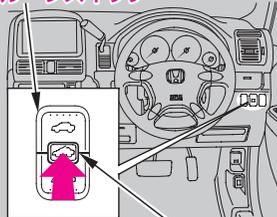
エンジンスイッチが“II”のときサンルーフの開閉ができます。

チルトアップ操作

チルトアップスイッチを押すと、サンルーフ後部が上がります(チルトアップ状態)。

サンルーフスイッチの上側(閉側)を押すと閉まります。

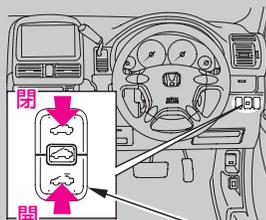
サンルーフスイッチ



チルトアップスイッチ

開閉操作

サンルーフスイッチを押している間、サンルーフが作動します。



サンルーフスイッチ



⚠ 警告

- サンルーフを閉めるときは、手やくびなどはさまないようにしてください。
サンルーフにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。特にお子さまには気をつけてください。

⚠ 注意

- 走行中または一時停止時にルーフ開口部から手、物などを出さないでください。
思わぬ障害物や急ブレーキをかけたときなどに事故につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- サンルーフやルーフ開口部の縁に腰をかけたり荷物を乗せるなどの大きな力を加えないでください。
サンルーフが破損するおそれがあります。
- 降雪時、厳寒時などには凍結することがあります。このような場合は故障の原因となるので作動させないでください。
- サンルーフが作動しないとき
→265ページ

🎓 知識

- 車から離れるときや洗車のときは、サンルーフが完全に閉まっていることを確かめてください。
- 降雨後や洗車後はルーフ上の水を除去してから開けてください。また、積雪時にはルーフ上の雪を除去してから開けてください。室内に水や雪が入るおそれがあります。

シートの調節

正しい運転姿勢

運転者は正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節します。

正しい運転姿勢とは、シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる姿勢をいいます。



同乗者も、シートに深く腰かけ、背もたれから背を離さないようにしてください。

助手席同乗者はインストルメントパネルに顔や胸が必要以上に近づかないように、シートを後ろに下げます。



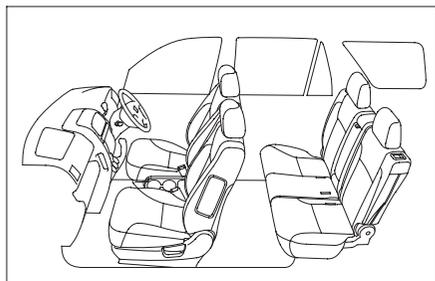
⚠ 警告

- シートに深く腰かけてください。また、背もたれは必要以上に倒さないでください。寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRSエアバッグに必要以上に近づくと、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。
 - ・ 運転者は正しい運転姿勢がとれる範囲で、シートを後ろに下げてください。
 - ・ 助手席同乗者はインストルメントパネルに近づかないように、シートを後ろに下げてください。

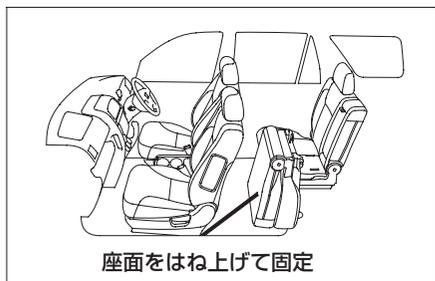
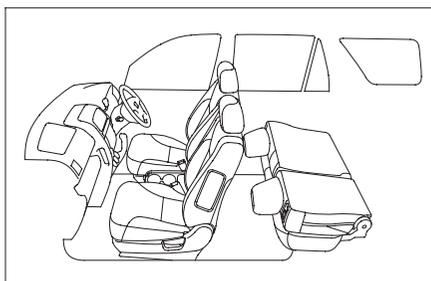
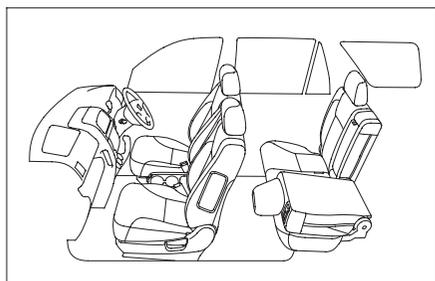
⚠ 注意

- 走行中に調節するとシートが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行する前に行い、シートを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
- 背もたれと背中の中にクッションなどをいれないでください。正しい運転姿勢がとれないばかりか、シートベルトなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- シートを操作するときは、操作する人やまわりの人の手や足などをはさまないように十分注意してください。
- シートアンダートレー（タイプ別装備）以外のシートの下に物を置かないでください。物がはさまってシートが固定されず思わぬ事故につながるおそれがあります。

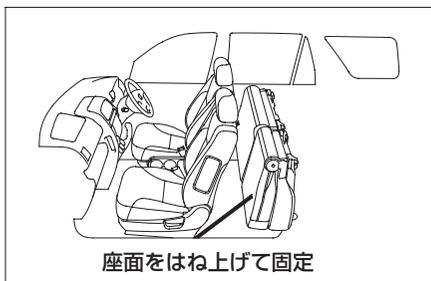
シートアレンジインデックス



フラットシート(前後席フラットモード)



座面をはね上げて固定



座面をはね上げて固定

フロントシート	52
リヤシート	54
フラットシート(前後席フラットモード)	58
カーゴスペースの作りかた	60

フロントシート

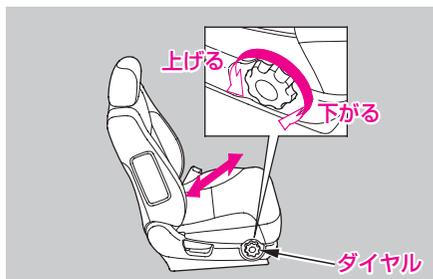
●前後位置の調節



●背もたれの調節



●高さの調節(運転席のみ)



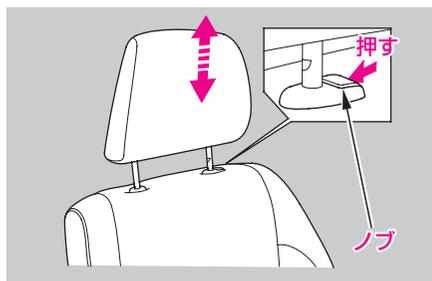
●ヘッドレストの調節

走行する前に耳とヘッドレストの中心が同じ高さになるように調節し、確実に固定します。

背が高い人は、固定できる範囲で一番高い位置にしてお使いください。

高くするときは、ヘッドレストを持ち上げます。

低くするときはノブを押しながらヘッドレストを下げます。



⚠ 警告

- ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。また、固定できる高さを越えて使わないでください。

衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

走行前に必ず正しい位置に調節してください。

**●アームレスト**

タイプ別装備

前に倒して使います。

**⚠注意**

- シートベルト着用時にアームレストに引っかけると、万一のときシートベルトの機能が發揮できないことがあります。シートベルトは正しく着用してください。

🚗アドバイス

- アームレストに腰をかけたり荷物をのせるなどの大きな力を加えないでください。アームレストが破損するおそれがあります。

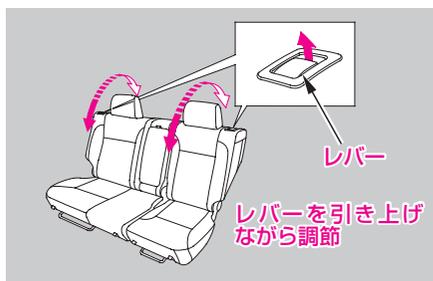
リヤシート

●前後位置の調節



片側ずつ独立して行えます。

●背もたれの調節



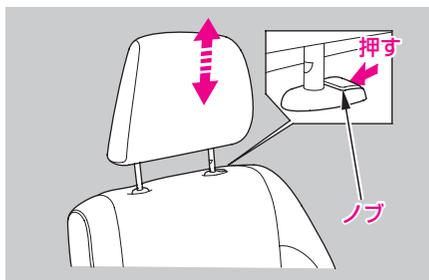
片側ずつ独立して行えます。

●ピローの調節

走行する前に耳とピローの中心が同じ高さになるように調節し、確実に固定します。

背が高い人は、固定できる範囲で一番高い位置にしてお使いください。

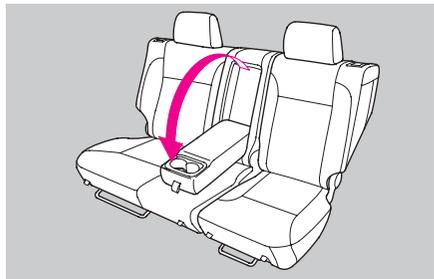
ノブを押してピローを上下に動かして調節します。





●アームレスト

前に倒して使用します。



アドバイス

- アームレストに腰をかけたリ荷物をのせるなどの大きな力を加えないでください。アームレストが破損するおそれがあります。

●座面をはね上げて固定するとき

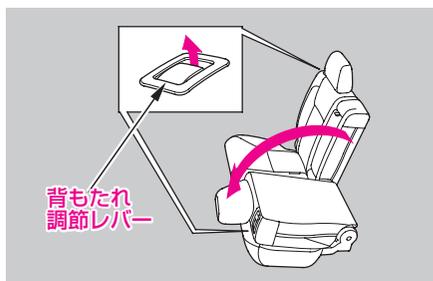
①リヤシートを後方いっぱい動かします。

リヤシート前後位置の調節 →54ページ

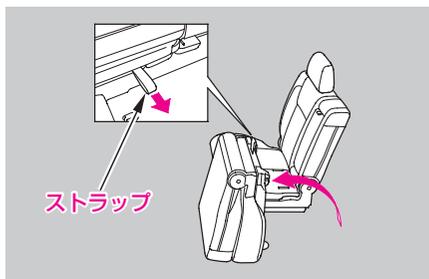
②ピローを一番下に下げます。

リヤシートのピローの調節 →54ページ

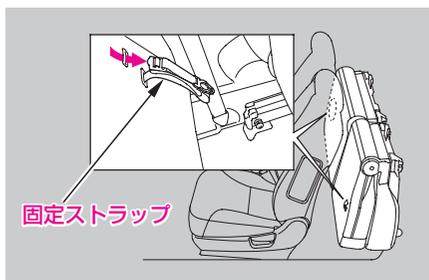
③レバーを引き上げながら背もたれを前に倒して固定します。



④ストラップを引いてシートを前へ起こします。

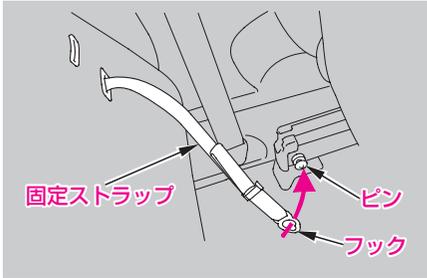


⑤背もたれに収納されている固定ストラップを引き出します。

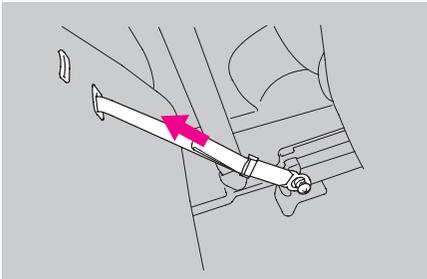




- ⑥フロントシートの下部にあるピンに固定ストラップのフックをかけます。



- ⑦固定ストラップの長さをフックが外れないように注意しながら調節し、たるみをなくします。
シートを前後にゆすって確実に固定されていることを確認します。



●元に戻すとき

- ①固定ストラップをゆるめて、フックをピンからはずします。
- ②シートを元の位置に倒します。
- ③固定ストラップを収納します。
- ④背もたれ調節レバーを引き上げて、背もたれを起こします。
シートを前後にゆすって確実に固定されていることを確認します。

⚠注意

- 倒した背もたれの上やカーゴルーム内には人を乗せて走行しないでください。
ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。

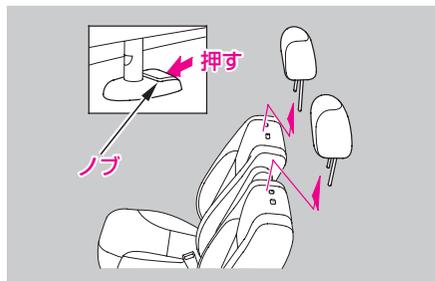
🎓知識

- 背もたれを起こすときは、シートベルトを背もたれではさみ込まないようにしましょう。はさまれると正しく着用できません。
- 背もたれを起こしたときは、背もたれを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。

フラットシート (前後席フラットモード)

フロントシートをフラットにできます。
片側ずつ独立して行えます。

- ①ノブを押して、フロントシートのヘッドレストを外します。



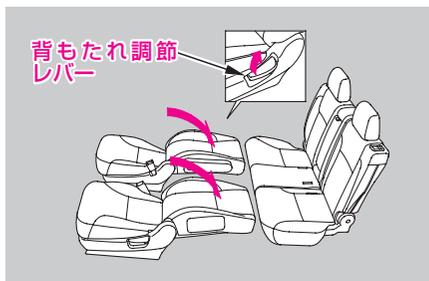
- ②前後位置調節レバーを引き上げながら
フロントシートを最前方に動かします。
フロントシート前後位置の調節

→52ページ

- ③リヤシートを前後位置調節レバーを引
き上げながら最後方に動かします。
リヤシート前後位置の調節

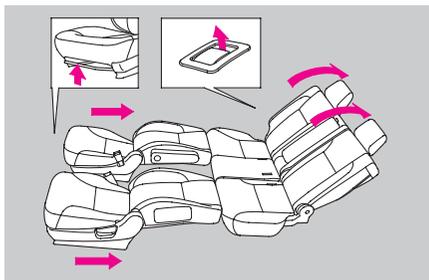
→54ページ

- ④背もたれ調節レバーを引き上げながら
背もたれを後ろに倒して固定します。



- ⑤前後位置調節レバーを引き上げながら
フロントシートを後方に動かし、リヤ
シートとのすき間をなくします。

- ⑥リヤシートの背もたれ調節レバーを引
き上げながら、背もたれを後ろへ倒し
て固定します。



元に戻すときは逆の手順で行います。

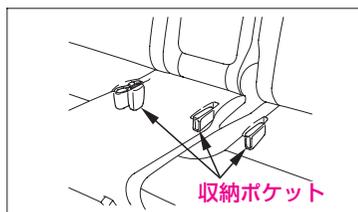


⚠️ 注意

- フラット状態で、人や荷物などを乗せたまま走行しないでください。ブレーキをかけたときなどに、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- フラット状態で、シートの上を走り回らないでください。また、シートの上を移動するときは、シートの中央を踏んでゆっくりと移動してください。シートの端を踏むと足を踏み外すおそれがあります。
- アームレストは収納してください。つまずいたり、足を踏み外すおそれがあります。
- 操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意してください。

🎓 知識

- フラットにしたときや元に戻したときは、シートを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
- フロントシートの背もたれを起こすときは、背もたれが急に戻るので必ず手を添えて操作してください。
- フラットシート使用時にシートベルト、バックルを収納しておくことで快適に使用できます。



カーゴスペースの作りかた

リヤシートの背もたれを倒すとカーゴスペースを広くすることができます。

リヤシートの座面をはね上げて固定すると、さらに広いスペースがとれます。

🎓 知識

- 走行中動きやすい物を床にそのまま置かないでください。

① リヤシートを後方いっぱいに動かします。

リヤシート前後位置調節 →54ページ

② リヤシートの背もたれを倒して固定し、リヤシートの座面をはね上げて固定します。

リヤシートの座面をはね上げて固定するとき →56ページ



リヤシートは必要に応じて片側ずつ独立して折りたたむことができます。

⚠️ 注意

- 倒した背もたれの上や荷室には人を乗せて走行しないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。
- 操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意してください。

🎓 知識

- シートを元に戻したときは、シートを前後にゆずって確実に固定されていることを確認してください。

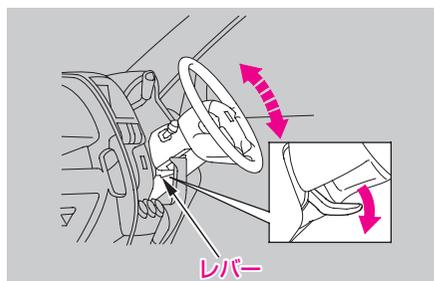
ハンドル・バックミラーの調節

チルトステアリング

ハンドルの高さを適切な位置に変えることができます。



レバーを押し下げ、ハンドルの高さを適切な位置にして、レバーを元の位置まで確実に引き上げて固定します。



⚠ 注意

- 走行中に調節するとハンドルが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行する前に行い、ハンドルに上下方向の力を加え固定されていることを確認してください。



ルームミラー

知識

- 走行中はミラーの調節を行わないでください。

●防眩式ルームミラー

夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を弱くできます。



ノブを動かして切り換えます。



角度調節はノブを昼間の位置にして行ってください。

ドアミラー

知識

- ミラーを格納したまま走行しないでください。また、走行中はミラーの調節を行わないでください。
- ミラーを格納するときは、周囲の人の手などをはさまないようにしてください。

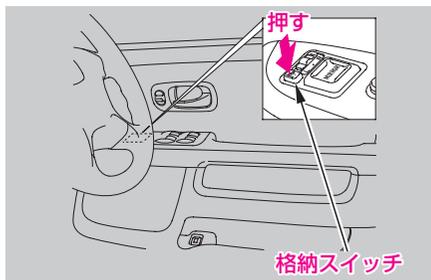
●格納のしかた

エンジンスイッチが“II”のとき、スイッチで左右のミラーをたたむことができます。



格納スイッチを押すごとに“ON” ↔ “OFF”が切り換わります。

	格納スイッチの状態	ミラーの状態
ON		
OFF		



エンジンスイッチが“0”または“1”のときは手で操作ができます。



知識

- 次の場合は手で操作しても、ミラーは自動的に格納スイッチの状態に戻ります。
 - ・ エンジンスイッチが“II”のとき
 - ・ 手で操作したあとにエンジンスイッチを“II”にしたとき

●角度調節のしかた

エンジンスイッチが“II”のときスイッチを操作すると、ミラーの角度調節ができます。



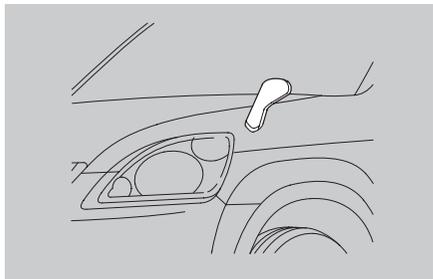
- ① 左右切り換えスイッチを調節したい方に動かします。
- ② 調節スイッチで角度を調節します。



直接手で鏡面を動かして角度を調節することもできます。

サイドアンダーミラー

停車時や発進前などに車両左側助手席付近を確認するときに役立ちます。



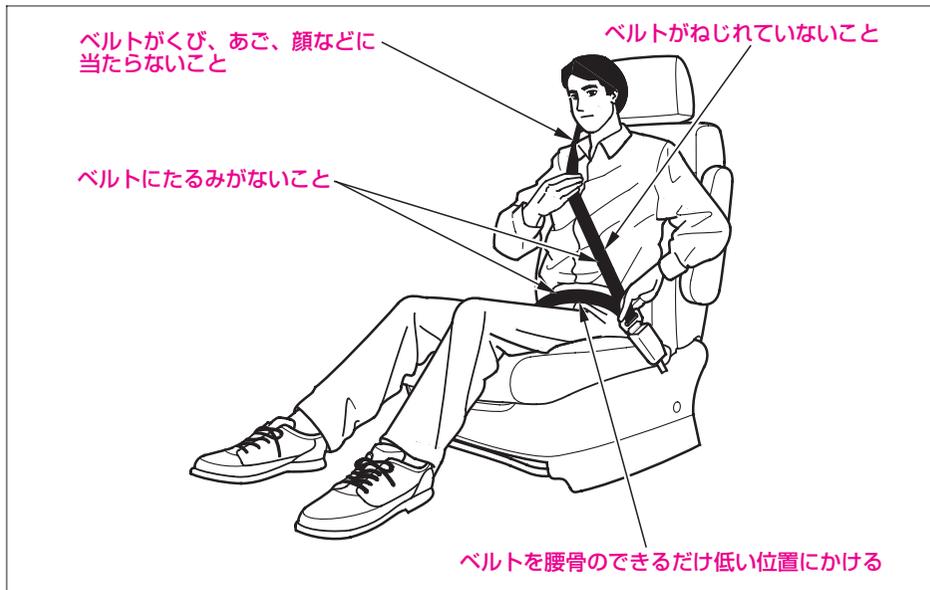
知識

- 後方の確認は直接確認するか、ルームミラーやドアミラーなどで十分に行ってください。
- サイドアンダーミラーの角度調節はできません。

シートベルト

シートベルト

シートベルトは、車を運転するまえに運転者は正しい運転姿勢で着用し、同乗者にも必ず着用させてください。



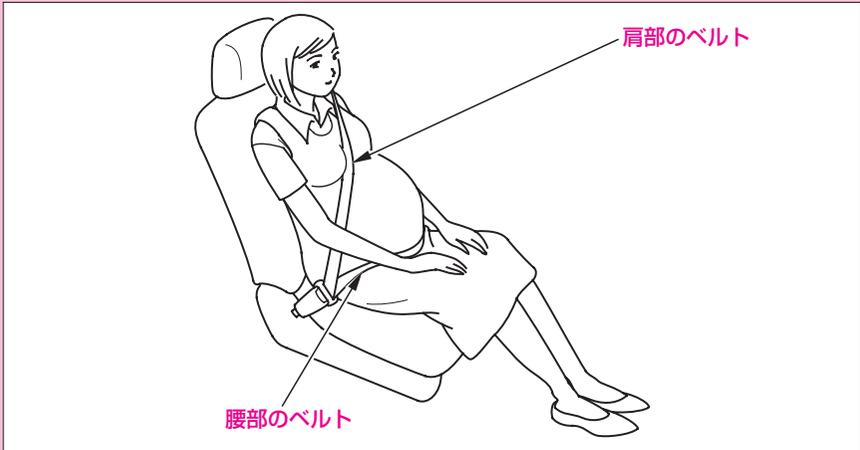
⚠ 警告

- シートベルトは全員が着用してください。
着用しないと、衝突したときなどに重大な傷害を受けたり死亡することがあります。
- シートに深く腰かけてください。また、背もたれは必要以上に倒さないでください。
寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さまにもシートベルトを着用させるか、チャイルドシートをお使いください。
お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けたり死亡するおそれがあります。



⚠️ 注意

- シートベルトを正しく着用していないと本来の機能をはたさず、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。
 - ・ ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にぴったり着用してください。ベルトが腰骨からずれていると腹部などに強い圧迫を受けます。
 - ・ ベルトはねじれがないように着用してください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、局部的に強い力がかかります。
 - ・ ベルトがくび、あご、顔などに当たらないように着用してください。
 - ・ 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。
 - ・ 三点式シートベルトは腕の下に通して着用しないでください。ベルトが肩に十分かかっていないと前方に投げ出されるおそれがあります。
 - ・ ベルトにはクリップや洗たくばさみなどでたるみをつけないでください。
- 妊娠中のかたや疾患のあるかたもシートベルトを着用してください。ただし、万一のとき腹部、胸部、肩部などに圧迫を受けることがありますので、医師に確認してください。
 - ・ 妊娠中のかたは、三点式シートベルトを使用してください。
 - ・ 妊娠中のかたは、ベルトを着用するときは、腰部のベルトを腹部からさけて腰骨のできるだけ低い位置にかかるとして身体に密着させてください。また、肩部のベルトは腹部からさけて胸部にかかるとしてください。



●シートベルトの種類

シート		シートベルトの種類
フロントシート		ELR付三点式シートベルト
リヤシート	左右	ELR・ALR付三点式シートベルト
	中央	マニュアル二点式シートベルト

ELR付三点式シートベルト:

体の動きにあわせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。

ELR・ALR付三点式シートベルト:

通常はELRシートベルトとして機能します。

ALRはチャイルドシートを固定する機構です。

チャイルドシート固定機構付きシートベルト →78ページ



●三点式シートベルト

シートベルト警告灯

エンジンスイッチを“II”にすると、運転席シートベルトを着用するまでメーター内のシートベルト警告灯が点灯し続けます。

チャイルドシート固定機構付きシートベルト(後席外側2座席)

→78ページ

知識

- 後席シートベルトを着用した状態で上体を大きく動かしたときに、シートベルトがすべて引き出されてチャイルドシート固定機構が作動することがあります。
このときは、チャイルドシート固定機構を解除してから再度シートベルトを着用してください。
解除のしかた →79ページ

シートベルトプリテンショナー(前席のみ)

→148ページ

●二点式シートベルト

体にあわせてベルトの長さを調節します。

●お子さまを乗せるときは

お子さまは、後席に乗せシートベルトを着用させてください。

ただし、装備されているシートベルトは大人用ですので、ベルトがくびやあごに当たる場合や腰骨にかからない場合は、幼児用シートや学童用シートを使用してください。シートベルトをそのまま使うと、衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。

また、ひとりですわることのできない小さなお子さまは乳児用シートを使用してください。

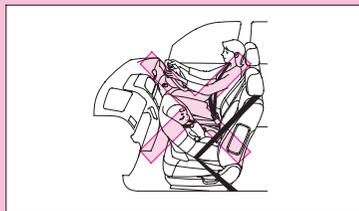
お子さまを後席に乗せることができなく、やむをえず助手席に乗せるときは、一番大きなお子さまを乗せてください。



⚠警告

- 助手席には乳児用シートを取り付けないでください。また、幼児用シートを後ろ向きに取り付けないでください。SRSエアバッグが膨らむ際、乳児用シートや、幼児用シートの背面に強い衝撃を受け、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。

また、やむをえず幼児用シートを前向きに取り付ける場合は、SRSエアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。





🎓 知識

- 乳児用シート、幼児用シート、学童用シートは、お子さまの体重や身長によりお使いになれるタイプや取り付け方法が異なります。

ISO FIX 対応以外のチャイルドシートは、シート形状などにより、チャイルドシートを正しく取り付けできない席があります。このようなときは、他の席で試してください。または、この車に合ったチャイルドシートを使用してください。

ISO FIX テザータイプのチャイルドシートは、専用バーとテザーアンカーを用いて固定します。

チャイルドシートを前向きに取り付けるときは、このバーとテザーアンカーを用いて固定します。

後ろ向きに取り付けるときは、テザーアンカーは使用しません。

チャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。

車両側のテザーアンカーにテザーストラップを結合することにより、チャイルドシートを確実に固定することができます。

Honda純正品をご用意しています。ご購入、ご使用に際してはホンダベルノ店にご相談ください。

《選択の目安》

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

ISO FIXタイプを除く

	体重(kg)	身長(cm)	参考年令
乳児用 (ベビー) シート	~10	~75	~12か月
幼児用 (チャイルド) シート	7~18	65~100	4か月~4才
学童用 (ジュニア) シート	15~32	100~135	4才~10才

ISO FIXテザータイプ

	体重(kg)	身長(cm)	参考年令
乳児用 (ベビー) シート	~9	~75	~9か月
幼児用 (チャイルド) シート	9~18	75~100	9か月~4才

●シートベルトの取り扱い、手入れ

- ベルトを着用した状態で万一、事故にあった場合は機能を損なっている可能性があるため、ベルト一式を交換してください。

前席シートベルトは、前席に乗員がいなくても、SRSエアバッグが作動するような事故にあった場合は、プリテンショナーも作動するため、ベルト一式を交換してください。

また、ベルトにほつれ、すりきれ、破れなどができたときも交換してください。

- シートベルトを十分に機能させるために、バックルおよび自動巻き取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。
- ベルトが汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に布をひたしてふき取り乾かしてください。薬剤を使ったり漂白や染色は絶対しないでください。ベルトを弱めます。

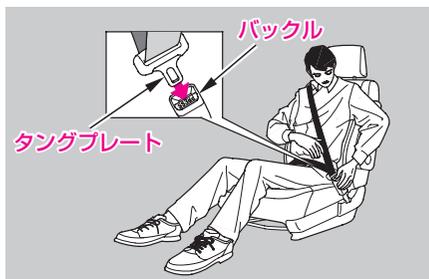
着用のしかた

●三点式シートベルト

- ①正しい運転姿勢でシートにすわります。
(→48ページ)
- ②タングプレートをつかみ、ゆっくり引き出します。



- ③ベルトにねじれないようにし、タングプレートをバックルの中へ“カチリ”と音がするまで差し込みます。



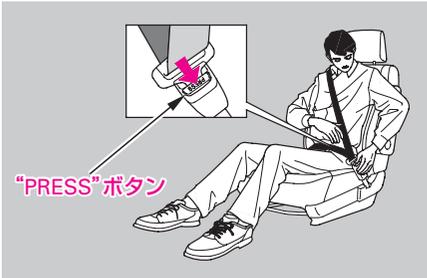
- ④ベルトがねじれたり、引っかかったりしていないかを確認します。



- ⑤ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかかるとように引き、たるみがないように身体に密着させます。



- ⑥外すときはバックルの“PRESS”ボタンを押します。
ベルトが自動的に収納されますので、ひっかかったり、ねじれたりしていないかを確認します。

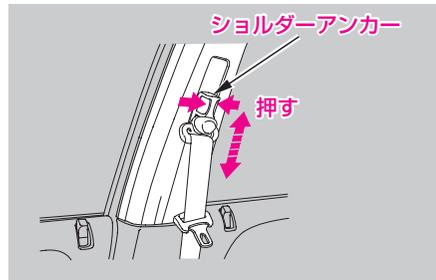


ショルダーアンカーの高さ調節 (前席のみ)

座高に合わせて、ショルダーアンカーの高さを調節できます。



通常はベルトが肩から外れないように最上段で使いますが、ベルトがくびに当たるときは、一段ずつ下げて調節してください。

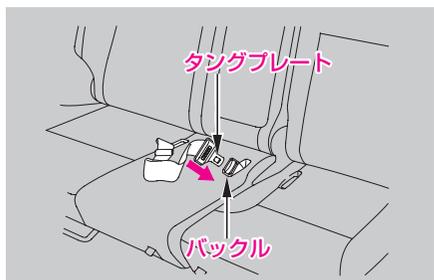


⚠ 注意

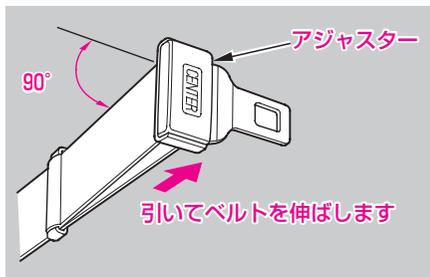
- 調節後は、ショルダーアンカーが確実に固定されていることを確認してください。

●二点式シートベルト

タングプレートは差し込む相手を間違えないようにしてください。タングプレートとバックルに“CENTER”（センター）の表示があります。



- ①アジャスターを図のようにし、ベルトを引いて必要な長さより少し長めにします。



- ②ベルトにねじれがないようにし、タングプレートをバックルの中へ“カチリ”と音がするまで差し込みます。





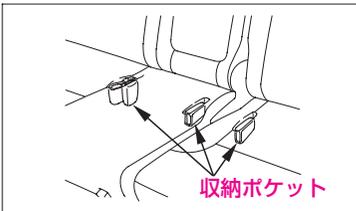
- ③腰骨にかかるようにベルトを図のように引き、腰部に密着させます。



- ④外すときはバックルの“PRESS”ボタンを押します。
外したベルトはタンクプレートとバックルを結合しておきます。

知識

- 後席の背もたれを倒すときなどは、シートベルト、バックルを図のように収納します。



チャイルドシート固定装置

チャイルドシート固定機構 付きシートベルト (後席外側 2 座席)

後席外側の三点式シートベルトには、チャイルドシート固定機構がついています。シートベルトを引き出し方向に動かないようにできるため、チャイルドシートを固定することができます。

取り付けかたは、チャイルドシートの形状、取り付け方法によって異なります。チャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り付けてください。

⚠ 警告

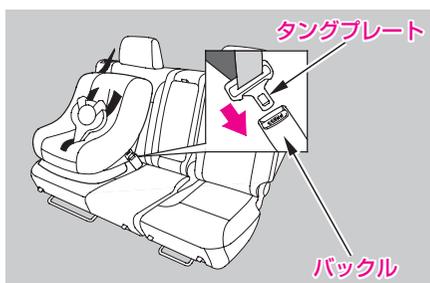
- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。固定機構が作動するとベルトがゆるまなくなり、窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。万一ベルトをゆるめることができなくなった場合は、はさみなどでベルトを切断してください。

📖 知識

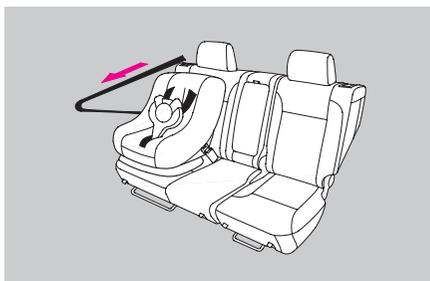
- ISO FIX テザータイプのチャイルドシートを取り付けるとき
ISO FIX テザータイプチャイルドシート固定装置 →80ページ

●チャイルドシートを取り付けるとき

- ①チャイルドシートをリヤシートに置きます。
- ②ベルトにねじれがないことを確認し、タングプレートをバックルの中へ“カチリ”と音がするまで差し込みます。



- ③ベルトをゆっくりと引き出します。すべて引き出すと、チャイルドシート固定機構が作動します。





- ④ベルトを少し巻き取らせませす。“カチカチ”と音がしますが、これはチャイルドシート固定機構の作動音です。このとき、ベルトが引き出し方向に動かないことを確認します。ベルトが引き出し方向に動く場合は、再度ベルトをすべて引き出してください。

⚠注意

- 必ずベルトが引き出し方向に動かないことを確認してください。ベルトが引き出し方向に動く状態では、チャイルドシート固定機構が作動していないので、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

- ⑤チャイルドシートに体重をかけてリヤシートに押しつけながら、ベルトを巻き取らせ、しっかりと固定します。



⚠注意

- チャイルドシートを前後左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないとブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

●解除のしかた

- ①チャイルドシートからベルトを外します。
- ②ベルトをいっぱいまで巻き取らせると、チャイルドシート固定機構は解除されます。



ISO FIX テザータイプ チャイルドシート固定装置 (後席外側 2 座席)

後席外側の 2 座席には、ISO FIX テザータイプのチャイルドシートを固定するための専用バーとテザーアンカーが装備されています。

この車用に認可を取得したチャイルドシートのみ固定し、使用することができます。

チャイルドシートを前向きに取り付けるときは、このバーとテザーアンカーを用いて固定します。

後ろ向きに取り付けるときは、テザーアンカーは使用しません。

チャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。

Honda 純正品をご用意しています。ご購入、ご使用に際しては、ホンダベルノ店にご相談ください。

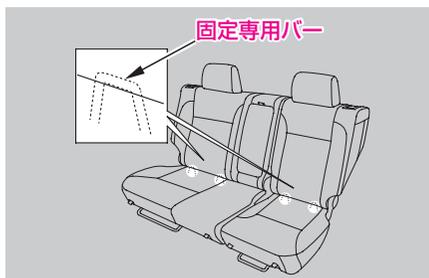
知識

- チャイルドシート固定機構付きシートベルトを使って取り付けるとき

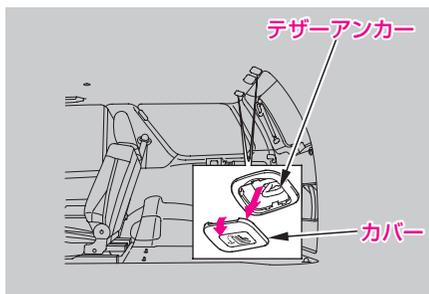
→78ページ

●チャイルドシートを取り付けるとき

- ①シートクッションと背もたれのすき間を少し広げて、専用バーの位置を確認します。

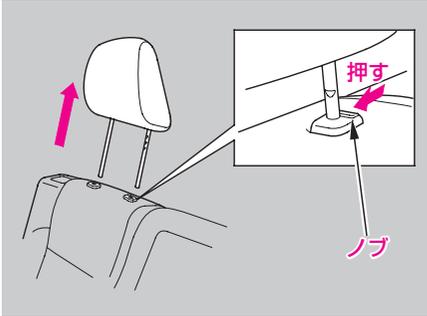


- ②使用するテザーアンカーのカバーを図のように外し、テザーアンカーの位置を確認します。

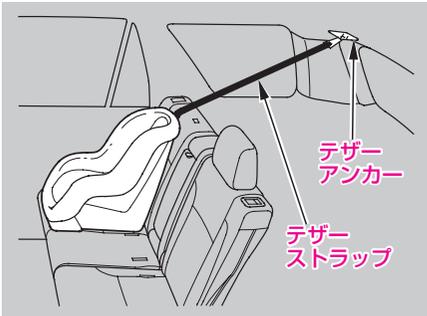




- ③ノブを押して、リヤシートのピローを外します。



- ④チャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがってチャイルドシートとテザーストラップを取り付けます。

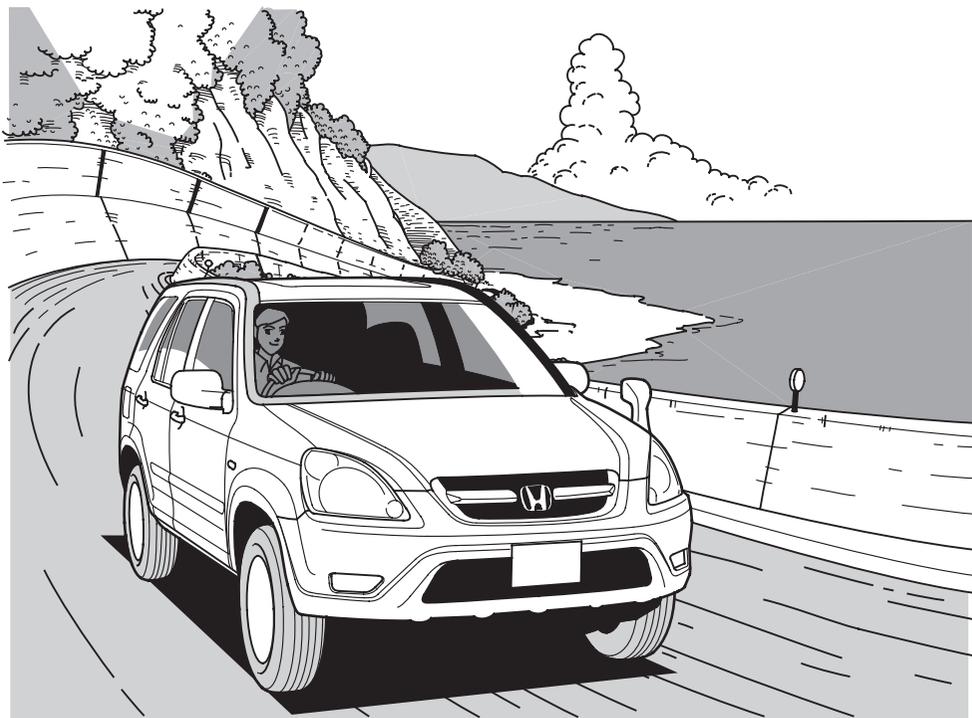


⚠️ 注意

- チャイルドシートを取り付けるときは、専用バー周辺に異物がないこと、シートベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。異物やシートベルトなどのかみ込むとチャイルドシートが確実に固定されず、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。
- チャイルドシートを前後左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないとブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

●取り外すとき

チャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り外します。



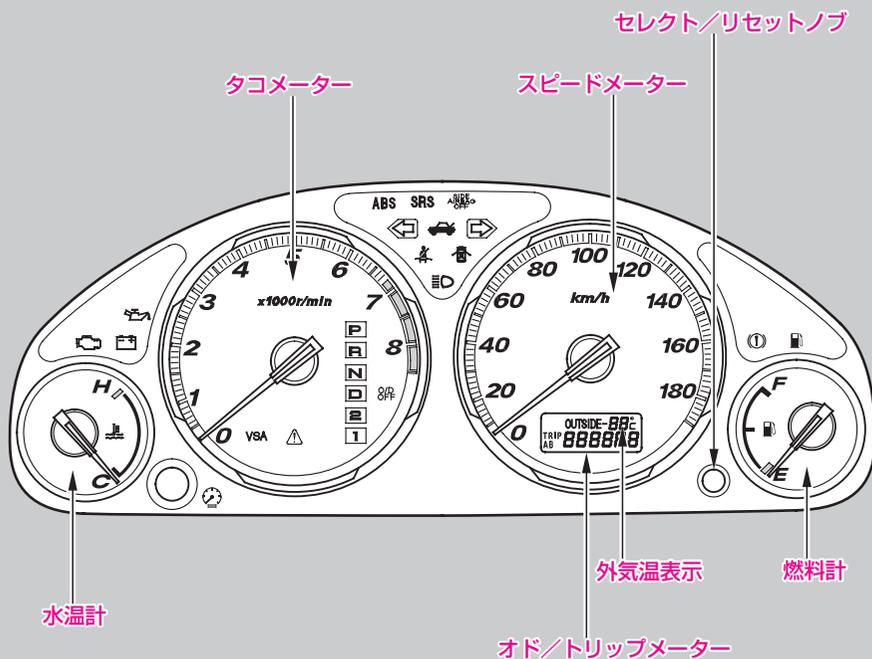
車を運転するときに

- メーター 84
- 表示灯 88
- 警告灯 92
警告灯の電球切れの点検 97
- スイッチの使いかた
エンジンスイッチ 98
ライトスイッチ 100
方向指示器(ウィンカー)
スイッチ 101
フォグライトスイッチ 101
ワイパー/ウォッシャー
スイッチ 102
リヤデフロスタースイッチ 105
非常点滅表示灯(ハザード)
スイッチ 106
ホーンスイッチ 106
- 運転のしかた
エンジンのかけかた 108
パーキングブレーキ 111
チェンジレバーの操作 112
セレクトレバーの操作 114
オートマチック車の運転の
しかた 118
- コーナーセンサー&
バググソナー 126

2

メーター

イラストは代表例を掲載しています。





スピードメーター

走行速度をkm/hで示します。

タコメーター

1分間あたりのエンジン回転数を示します。



アドバイス

- エンジン故障の原因となりますので、限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。特に高速走行時、変速(シフトダウン)するときには注意してください。

限界回転数……………6,800rpm

オートマチック車

停車中の空ぶかしは、エンジン回転数が5,000rpmになると燃料供給が停止されます。

オド／トリップメーター

エンジンスイッチを「II」にするとオドメーターまたはトリップメーターが表示されます。



表示の切り換え

セレクト／リセットノブを押すごとに「…“オドメーター”→“TRIP A”→“TRIP B”…」の順に表示が切り換わります。

オドメーター

走行距離の累計をkmで示します。

トリップメーター

リセットしてからの走行距離をkmで示します。“TRIP A”と“TRIP B”でそれぞれ別の走行距離を知ることができます。

- ①セレクト／リセットノブを押して“TRIP A”または“TRIP B”を選びます。
- ②セレクト／リセットノブをメーター表示が“0”になるまで押して、リセットします。

外気温表示

走行中(約30km/h以上)の外気温を測定し表示します。また、エンジンスイッチを“II”にしたときはそのときの外気温を表示し、走行(約30km/h以上)するまでその表示を続けます。

外気温が下がっているときは走行速度に関係なく外気温を測定し表示します。

外気温が下がってきて3℃以下になったとき、外気温を点滅表示します。

知識

- フロントバンパー付近の外気温を測定しているため、エンジンルームや路面の熱の影響を受けやすい停車中や渋滞中など(約30km/h以下)は正しい外気温を表示しないことがあります。
- 外気温の点滅表示は、エンジンスイッチを“II”にしてから最初に3℃以下に下がったときにのみ行います。

燃料計

エンジンスイッチが“II”のとき、燃料の残量を示します。

“E”に近づいたら早めに補給してください。

燃料補給について →42ページ

水温計

エンジン冷却水の温度を示します。

走行中は“H”の目盛より下側をさすのが正常です。

アドバイス

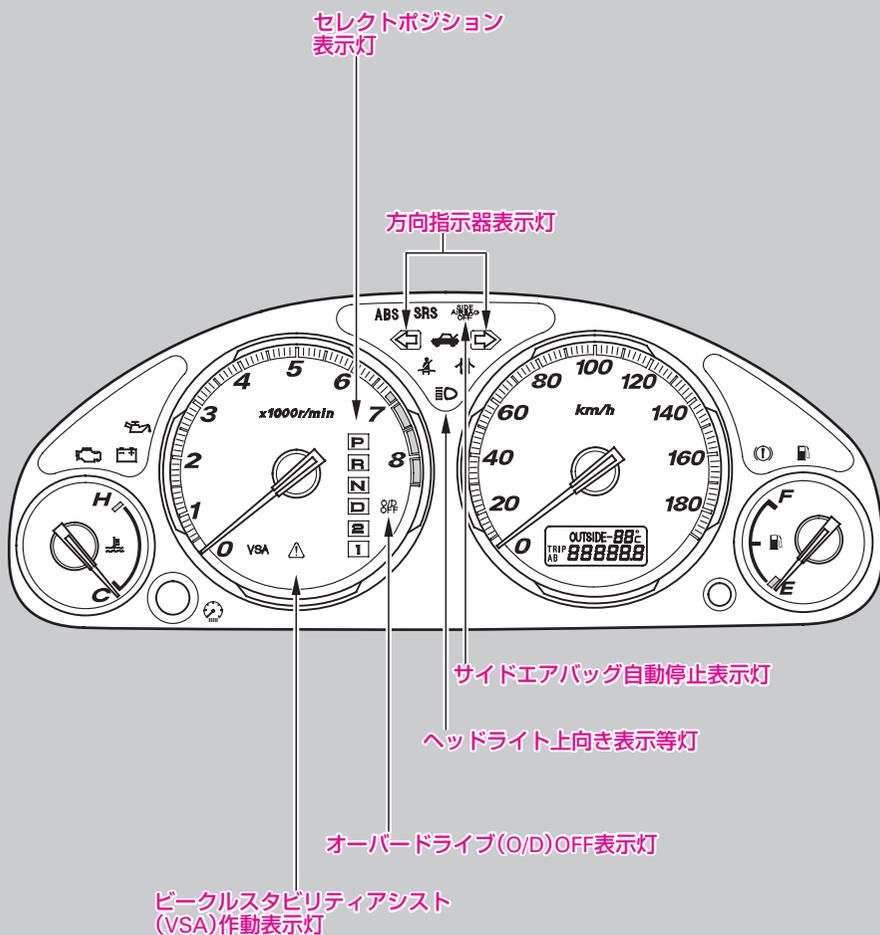
- 針が“H”の目盛に入った場合はオーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停めてエンジンを冷やしてください。そのまま走行を続けるとエンジン故障の原因となります。

オーバーヒートしたとき

→250ページ

表示灯

イラストは代表例を掲載しています。





表示灯はタイプ等により、装備の有無があります。下表の装備一覧をご覧ください。

表示灯	タイプ			
	パフォーマ		フルマーク	
	4WD		2WD	4WD
	マニユアル車	オートマチック車	オートマチック車	オートマチック車
 方向指示器表示灯	○	○	○	○
 ヘッドライト上向き(ハイビーム)表示灯	○	○	○	○
 セレクトポジション表示灯		○	○	○
 オーバードライブ(O/D)OFF表示灯		○	○	○
 ビークルスタビリティアシスト(VSA)作動表示灯		△		△
 サイドエアバッグ自動停止表示灯	△	△	△	△

○：標準装備

△：注文装備



方向指示器表示灯

方向指示器のランプの点滅状態を表示します。

知識

- 電球が切れたときや、ワット(W)数の違ったものを使ったときは、表示灯の点滅周期が異常になります。

電球(バルブ)の交換

→262、263ページ

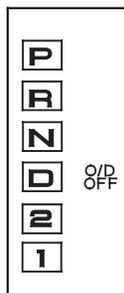
電球(バルブ)のワット数

→300ページ



ヘッドライトの上向き(ハイビーム)表示灯

ヘッドライトが上向きのときに点灯します。



セレクトポジション表示灯 (トランスミッション警告灯兼用)

オートマチック車

使用中のセレクトレバー位置が表示されます。

トランスミッションが異常のときには、が点滅します。

トランスミッション警告灯 →96ページ



オーバードライブ(O/D)OFF表示灯

オートマチック車

オーバードライブ(O/D)スイッチがOFFのとき点灯します。

オーバードライブ(O/D)スイッチ

→116ページ



ビークルスタビリティアシスト (VSA：車両挙動安定化制御システム)作動表示灯

VSA装備車

TCS機能または横滑り抑制機能が作動中に点滅します。

VSAを“OFF”にしたときと、VSAに異常があるときに点灯します。

→152ページ

知識

- VSA警告灯が点灯するとVSA作動表示灯も同時に点灯します。



サイドエアバッグ自動停止表示灯

サイドエアバッグシステム装備車

乗員姿勢検知システムにより、助手席用サイドエアバッグの作動を自動停止しているときに点灯します。

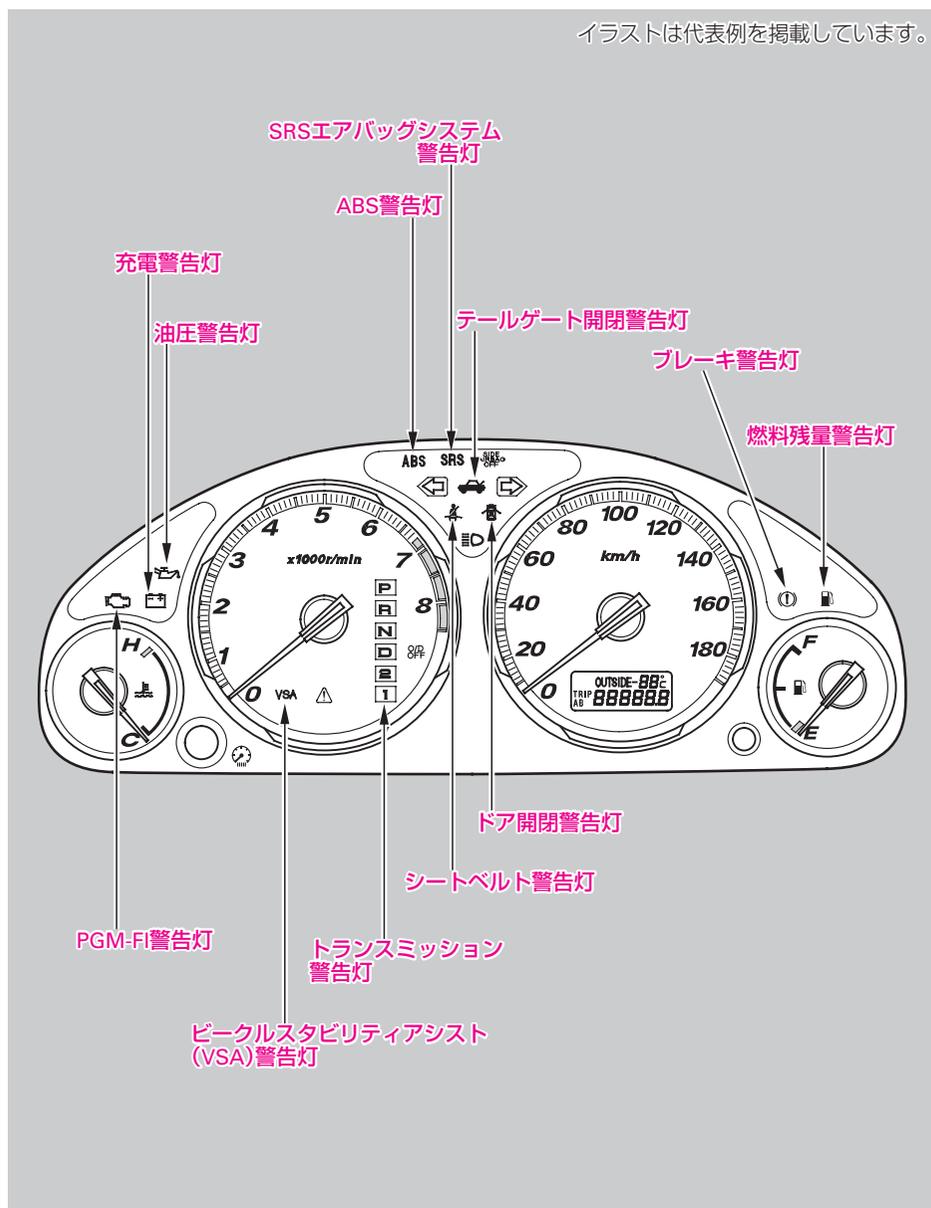
点灯したときは

上体を起こして座ってください。また、小さなお子さまの場合は、後席に乗せてください。

サイドエアバッグシステム→145ページ

警告灯

イラストは代表例を掲載しています。





表示灯はタイプ等により、装備の有無があります。下表の装備一覧をご覧ください。

警告灯	タイプ			
	パフォーマ		フルマーク	
	4WD		2WD	4WD
	マニユアル車	オートマチック車	オートマチック車	オートマチック車
 油圧警告灯	○	○	○	○
 ブレーキ警告灯	○	○	○	○
 充電警告灯	○	○	○	○
 PGM-FI警告灯	○	○	○	○
 トランスミッション警告灯 (セレクトポジション表示灯兼用)		○	○	○
 シートベルト警告灯	○	○	○	○
 燃料残量警告灯	○	○	○	○
 ドア開閉警告灯	○	○	○	○
 テールゲート開閉警告灯	○	○	○	○
 SRSエアバッグシステム警告灯	○	○	○	○
 アンチロックブレーキシステム(ABS)警告灯	○	○	○	○
 ビークルスタビリティアシスト(VSA)警告灯		△		△

○：標準装備

△：注文装備



油圧警告灯

エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。



点灯したときは

エンジン回転中に点灯した場合は、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、エンジンオイル量を点検してください。

エンジンオイルが減っていないのに点灯しているときや、エンジンオイルを補給しても点灯するときは、ただちにホンダベルノ店へご連絡ください。

アドバイス

- 点灯したまま走行しないでください。エンジンが破損するおそれがあります。



ブレーキ警告灯

パーキングブレーキが完全に戻っていないときやブレーキ液量がいちじりしく減少しているときに点灯します。

また、ABSが異常のときにもABS警告灯と同時に点灯します。



点灯したときは

走行中点灯したときやパーキングブレーキを解除しても消灯しないときは、

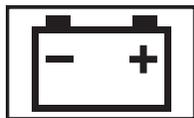
- ①ブレーキ液量を点検します。
- ②下限より下がっていたらただちにホンダベルノ店へご連絡ください。

ブレーキ液量が下限以下になっていないのに点灯するときや、パーキングブレーキをかけても点灯しないときは、お早めにホンダベルノ店で点検を受けてください。

ABS警告灯と同時に点灯したときは

ブレーキ液量が正常で、同時に点灯したときは、ABSの異常が考えられます。高速走行や急ブレーキを避けて、ただちにホンダベルノ店で点検を受けてください。

ABS警告灯 →97、151ページ



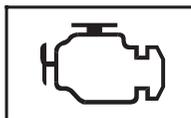
充電警告灯

充電システムが異常のときに点灯します。



点灯したときは

運転中に点灯した場合は、電気の消費を減らすため、ヒーター・エアコンスイッチ、リヤデフロスタースイッチを“OFF”にして、ただちにホンダベルノ店で点検を受けてください。



PGM-FI警告灯

エンジン制御システムが異常のときに点灯します。

触媒装置が異常のときには点滅します。



点灯したときは

運転中に点灯した場合は、高速走行を避けて、ただちにホンダベルノ店で点検を受けてください。

点滅したときは

- ① 走行中に点滅した場合は、枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10分以上エンジンを止めて、冷えるまでお待ちください。
- ② エンジン再始動後、警告灯が消灯しないときや再び点滅するときは、触媒装置保護のため、急加速、急減速などの無理な運転を避け、50km/h以下の速度で、最寄りのホンダベルノ店まで走行し点検を受けてください。

アドバイス

- エンジン各気筒の失火状態を検知し、警告灯を点滅させる機能を持っています。警告灯が点滅した状態で運転は続けしないでください。触媒装置を焼損することがあります。



トランスミッション警告灯 (セレクトポジション表示灯兼用)

オートマチック車

トランスミッションが異常のときに点滅します。

点滅したときは

運転中に点滅した場合は、急発進、急加速を避けて、ただちにホンダベルノ店で点検を受けてください。



シートベルト警告灯

エンジンスイッチを“II”にすると、運転席シートベルトを着用するまで点灯し続けます。



燃料残量警告灯

燃料タンク内のガソリン残量が10.5ℓ前後になったときに点灯します。

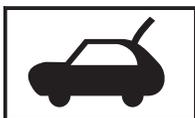
燃料の補給 →42ページ



ドア開閉警告灯

ドアが完全に閉まっていないときに点灯します。

ドアを完全に閉めてください。



テールゲート開閉警告灯

テールゲート、ガラスハッチが完全に閉まっていないときに点灯します。

テールゲート、ガラスハッチを完全に閉めてください。



SRSエアバッグシステム警告灯 (サイドエアバッグシステム警告灯 [サイドエアバッグシステム装備車]、 シートベルトプリテンショナー警告 灯兼用)

SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。

SRSエアバッグシステム →130ページ

サイドエアバッグシステム →138ページ

シートベルトプリテンショナー →148ページ



ABS

アンチロックブレーキシステム (ABS)警告灯

ABSが異常のときに点灯します。

→151ページ

VSA

ビークルスタビリティアシスト (VSA：車両挙動安定化制御システム)警告灯

VSA装備車

VSAが異常のときに点灯します。

→152ページ

知識

- ABS警告灯が点灯するとVSA警告灯も同時に点灯します。

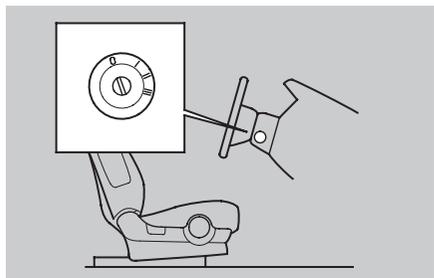
警告灯の電球切れの点検

エンジンスイッチを“II”にしたとき、下記の警告灯類が点灯するのが正常です。点灯しないときは、ホンダベルノ店へご連絡ください。

- 油圧警告灯
(エンジン始動後消灯)
- ブレーキ警告灯
(パーキングブレーキを完全に解除すると消灯)
(パーキングブレーキが解除されているときは数秒後消灯)
- 充電警告灯
(エンジン始動後消灯)
- トランスミッション警告灯
(数秒後消灯)
- PGM-FI警告灯
(数秒後消灯)
- SRSエアバッグシステム警告灯
(約6秒後消灯)
- アンチロックブレーキシステム (ABS)警告灯
(数秒後消灯)
- ビークルスタビリティアシスト (VSA：車両挙動安定化制御システム)警告灯
(数秒後消灯)

スイッチの使いかた

エンジンスイッチ



0

キーを抜き差しする位置です。

I

エンジンをかけずにラジオなどのアクセサリを使用するときの位置です。

II

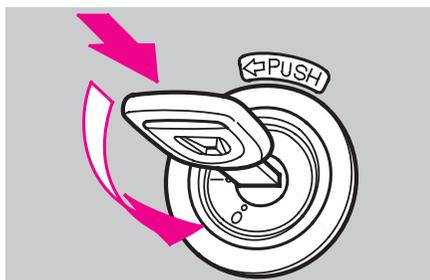
運転するときの位置です。

III

エンジン始動位置です。始動したら、キーから手を離してください。自動的に“II”に戻ります。

キーを抜くとき

- オートマチック車は、セレクトレバーを回に入れます。
- “I”でキーを押し込んで“0”まで回してキーを抜きます。



知識

- キーを抜くとハンドルがロックされます。
- **オートマチック車**
セレクトレバーが回以外のときは、エンジンスイッチが“0”まで回らないので、キーを抜くことができません。

“0”から“I”にキーが回らないとき

ハンドルを左右に回しながらキーを回せば容易に回ります。



⚠ 警告

- 走行中はエンジンを止めないでください。
マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“0”にするとキーが抜けることがあり、ハンドルがロックされ、思わぬ事故につながります。

🎓 知識

- エンジンを止めた状態で“1”または“II”のまま、長時間放置しないでください。
バッテリー容量が低下し、エンジンがかからなくなることがあります。
- 車から離れるときは、バッテリー保護のため必ず“0”にしてください。

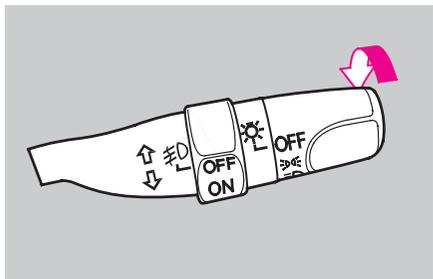
●キー抜き忘れ警告ブザー

エンジンスイッチが“1”または“0”でキーを差し込んだまま車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、ブザーが鳴りキーの抜き忘れを知らせます。

ライトスイッチ

●ライトの点灯・消灯

エンジンスイッチの位置に関係なく次のように点灯、消灯します。



スイッチの位置	点灯	消灯
ヘッドライト	—	点灯
計器類照明灯 車幅灯・尾灯 番号灯	点灯	点灯

🎓 知識

- エンジンが止まっている状態で、ライト類を点灯したままにしないでください。バッテリーあがりの原因となります。

●ライト消し忘れ警告ブザー

エンジンスイッチが“II”以外で、ライトを消し忘れたまま車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、ブザーが鳴りライトの消し忘れを知らせます。

●ヘッドライトの上向き(ハイビーム)と下向き(ロービーム)の切り換え

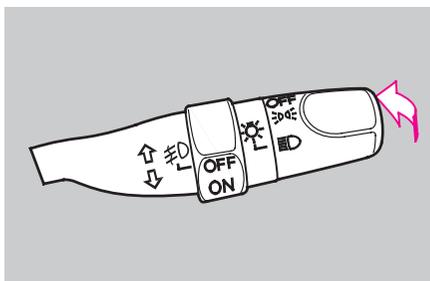
レバーを前方へ押すと上向きになります。戻すと下向きになります。

上向きのおときは、メーター内の表示灯が点灯します。

ヘッドライトの上向き(ハイビーム)

表示灯

→90ページ

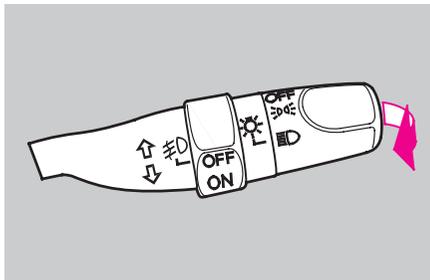


🎓 知識

- 対向車のあるときや市街地走行など、上向きが不適切なときは下向きにします。

●追越合図(パッシング)

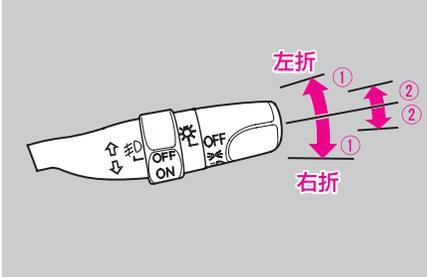
レバーを手前に引いている間、上向きが点灯します。





方向指示器(ウィンカー)スイッチ

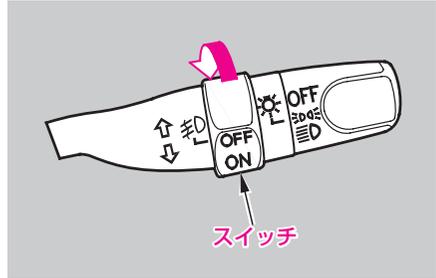
エンジンスイッチが“II”のとき使えます。ふだんは①の位置で使います。この位置ではハンドルの切り角が小さいときには戻らない場合もあります。戻らないときは手で戻してください。車線変更などでは②の位置に軽く手で押さえながら使います。



フォグライトスイッチ

タイプ別装備

ライトスイッチが“OFF”以外のときスイッチを“ON”にするとフォグライトが点灯します。



ワイパー／ウォッシャー スイッチ

⚠ 注意

- 寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。

ウォッシャー液が凍りついて視界のさまたげとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知識

- 空ぶきをしないでください。ガラス面に傷をつけたり、ブレード(ゴム部)を傷めたりします。
- ウォッシャー液が出ないときはウォッシャースイッチを切ってください。
ウォッシャー液がないままで動かすとポンプの故障の原因となります。
- 寒冷時、ブレード(ゴム部)がガラス面に張りつくことがありますのでヒーターでフロントガラスを暖めてください。
凍りついたまま動かすとブレード(ゴム部)を傷めたり、ワイパーモーターの故障の原因となります。

デフロスター →166ページ

🎓 知識

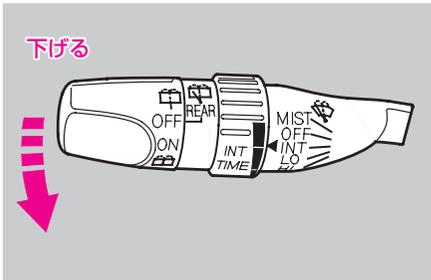
- ワイパーを作動中にガラスに雪などがたまりワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してワイパースイッチを“OFF”、エンジンスイッチを“0”または“1”にしてワイパーが作動できるように雪などの障害物を取り除いてください。
- フロントワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。
モーターの負荷が大きい状態が続いたときなどには、ブレーカーが作動し、一時的にモーターが止まることがあります。
数分ほどすると、ブレーカーが復帰して通常通り使用できるようになります。



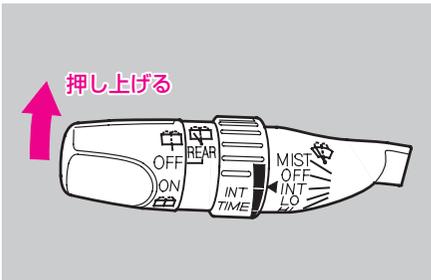
エンジンスイッチが“II”のとき使えます。

●フロントガラス

ワイパースイッチ



- OFF 停止
- INT(間欠) 雨量の少ないとき
- LO(低速) 普通雨量のとき
- HI(高速) 雨量の多いとき



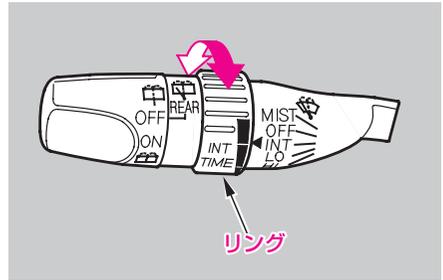
MIST
レバーを押し上げている間、高速で作動します。
霧や小雨のときなどに使うと便利です。

間欠時間の調節

タイプ別装備

ワイパーの間欠作動の間隔を調節できます。

間隔のセットはリングを回して行います。

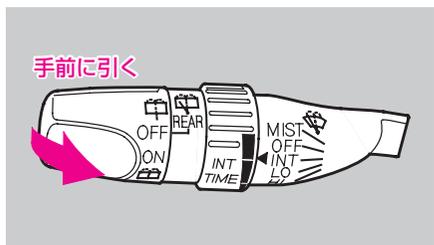


🎓 知識

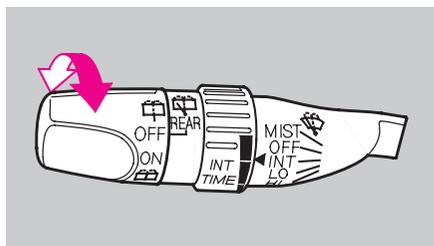
- 間欠作動中は、車速が速くなると間隔が停止時より約4秒短くなります。
また、発進時にワイパーが1回作動します。
- リングを間欠時間の短い方へいっぱい回しているときに、車速が速くなるとワイパーが間欠から低速作動になります。

ウォッシャースイッチ

レバーを手前に引くとウォッシャー液が噴射します。レバーを引いている間はワイパーが作動し、レバーを離れた後さらに2～3回作動します。



●リヤガラス



OFF …………… 停止

ON …………… ワイパーが作動します。スイッチを“ON”にすると、2回ワイパーが作動し、その後間欠作動に切り換わります。

 …………… スイッチを回している間、ウォッシャー液が噴射します。スイッチを回している間はワイパーが作動し、スイッチを離れた後さらに2～3回作動します。

🎓 知識

- ガラスハッチが開いているときにリヤガラスワイパーを操作しても作動しません。
- リヤガラスワイパー作動中にガラスハッチを開くと停止します。復帰するには、ガラスハッチを閉じてリヤガラスワイパースイッチを一旦“OFF”にしてから“ON”にしてください。
- リヤガラスワイパー作動中にエンジンスイッチを“II”以外にしても、リヤガラスワイパーは停止位置で止まります。

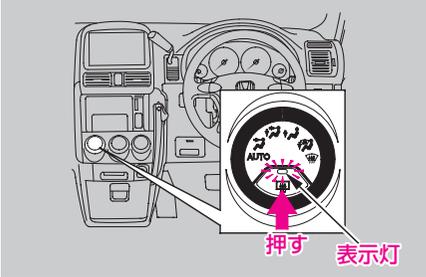


リヤデフロスタースイッチ

リヤガラスを暖め、曇りを取ることができます。



エンジンスイッチが“II”のときスイッチを押すと“ON”になり、同時に作動表示灯が点灯します。もう一度スイッチを押すと“OFF”になり、作動表示灯は消灯します。



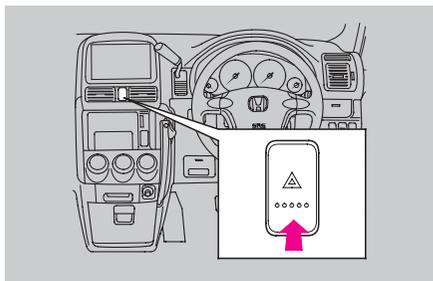
知識

- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたら“OFF”にしてください。また、エンジンの回転が低いとき長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。
- リヤガラスの内側に電熱線が装着されています。電熱線は傷つきやすいので清掃のときは電熱線に沿ってやわらかい布でふいてください。また、手荷物などで傷つけないようにしてください。

非常点滅表示灯(ハザード)スイッチ

スイッチを押すとすべての方向指示器のランプが点滅します。

故障でやむをえず路上駐車するとき使います。

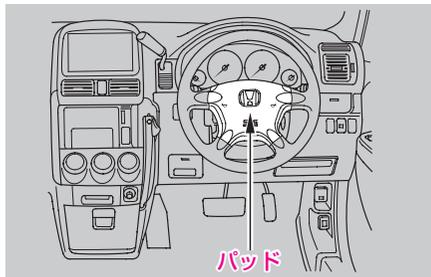


知識

- 非常時にのみお使いください。
完全充電の新しいバッテリーでも約2時間以上使うとバッテリー容量が低下し、エンジンの始動ができなくなります。

ホーンスイッチ

ハンドルにあるパッドを押すとホーンが鳴ります。



運転のしかた

エンジンのかけかた

⚠ 警告

- バッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動をしないでください。
バッテリーが破裂するおそれがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところではエンジンをかけたままにしないでください。
車内や屋内などに排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

⚠ 注意

- エンジンを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

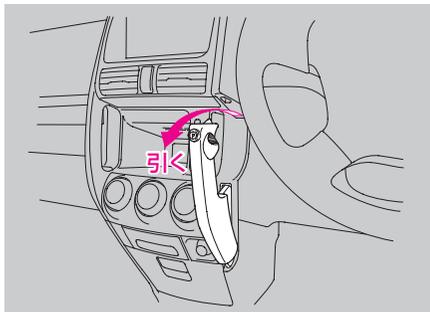
🚗 アドバイス

- 排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのおいが消えない場合は、排気系や燃料系の異常が考えられますので、必ずホンダベルノ店で点検を受けてください。

- ① パーキングブレーキがかかっていることを確認します。

パーキングブレーキの操作

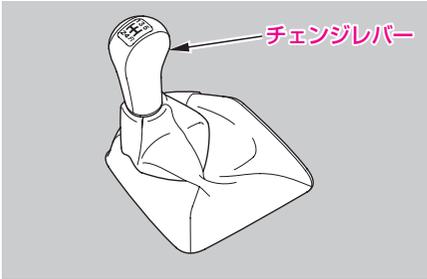
→111ページ



② **マニュアル車**

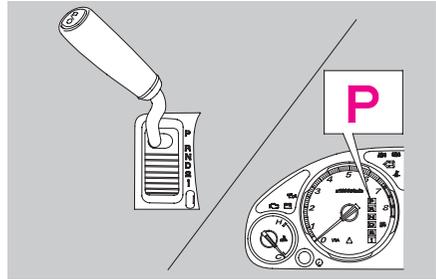
チェンジレバーをN(ニュートラル)にしてください。

チェンジレバーの操作 →112ページ

**オートマチック車**

セレクトレバーがPの位置にあることを確認してください。

セレクトレバーの操作 →114ページ



- ③ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
マニュアル車は、クラッチペダルもいっばいに踏み込んで行います。

- ④アクセルペダルを踏まずに、エンジンが始動するまでスターターを回してください。



・クラッチ・スタートシステム

マニュアル車

思わぬ事故を防ぐため、クラッチペダルをいっばいに踏み込まないとスターターが回らないようになっています。

知識

- 消費電力の大きいライト類、エアコン、リヤデフロスターのスイッチは“OFF”にした方が始動は容易になります。
- バッテリーあがりを防ぐため、スターターは連続して15秒以上回さないでください。15秒回してもエンジンが始動しなかったときは、一度キーを“1”に戻して10秒以上待ってから再始動してください。
- エンジンがあたたまっていると始動に時間がかかることがあります。アクセルペダルを半分程度踏み込んだまま、スターターを回してください。エンジンが始動したらアクセルペダルを徐々に戻してください。
- エンジン始動後は、エンジン制御システムの働きによりエンジン回転が高くなりますが、自動的に適正回転に下がります。



パーキングブレーキ

⚠ 注意

- パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

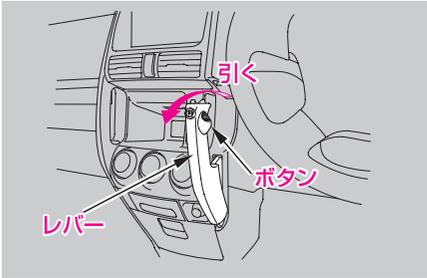
🎓 知識

- 駐車するときは、車が動き出さないように必ずパーキングブレーキをかけてください。

寒冷時のパーキングブレーキの取り扱い →288ページ

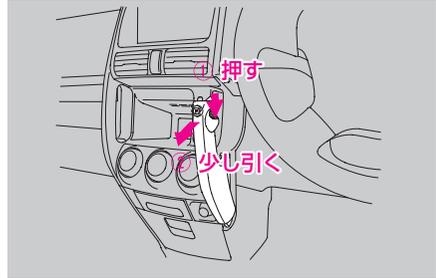
かけるとき

ボタンを押さずにレバーをいっぱいに引きます。

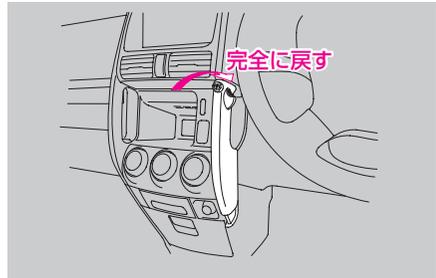


解除するとき

- ①ボタンを押しながらレバーを少し引きます。



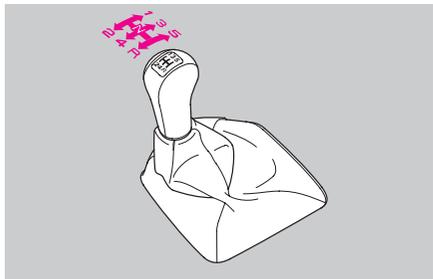
- ②ボタンを押したまま、レバーを前に完全に戻します。



チェンジレバーの操作

マニュアル車

●チェンジレバー



変速するときは、クラッチペダルをいっぱい踏み込んで、チェンジレバーを確実に操作します。

Rに入れるとき

誤操作を防ぐために、5からRへは直接入れられません。一度Nへ戻してからRに入れてください。

アドバイス

- 車が完全に止まらないうちはRに入れないでください。
トランスミッション破損の原因となります。

●速度範囲

エンジンを過回転させないために、下表の各チェンジレバー位置での速度範囲を参考に、シフトダウンしてください。

チェンジレバーの位置	速度範囲
1	0～46km/h
2	20～92km/h
3	30～134km/h
4	35km/h～
5	45km/h～



⚠️ 注意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。シフトダウンする際の車速には十分注意してください。

🚗 アドバイス

- エンジン故障の原因となりますので、限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。特に高速走行時、変速(シフトダウン)するときには注意してください。

限界回転数……………6,800rpm

🎓 知識

- 法定速度を守って走行してください。
- 1,000km走行するまではエンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。
- エンジンの回転をあやまって限界回転数以上(レッドゾーン)で運転した場合、エンジン保護装置により、燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じる場合がありますが、異常ではありません。

セレクトレバーの操作

オートマチック車

●それぞれの位置のはたらき

P

パーキング

駐車およびエンジンを始動する位置。
キーを抜く位置。

知識

- セレクトレバーがP以外のときは、エンジンスイッチが“0”まで回らないので、キーを抜くことができません。

R

リバース

車を後退(バック)させる位置。
チャイムが鳴り、セレクトレバーがRに入っていることを運転者に知らせます。

N

ニュートラル

中立位置。
(エンジン始動できますが、安全のためRで行ってください。)

D

ドライブ

通常の走行をする位置。
O/DスイッチONのときは、1速から4速まで自動的に変速されます。
O/DスイッチOFFでは、1速から3速まで自動的に変速されます。

2

セカンド

エンジンブレーキが必要なときや、雪道などの滑りやすい路面での発進に使う位置。
(2速のまま変速されません。)

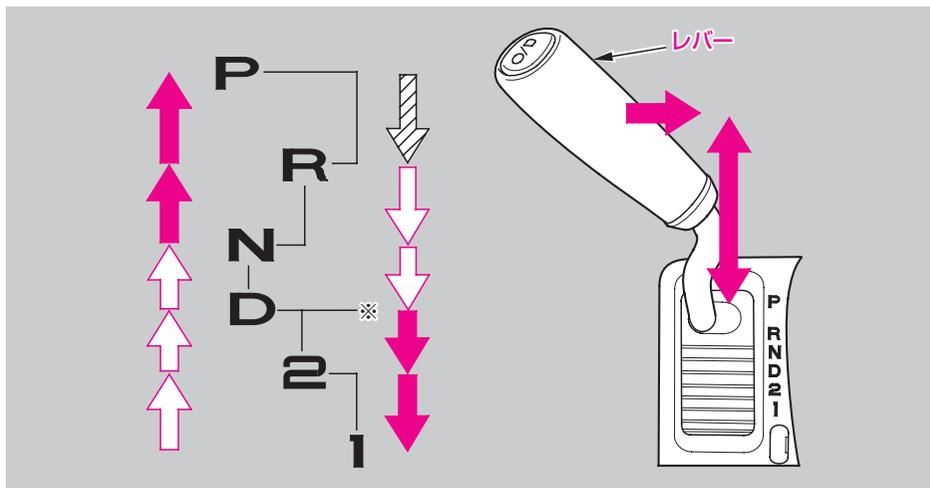
1

□一

強力なエンジンブレーキが必要なときに使う位置。
(1速のまま変速されません。)



●セレクトレバーの動かしかた



ブレーキペダルを踏んだまま、レバーを手前に引いて操作します。



そのままレバーを操作します。



レバーを手前に引いて操作します。

※：いっぱい引くと D に入らないようになっています。少し引いて操作してください。

🎓 知識

- セレクトレバーの操作は誤操作防止のため各位置ごとに節度をつけ、確実に行ってください。
- D のときは、レバーを手前に引いたままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- エンジンスイッチが“1”または“0”のときは、ブレーキペダルを踏んでも D から他の位置に切り換えられません。
- いつもレバーを引いて操作すると意に反して D D D D に入れてしまうおそれがあります。

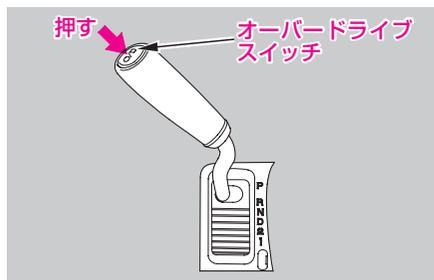
↑ ↓ の操作は、レバーを引かずに動かす習慣をつけてください。

●オーバードライブ(O/D)スイッチ

スイッチを“ON”にしておくのと回の位置で走行中、4速ギヤに入り、低いエンジン回転で走行ができ、燃費や静粛性に効果があります。

- ・スイッチを押すごとにOFFとONに切り換わります。
- ・OFFのときオーバードライブOFF表示灯が点灯します。

(→91ページ参照)



スイッチがONのとき

通常走行に適します。

速度によりギヤが1速から4速に自動変速します。

スイッチがOFFのとき

ゆるい坂道走行などに適します。

速度によりギヤが1速から3速まで自動変速します。

下り坂では軽いエンジンブレーキが得られます。

上り坂では変速回数の少ないなめらかな走行ができます。

知識

- エンジンをOFFにするとオーバードライブ(O/D)スイッチはONの状態にもどります。



●速度範囲

エンジンを過回転させないために、下表の各セレクトレバー位置での速度範囲内で切り換えを行ってください。

セレクトレバーの位置		速度範囲	変速範囲
D	ODスイッチON	0 km/h～	1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4 速
	ODスイッチOFF	0～160km/h	1 ↔ 2 ↔ 3 速
2		0～108km/h	2 速固定
1		0～60km/h	1 速固定*

*：急激なエンジンブレーキによるショックを避けるため40km/h以上でDへ切り換えた場合は、一旦2速に入ります。

⚠注意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。シフトダウンする際の車速には、十分注意してください。

🎓知識

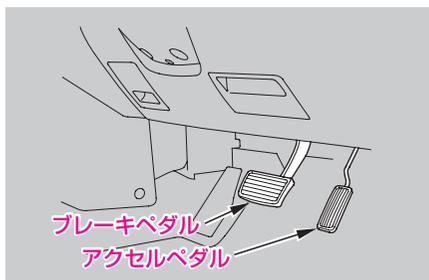
- 法定速度を守って走行してください。
- 1,000km走行するまではエンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。
- エンジンの回転をあやまって限界回転数以上(レッドゾーン)で運転した場合、エンジン保護装置により、燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じるがありますが、異常ではありません。

オートマチック車の 運転のしかた

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤの切り換えを自動化したもので、その分、操作の負担が軽くなり、運転が楽になりますが、運転の基本を十分理解し、正しく操作する習慣をつけてください。

エンジンをかける前に

正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。



知識

- ペダルの踏みまちがいを防ぐため、ペダルの位置を実際に踏んでみて足におぼえさせておくことが重要です。
また、不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。
- 車を少し移動させるときにもペダルが確実に踏めるように、正しい運転姿勢をとりましょう。



エンジン始動

- ①パーキングブレーキがかかっていることを確認。
- ②セレクトレバーが回に入っていることを確認。

知識

- でも始動できますが、安全のため駆動輪が固定される回で行ってください。

- ③ブレーキペダルを右足で踏んで始動。

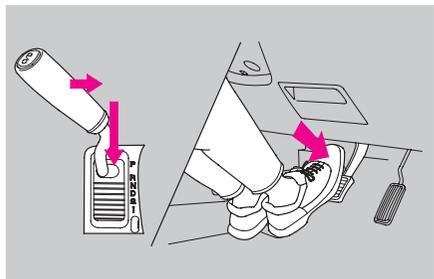


知識

- 始動時にアクセルペダル操作が必要な場合は、始動後、右足でブレーキペダルを踏んでください。

発進

- ①右足でブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを前進はD、後退はRに入れる。



⚠ 注意

- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。急発進して思わぬ事故の原因になります。

🎓 知識

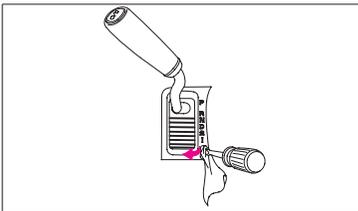
- セレクトレバーをR/N以外に入れると、クリーブ現象により、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。ブレーキペダルを踏んでください。
- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がり、クリーブ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかり踏んでください。
- セレクトレバーを引いたままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- マニュアル車は、発進時の速度を、クラッチ操作とアクセル操作を併用して調節しますが、オートマチック車は、アクセル操作のみで行うので、アクセル操作は慎重に行ってください。
- 万一、ブレーキペダルを踏んでもRから他の位置に切り換えられないときは、エンジンスイッチからキーを抜き、シフトロック解除穴にキーを差し込み、押しながらレバーを操作してください。



- ②レバーの位置をメーター内のセレクトポジション表示灯で再確認。
- ③パーキングブレーキをもどす。
- ④ブレーキ警告灯が消灯したことを確認。
(→94ページ)
- ⑤ブレーキペダルを徐々に離して、アクセルペダルをゆっくりと踏む。

🎓 知識

- 万一、ブレーキペダルを踏んでも
ⓂからⓂや、ⓂからⓂの位置に切り換えられないときは、
 - ①ドライバーの先端に布等をまいてシフトロック解除穴のカバーを外します。



- ②シフトロック解除穴にキーまたはドライバーを差し込み、押しながらかレバーを操作してください。



急な坂道での発進

セレクトレバーの位置をメーター内のセレクトポジション表示灯で確認し、

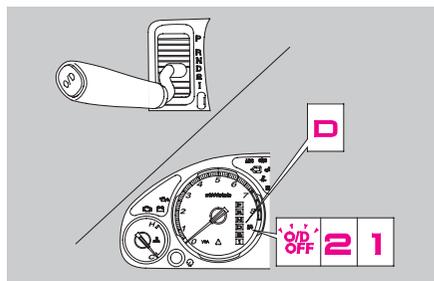
- ・パーキングブレーキをかけたままブレーキペダルを離し、
- ・アクセルペダルをゆっくり踏んで、
- ・車が動き出す感触を確認しながら、
- ・パーキングブレーキをもどして発進。

走行

走行中はセレクトレバーをⅡにしないでください。

知識

- Ⅱにするとエンジンブレーキが全くきかなくなるため思わぬ事故の原因になります。
またⅡにしても燃費の差はほとんどありません。



注意

- フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが過熱してききが悪くなるおそれがあります。長い下り坂や急な下り坂では、必ずエンジンブレーキを併用してください。

エンジンブレーキ →18ページ

通常走行

セレクトレバーをⅡにして走行します。アクセルペダルの踏み加減と走行速度により、1速から4速まで自動的に変速されます。

急加速したいとき

アクセルペダルをいっぱい踏み込むと、キックダウンして急加速します。

上り坂走行

坂の勾配に応じ、O/Dスイッチを“OFF”またはⅡにしておくと、エンジン回転の変化が少ない、なめらかな走行ができます。

下り坂走行

下り坂をⅡのまま走行すると、エンジンブレーキのききが弱く、速度が出すぎてしまうことがあります。

このようなときは、O/Dスイッチを“OFF”またはⅡにします。

さらに強力なエンジンブレーキが必要なときはⅡにします。



停車

- ① ④のままブレーキペダルをしっかりと踏んでおく。
必要に応じてパーキングブレーキをかける。

アドバイス

- アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂で④④以外に入れた状態で、アクセルをふかしながら車を停止させたりしないでください。
トランスミッションが過熱し、故障の原因となります。

知識

- 急な上り坂での停車はクリーブ現象で前へ進もうとする力よりも車が後退しようとする力の方が大きくなり、車が後退することがあります。ブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキをかけてください。
- セレクトレバーが④④以外でエアコンスイッチが入っている場合などは、エンジン回転数が断続的に高くなりクリーブ現象が強まります。ブレーキペダルを特にしっかりと踏み込んでください。

- ② 停車時間が長くなるときはセレクトレバーを④に入れる。

注意

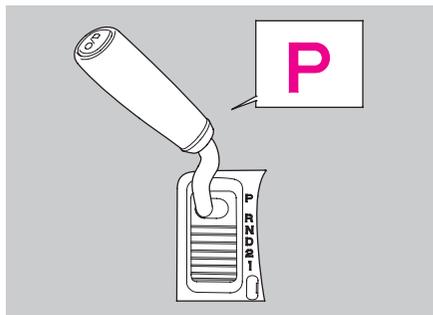
- 停車中、空ぶかしをしないでください。
万一、セレクトレバーが④④以外
のとき、思わぬ急発進の原因になります。

知識

- 停車後、再発進するときは、思い違いのないようセレクトレバーが④にあることを確認してください。
- セレクトレバーが④でもエンジンが冷えているときは、トランスミッションオイルの粘性により車がわずかに動き出すことがありますので、ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。

駐車

- ①車を完全に止める。
- ②ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかける。
- ③セレクトレバーをPに入れる。



🎓 知識

- 駐車の際は、セレクトレバーが必ずPに入っていることを確認してください。セレクトレバーがPのときは、駆動輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。

- ④エンジンを止める。

⚠️ 注意

- エンジンをかけたままにしておくと、万一、セレクトレバーがP以外に入っていたとき、クリーブ現象で車がひとりでに動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み急発進するおそれがあります。

🚗 アドバイス

- 車が完全に止まらないうちにPに入れないでください。トランスミッション破損の原因となります。

🎓 知識

- 環境保護のため駐車時にはエンジンを止めましょう。



ほかに気をつけたいこと

車を少し移動させるとき

このような場合でも、正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。

車を後退させるとき

この場合、体をうしろにひねった姿勢になり、ペダルの操作がしにくくなります。ブレーキペダルは確実に踏めるよう注意してください。

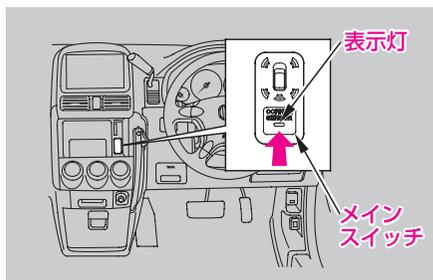
コーナーセンサー&バックソナー

タイプ別注文装備

車両と障害物のおおよその間隔を運転者に表示灯とブザーで知らせる装置で、車庫入れや縦列駐車などのときに便利です。

●使いかた

エンジンスイッチが“II”のとき使えます。メインスイッチを押すとシステムが“ON”になり、同時にスイッチ内の表示灯が点灯します。もう一度押すと“OFF”になり、表示灯は消灯します。



🎓 知識

- 障害物によっては、正確に感知しないことがあります。必ず自分の目で周囲の安全を確認してから行ってください。

システムが“ON”のとき、それぞれ次の条件を満たしているとコーナーセンサー&バックソナーが作動します。

コーナーセンサー

オートマチック車

- ・セレクトレバーがRに入っている。
- ・車速が10km/h以下である。

マニュアル車

- ・パーキングブレーキが解除されている。
- ・車速が10km/h以下である。

バックソナー

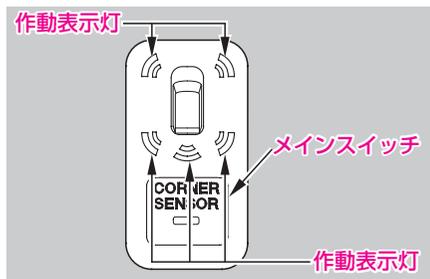
オートマチック車

- ・セレクトレバーがRに入っている。
- ・車速が10km/h以下である。

マニュアル車

- ・チェンジレバーがRに入っている。
- ・パーキングブレーキが解除されている。
- ・車速が10km/h以下である。

作動中に障害物を感知すると、メインスイッチの上にある作動表示灯が点滅または点灯し、同時にブザーが鳴ります。





●作動表示灯とブザーの作動のしかた

システムを“ON”にすると、作動確認のため一度作動表示灯が点灯しブザーが鳴ります。障害物を感知すると次のようになります。

コーナーセンサー

(例)車の左側前方に障害物がある場合

車両と障害物との位置関係	約50~40cm	約40~30cm	約30cm以内
作動表示灯	左上の表示灯が点滅	左上の表示灯が点滅	左上の表示灯が点滅
ブザー	ピッピッピッ	ピピピ	ピー(連続音)

バックソナー

車両と障害物との位置関係	約2~1m	約1~0.5m	約0.5m以内
作動表示灯	点滅	点滅	点灯
ブザー	ピッピッピッ	ピピピ	ピー(連続音)

知識

- システムが異常を感知すると、作動表示灯が点滅し、同時にブザーが断続的になります。表示灯やブザーが消えないときは、ホンダベルノ店で点検を受けてください。(システムが正常になれば自動的に消えます。)

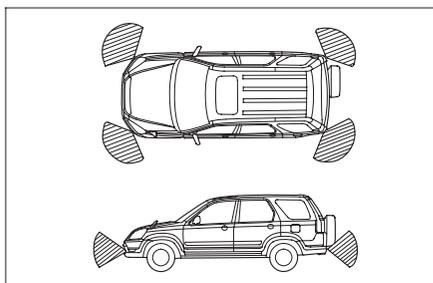
●障害物を感知できる範囲

感知できる範囲は下図の範囲に限られています。

必ず、安全を確認しながら、ゆっくりと車を動かしてください。

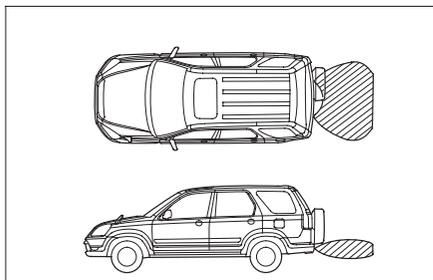
コーナーセンサー

各センサーから約50cm以内



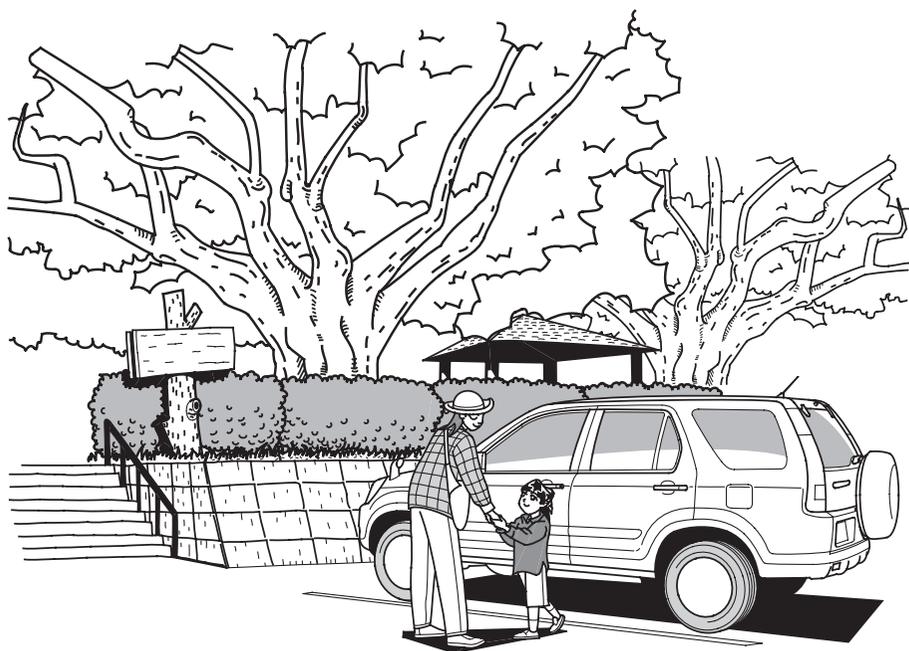
バックソナー

車両後方約2m以内



🎓 知識

- 感知範囲にはアクセサリなどを取り付けないでください。
- 次の場合、装置が正常に作動しないことがあります。
 - ・ センサーに氷、雪、泥などが付着したとき
 - ・ 炎天下や寒冷時に長時間駐車したとき
 - ・ でこぼこ道、砂利道、坂道、草むら走行時などのとき
 - ・ 他車のホーン、オートバイのエンジン音、大型車のエアブレーキ音などの超音波を発生するものが近づいたとき
 - ・ どしゃぶりの雨や水がかかったとき
 - ・ 無線機用アンテナを車につけたとき
- 次のようなものには感知しないことがあります。
 - ・ 針金、ロープなど細いもの
 - ・ 綿、スポンジ、雪など音波を吸収しやすいもの
 - ・ 背の低い物体
- バンパーの真下付近は感知しません。このため、背の低い物体や細かい杭などは一度表示しても接近すると突然表示しなくなります。



安全装備

3

●SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステムのしくみ……130

作動するとき……132

作動しないとき……133

SRSエアバッグシステムの

効果を十分に発揮させる

ために……134

お子さまを乗せるときは……135

取り扱いについて……136

●サイドエアバッグシステム

サイドエアバッグシステムのしくみ……138

作動するとき……140

作動しないとき……141

サイドエアバッグシステムの

効果を十分に発揮させる

ために……142

乗務員姿勢検知システム……144

お子さまを乗せるときは……145

取り扱いについて……146

●シートベルト

プリテンショナー

シートベルトプリテンショナー

のしくみ……148

取り扱いについて……149

●アンチロックブレーキシステム

(ABS)

ABSのしくみ……150

運転のしかた……150

取り扱いについて……151

●ビークルスタビリティ

アシスト(VSA)

VSAのしくみ……152

運転のしかた……153

取り扱いについて……154

●四輪駆動機構(4WD)

運転するときは……156

取り扱いについて……156

●その他の安全装備……157

SRSエアバッグシステム (運転席／助手席用シートベルト補助乗員保護装置)

SRSエアバッグシステムのしくみ

●SRSエアバッグシステムとは

前方向からの衝突により、SRSエアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和する装置です。

SRSエアバッグシステムはシートベルトに代わるものではありません。必ず、シートベルトを着用してください。

⚠警告

- SRSエアバッグシステム装備車であっても、必ずシートベルトを着用してください。
シートベルトを正しく着用し、正しい乗車姿勢をとらないと衝突などのときSRSエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

*SRS：サブリメンタルレストレイントシステム(Supplemental Restraint System)の略でシートベルトの補助拘束装置の意味

●どのように作動するか

エンジンスイッチが“II”のとき、前方向からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃(正しくシートベルトを着用していてもハンドルに顔面があたり、けがをするような場合)を感知するとシステムが作動し、SRSエアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和します。

⚠注意

- SRSエアバッグが膨らんだ直後は、SRSエアバッグ構成部品に触れないでください。
構成部品が熱くなっているため、やけどなど思わぬけがをすることがあります。

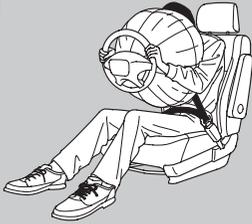


知識

- 車体が衝撃を十分に吸収できた場合、システムは作動しません。
- SRSエアバッグは非常に速い速度で膨らむため、SRSエアバッグとの接触によりすり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。
- 膨らんだSRSエアバッグはすぐにしぼみます。視界をさまたげません。
- SRSエアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響もありません。ただし、残留物(カスなど)が目や皮膚などに付着したときには、できるだけ早く水で洗い流してください。
皮膚の弱いかたなどは、まれに皮膚を刺激することがあります。
- SRSエアバッグは一度膨らむと再使用できません。
ホンダベルノ店で交換してください。

運転席用SRSエアバッグシステム

作動時



作動後



助手席用SRSエアバッグシステム

助手席用SRSエアバッグシステムは、同乗者がいなくても作動します。

作動時



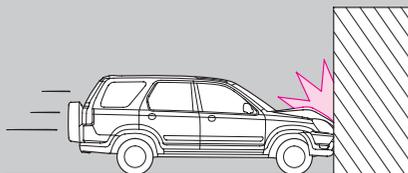
作動後



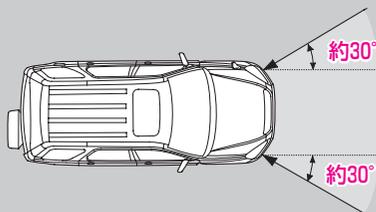
作動するとき

次のような場合に作動します。

20～30km/h以上の速度で、きわめて厚い固定されたコンクリートの壁に真正面から衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたとき



車両の前方左右約30度以内の方向から強い衝撃を受けたとき

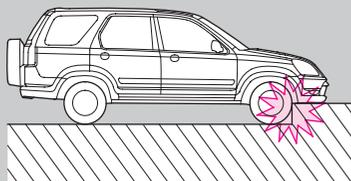


知識

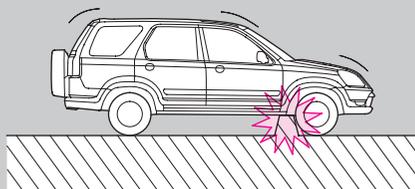
- 衝撃を吸収できるもの(車やガードレールのように変形するもの)に衝突した場合、SRSエアバッグが作動するときの速度(車速)は高くなります。

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受けたとき作動することがあります。車両に衝撃を受けないように十分に速度を落とし障害物をさけて走行してください。

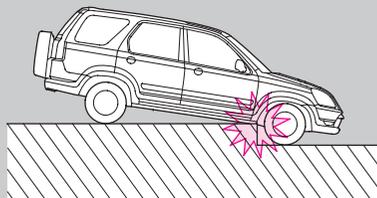
縁石などに衝突したとき



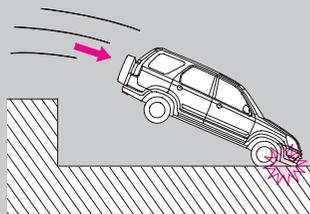
突起物などに衝突したとき



深い穴や溝などに落ちたとき



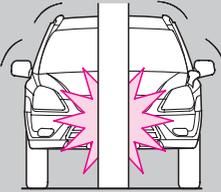
高いところから落ちたとき



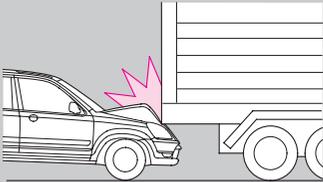


衝突の位置、衝撃の度合い、角度によって、作動しないことがあります。

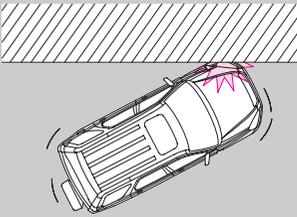
電柱、立木などへの衝突



トラックなどへの潜り込み



部分的な衝突や斜め方向からの衝突



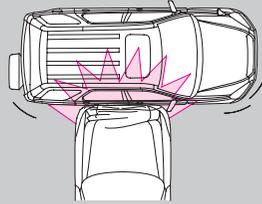
知識

- 車体の部位によって衝撃の吸収度合いが異なりますので、損傷状態の大小とSRSエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

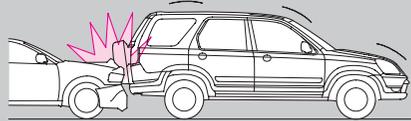
作動しないとき

シートベルトだけで乗員を保護できるような低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果が無いので作動しません。

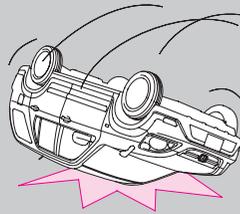
横方向からの衝突



後部からの衝突



横転または転覆



知識

- 事故の状況、形態によっては、SRSエアバッグが作動することがあります。

SRSエアバッグシステムの効果を十分に発揮させるために

●正しい乗車姿勢で

運転席

正しい運転姿勢(シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる状態)がとれる範囲で、シートを後ろに下げます。

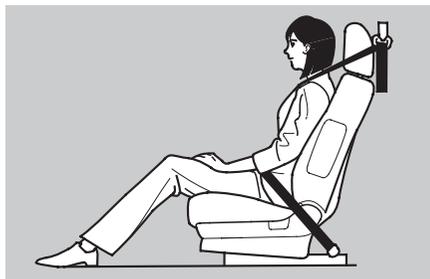


⚠ 警告

- ハンドルに顔や胸などを近づけていると、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。

助手席

シートを後ろに下げて深く腰かけ、背中を背もたれから離さないようにします。



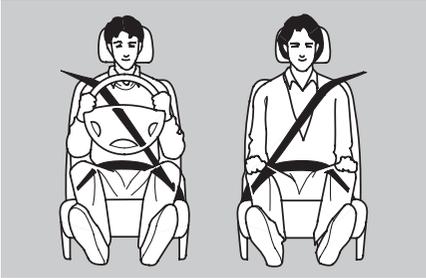
⚠ 警告

- インストルメントパネルに顔や胸などが近づかないようにシートを後ろに下げてください。また、インストルメントパネルに手や足などを置かないでください。
SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。



●シートベルトは必ず着用

このシステムは、シートベルトと併用することでその効果を発揮します。必ず、シートベルトを着用してください。



お子さまを乗せるときは

お子さまは、後席に乗せ必ずシートベルトを着用させてください。

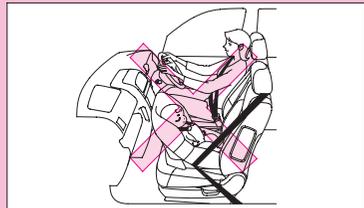
正しく着用できない小さなお子さまは、体格に合わせてチャイルドシートなどをお使いください。

●チャイルドシートなどの取り付けについて

⚠ 警告

- 助手席には乳児用シートを取り付けないでください。また、幼児用シートを後ろ向きに取り付けないでください。SRSエアバッグが膨らむ際、乳児用シートや、幼児用シートの背面に強い衝撃を受け、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。

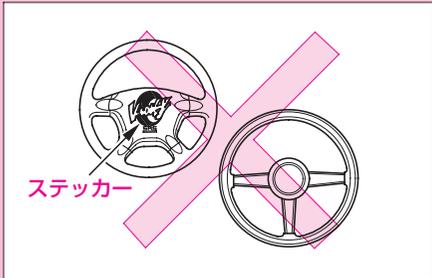
また、やむをえず幼児用シートを前向きに取り付ける場合は、SRSエアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。



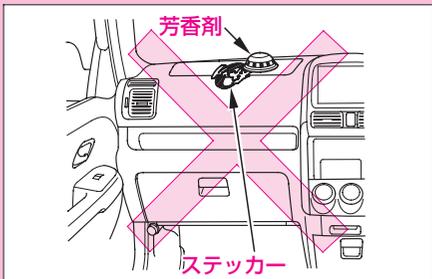
取り扱いについて

⚠ 注意

- SRSエアバッグの取り外し、分解などはしないでください。
不適切に扱おうと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。
- ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりすると正常に機能しなくなります。



- インstrumentパネル上面にステッカー類を貼ったり、アクセサリや芳香剤など物を置かないでください。
フロントガラスにアクセサリなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。
また、SRSエアバッグと乗員との間にテレビなどの用品を取り付けたり、物を置いたりしないでください。
正常に機能しなくなったり、作動時にこれらの物がとぶことがあります。



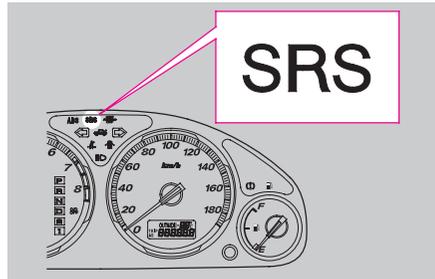


知識

- ハンドルまわり、インストルメントパネルまわりやセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品の取り付けおよびダッシュボード周辺の板金塗装および修理をする場合は、SRSエアバッグシステムに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずホンダベルノ店にご相談ください。
- SRSエアバッグシステム装備車を廃棄するときは必ずホンダベルノ店にご相談ください。正しく取り扱わないとSRSエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。
- サスペンションの改造をしないでください。車高やサスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながります。(Honda純正品を除く)

●SRSエアバッグシステム警告灯

メーター内に組み込まれており、SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダベルノ店で点検を受けてください。
 - ・ 運転中に点灯したとき
 - ・ エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき
 必要なときにSRSエアバッグが膨らまないおそれがあります。

サイドエアバッグシステムのしくみ

●サイドエアバッグシステムとは

側面からの衝突により、サイドエアバッグが膨らんで乗員（運転者または助手席同乗者）とドアの間に入り込むことにより、ドアと乗員の胸部などが衝突するときの衝撃を緩和する装置です。

サイドエアバッグシステムはシートベルトに代わるものではありません。必ず、シートベルトを着用してください。

⚠警告

- サイドエアバッグシステム装備車であっても、必ずシートベルトを着用してください。シートベルトを正しく着用し、正しい乗車姿勢をとらないと衝突などのときエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

●どのように作動するか

エンジンスイッチが“II”のとき、側面からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃（胸部に重傷を及ぼすような場合）を感知するとシステムが作動し、衝撃を受けた側のサイドエアバッグが膨らんで乗員（運転者または助手席同乗者）とドアの間に入り込むことにより、ドアと乗員の胸部などが衝突するときの衝撃を緩和します。

助手席側は乗員姿勢検知システムが乗車姿勢を不適切であると判断した場合は、サイドエアバッグの作動を自動停止します。

乗員姿勢検知システム →144ページ

⚠注意

- サイドエアバッグが膨らんだ直後は、サイドエアバッグ構成部品に触れないでください。構成部品が熱くなっているため、やけどなど思わぬけがをすることがあります。



知識

- サイドエアバッグは非常に速い速度で膨らむため、サイドエアバッグとの接触によりすり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。
- 膨らんだサイドエアバッグはすぐにしぼみます。
- サイドエアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響もありません。ただし、残留物(カスなど)が目や皮膚などに付着したときには、できるだけ早く水で洗い流してください。
皮膚の弱いかたなどは、まれに皮膚を刺激することがあります。
- サイドエアバッグは一度膨らむと再使用できません。
ホンダベルノ店で交換してください。

運転席サイドエアバッグシステム

サイドエアバッグ収納部



作動時



助手席サイドエアバッグシステム

助手席用サイドエアバッグシステムは、同乗者がいなくても作動します。

サイドエアバッグ収納部



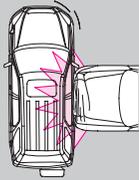
作動時



作動するとき

次のような場合に作動します。

約25km/h以上の速度で自車と同等の車が真横から側面衝突したときと同等かそれ以上の衝撃を受けたとき



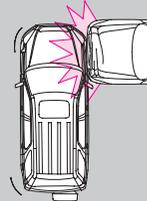
知識

- 側面に斜め方向から衝突された場合、サイドエアバッグが作動するときの速度(車速)は高くなります。

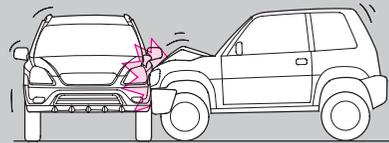


次のような場合、作動しないことがあります。

前席乗員付近以外の側面に衝突されたとき



車高の高い車に側面衝突されたとき



知識

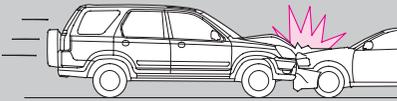
- サイドエアバッグは乗員の受ける衝撃の大きさによって作動するようになっていますので車両の損傷状態の大小とサイドエアバッグの作動は必ずしも一致しません。



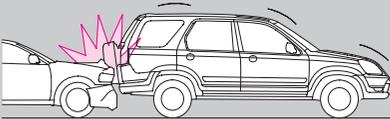
作動しないとき

低い速度での衝突や次のような場合、サイドエアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないので作動しません。

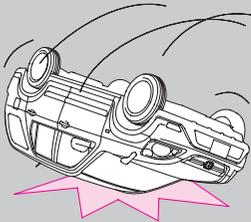
正面衝突



後部からの衝突



横転または転覆



知識

- 事故の状況、形態によっては、サイドエアバッグが作動することがあります。

助手席側は、乗員姿勢検知システムが乗車姿勢を不適切であると判断した場合は、サイドエアバッグの作動を自動停止します。

乗員姿勢検知システム →144ページ

サイドエアバッグシステムの効果を十分に発揮させるために

●正しい乗車姿勢で

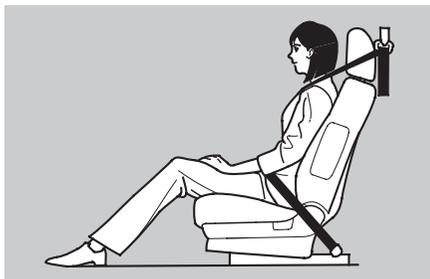
運転席

正しい運転姿勢(シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる状態)がとれる範囲で、シートを後ろに下げます。



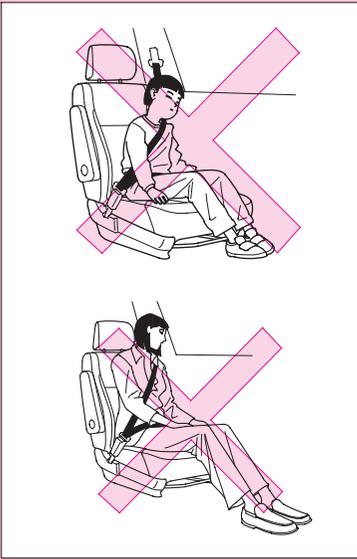
助手席

シートを後ろに下げて深く腰かけ、背中を背もたれから離さないようにします。



**⚠ 注意**

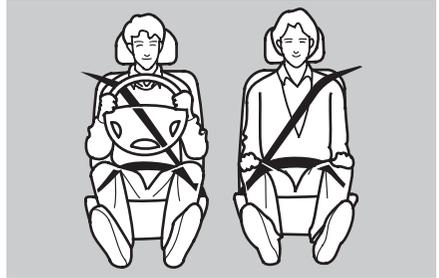
- フロントドアに寄りかからないようにしてください。サイドエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、傷害を受けるおそれがあります。



- サイドエアバッグ格納部に手や顔などを必要以上に近づけないでください。また、後席同乗者は前席の背もたれを抱えないでください。サイドエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、傷害を受けるおそれがあります。

●シートベルトは必ず着用

このシステムは、シートベルトと併用することでその効果を発揮します。必ず、シートベルトを着用してください。



乗員姿勢検知システム(助手席のみ)

●乗員姿勢検知システムとは

乗車時の姿勢が不適切な場合、サイドエアバッグが膨らむことにより重大な傷害を受けるおそれがあるため、助手席乗員の姿勢を検知し、サイドエアバッグの作動を自動的に停止する装置です。



🎓 知識

- シート表皮の裏にセンサーが取り付けられているため、次のような場合には、乗員姿勢検知システムが正常に機能しないおそれがあります。
 - ・シートの背もたれがぬれているとき
 - ・金属など電気を通す物が接しているとき
 - ・シートにクッションなどを装着しているとき
 - ・ダウンジャケット等の厚い上着を着ているとき
 - ・水分を含んだ物を助手席に置いているとき

●サイドエアバッグの作動を自動停止するとき

次のような場合、サイドエアバッグの作動を自動停止します。このときメーター内のサイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯します。



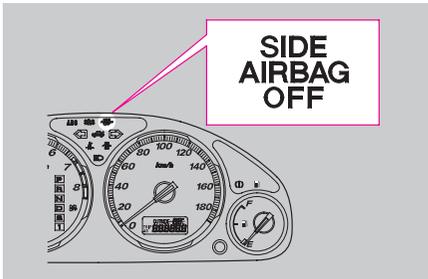
🎓 知識

- 次のような場合でも、サイドエアバッグの作動を自動停止することがあります。
 - ・小柄な大人の方が上のイラストと同じような姿勢をとったとき
 - ・大人の方が前かがみになるまたは、寝そべっていて、ドア側に寄りかかっているとき



●サイドエアバッグ自動停止表示灯

メーター内に組み込まれており、乗員姿勢検知システムが乗車姿勢を不適切であると判断し、サイドエアバッグの作動を自動停止しているときに点灯します。表示灯が点灯したときは、上体を起こして座ってください。また、小さなお子さまの場合は、後席に乗せてください。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約5秒間点灯して消えるのが正常です。

🚗 アドバイス

- 表示灯が次のような状態になったときは、乗員姿勢検知システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダベルノ店で点検を受けてください。
 - ・正しい乗車姿勢をとっても消灯しないとき、あるいは助手席に乗員がいないのに消灯しないとき
 - ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約5秒経過しても消灯しないとき

🎓 知識

- 次のような場合は、表示灯が点灯することがあります。表示灯が点灯しているときは、サイドエアバッグの作動を自動停止します。
 - ・シートの背もたれがぬれているとき
 - ・金属など電気を通す物が接しているとき
 - ・水分を含んだ物を助手席に置いているとき

お子さまを乗せるときは

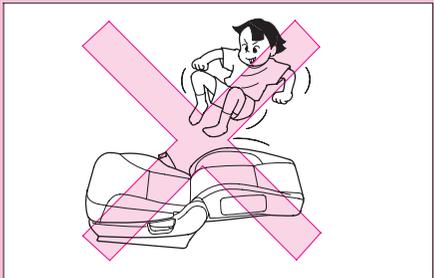
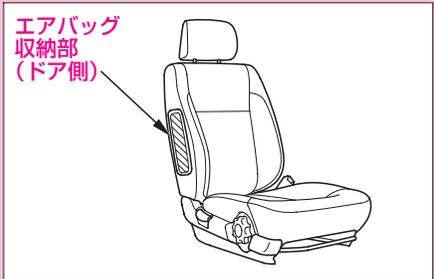
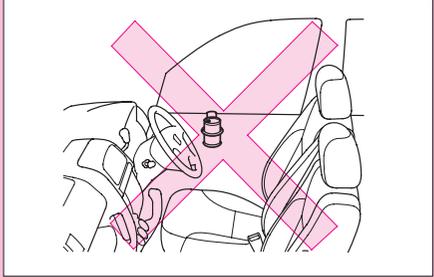
お子さまは、後席に乗せ必ずシートベルトを着用させてください。

正しく着用できない小さなお子さまは、体格に合わせてチャイルドシートをお使いください。

取り扱いについて

⚠ 注意

- サイドエアバッグの取り外し、分解などはしないでください。不適切に扱おうと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。
- フロントドアやその周辺にカップホルダーなどの用品を取り付けしないでください。また、フロントシートとドアの間付近に傘などの物を置かないでください。サイドエアバッグはドアに添って膨らむため、正常に機能しなくなったり、作動時にこれらの物がとぶことがあります。
- フロントシートにシートカバーを取り付けしないでください。サイドエアバッグはシートの背もたれ外側に収納されていて、エアバッグ収納部のカバーを破って膨らむため、正常に機能しなくなるおそれがあります。
- フロントシートの背もたれを倒した状態でとびはねるなど、サイドエアバッグ収納部に無理な力を加えないでください。



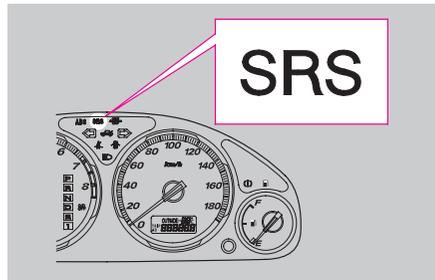


知識

- フロントシートまわり、センターピラーまわりやセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品を取り付ける場合は、サイドエアバッグシステムに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずホンダベルノ店にご相談ください。
- サイドエアバッグシステム装備車を廃棄するときは必ずホンダベルノ店にご相談ください。正しく取り扱わないとサイドエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。

●サイドエアバッグシステム警告灯 (SRSエアバッグシステム 警告灯兼用)

メーター内に組み込まれており、サイドエアバッグユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、サイドエアバッグシステムまたは、乗員姿勢検知システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダベルノ店で点検を受けてください。
 - ・運転中に点灯したとき
 - ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき
必要なときにサイドエアバッグが膨らまないおそれがあります。

シートベルトプリテンショナー

シートベルトプリテンショナーのしくみ

●シートベルトプリテンショナーとは

前方向からの衝突により、前席シートベルトを瞬間的に引き込み、シートベルトの拘束効果をいっそう高める装置です。SRSエアバッグシステムと同じ条件で作動します。

SRSエアバッグシステム →130ページ

●どのように作動するか

エンジンスイッチが“II”のとき、前方向からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃を感知するとシステムが作動し、前席シートベルトを瞬間的に引き込み、シートベルトの拘束効果をいっそう高めます。



⚠注意

- シートベルトを着用するときは、必ず次のことをお守りください。守らないとプリテンショナーが十分に効果を発揮しません。
 - ・シートベルトを正しく着用してください。
シートベルト →68ページ
 - ・正しい運転(乗車)姿勢をとってください。
正しい運転姿勢 →48ページ

🎓知識

- シートベルトプリテンショナーは一度作動すると、再使用できません。作動すると、シートベルトを引き出すことも巻き取ることもできなくなります。ホンダベルノ店で交換してください。
なお、シートベルトを着用していても作動しますので、助手席側も同時に交換してください。



取り扱いについて

⚠️ 注意

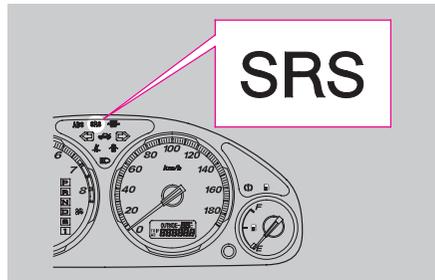
- シートベルト引き込み装置の取り外し、分解などはしないでください。
不適切にあつかうと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。

🎓 知識

- シートベルト引き込み装置やセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品の取り付けおよび修理をする場合は、プリテンショナーに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずホンダベルノ店にご相談ください。
- シートベルトプリテンショナー装備車を廃棄するときは、必ずホンダベルノ店にご相談ください。正しく取り扱わないとプリテンショナーとSRSエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。

● シートベルトプリテンショナー警告灯(SRSエアバッグシステム警告灯兼用)

メーター内に組み込まれており、SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

🚗 アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダベルノ店で点検を受けてください。
 - ・ 運転中に点灯したとき
 - ・ エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき
必要なときにシートベルトが引き込まれないおそれがあります。

アンチロックブレーキシステム (ABS)

ABSのしくみ

●ABSとは

急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとする装置です。

●作動について

- ・ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが小刻みに動くことがあります。これはABSが作動しているときの現象で異常ではありません。そのまま、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。



- ・低速(約10km/h以下)ではABSは作動せず、普通のブレーキと同じ作動になります。

📖 知識

- エンジン始動後、最初の発進時に、エンジンルームからモーター音等が聞こえることがありますが、これはシステムの動作チェックをしている音で異常ではありません。

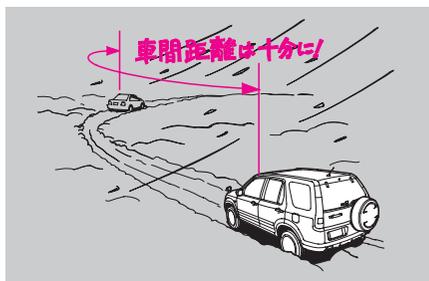
運転のしかた

- ・この装置は制動距離を短くするためのものではありません。ABSを装備していない車両と同様に、路面が滑りやすくなるほど長い制動距離が必要になります。

また、ABSが作動した状態でも車両の姿勢やハンドルの効きには限界がありますので、ハイドロプレーニング現象が起こりやすい雨天時の高速走行などにおいても過信せず、安全運転に心がけてください。

- ・悪路、砂利道、深い新雪などの路面では、ABSの装備されていない車両に比べて制動距離が長くなることがあります。

このような道路条件では速度は控えめにして車間距離を十分にとって運転してください。





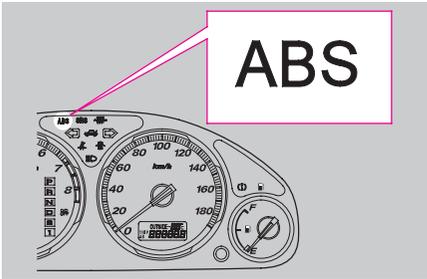
取り扱いについて

知識

- タイヤは必ず四輪とも同一指定サイズのものをお使いください。サイズ(外径)の異なるタイヤを混用すると、ABSが正常に機能しなくなることがあります。

● アンチロックブレーキシステム (ABS) 警告灯

メーター内に組み込まれており、ABSが異常のときに点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたとき点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。また、運転中に数秒間点灯してもすぐ消灯し、その後走行中に点灯しなければ正常です。

アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダベルノ店で点検を受けてください。
 - ・ 運転中に点灯したとき
 - ・ エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないとき
 なお、この場合でも通常のブレーキとしての性能は確保されています。(ABSとしての作動はしません)
- 警告灯がブレーキ警告灯と同時に点灯したときは、ブレーキ力の配分機能も作動しないため、急ブレーキ時に車両が不安定になる可能性があります。高速走行や急ブレーキを避けて、ただちにホンダベルノ店で点検を受けてください。

ビークルスタビリティアシスト(VSA) (車両挙動安定化制御システム)

タイプ別注文装備

VSAのしくみ

●VSAとは

ABS機能、TCS機能および横滑り抑制機能を総合的に制御し、急激な車両の挙動変化を抑制しようとする装置です。

ABS(アンチロックブレーキシステム)

機能

急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとする機能です。

TCS(トラクションコントロールシステム)機能

機能

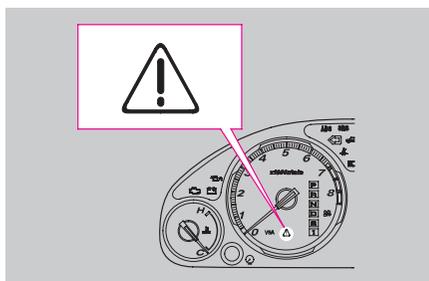
滑りやすい路面などでの駆動輪(前後輪)の無駄な空転を防止し、駆動力・操舵能力を確保しようとする機能です。

横滑り抑制機能

急激なハンドル操作や滑りやすい路面などでの旋回時に、車輪の横滑りなどを抑制することで車両の安定性を確保しようとする機能です。

●作動について

TCS機能と横滑り抑制機能は、エンジンを始動すれば自動的に“ON”になります。TCS機能または横滑り抑制機能が作動中は、メーター内のVSA作動表示灯が点滅します。



VSA作動表示灯は、エンジンスイッチを“II”にしたときに点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。



アドバイス

- 表示灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダベルノ店で点検を受けてください。
 - ・運転中にVSA警告灯と同時に点灯したとき
 - ・エンジンスイッチを「II」にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないときなお、この場合でも通常走行には支障はありません。

知識

- 発進時等にエンジンルームからモーター音等が聞こえることがありますが、これはシステムの動作チェックをしている音で異常ではありません。
- VSA警告灯が点灯するとVSA作動表示灯も同時に点灯します。

運転のしかた

VSAが作動した状態でも車両の安定性の確保には限界がありますので、無理な運転はしないでください。

- ・カーブの手前では十分に速度を落とししてください。
- ・雪道、凍結路を走るときは、冬用タイヤまたはタイヤチェーンを装着し、ひかえめな速度で運転してください。

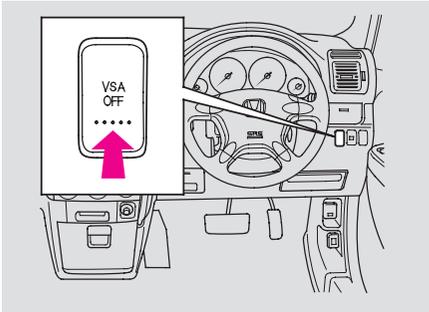
安全運転!



取り扱いについて

TCS機能と横滑り抑制機能を作動させたくないとき

エンジン始動後に、スイッチを押すとTCS機能と横滑り抑制機能が“OFF”になりメーター内のVSA作動表示灯が点灯します。



スイッチを押すごとに“OFF”と“ON”をくり返します。

知識

- TCS機能または横滑り抑制機能が作動中には、スイッチを押しても“OFF”にすることはできません。

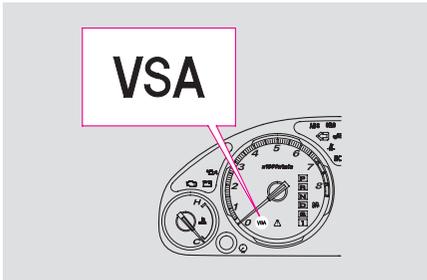
アドバイス

- VSA装備車は四輪とも、同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤを指定空気圧にてお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを混用したり、指定空気圧でない場合、VSAが正常に機能しなくなることがあります。また、応急用スペアタイヤを装着した場合も、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。



●ビークルスタビリティアシスト (VSA)警告灯

メーター内に組み込まれており、VSAが異常のときに点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたとき点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。また、運転中に数秒間点灯してもすぐ消灯し、その後走行中に点灯しなければ正常です。

アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダベルノ店で点検を受けてください。
 - ・運転中に点灯したとき
 - ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないときなお、この場合でも通常走行には支障はありません。

知識

- けん引されたときやけん引したときは、警告灯が点灯することがあります。この場合はエンジンを再始動させて警告灯が消灯すればVSAは正常です。
- ABS警告灯が点灯するとVSA警告灯も同時に点灯します。

四輪駆動機構(4WD)

タイプ別装備

運転するときは

四輪駆動車(4WD車)は積雪地、砂地、ぬかるみ、急坂路など滑りやすい路面において二輪駆動車(2WD車)に比べて走破性にすぐれていますが、万能ではありません。アクセル、ハンドル、ブレーキの操作は一般の車と同じく慎重に行い、常に安全運転を心がけてください。

4WD車は、オフロードやラリー走行を目的とした車ではありません。必ず、次のことをお守りください。

- ・砂地、ぬかるみ等、前輪が空転しやすいところでの連続走行はしないでください。
- ・渡河などの水中走行はしないでください。
- ・ブレーキ性能は2WD車と比べてほとんど差がないので、滑りやすい路面での走行には十分車間距離をとってください。

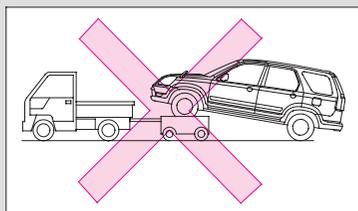
知識

- 4WDの状態で行進中に車輪の空転が続いてシステム内の油温が上昇すると、システム保護のため4WDから2WDに切り換わることがあります。
しばらくして油温が下がると、4WDに復帰します。

取り扱いについて

アドバイス

- 四輪とも、同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを混用すると動力伝達装置に悪影響をあたえます。
- けん引される場合、前輪または後輪を台車に載せた(車輪が回転できない)状態でのけん引は、絶対に行わないでください。
駆動装置が破損したり、車輪が台車からとび出すおそれがあります。
けん引 →236ページ





その他の安全装備

ほかに、次のような安全装備を採用しています。

●シフトロック装置

セレクトレバーの誤操作防止を助けます。
(→23ページ)

●後席三点式シートベルト

上半身も拘束する三点式シートベルトを後席(外側2座席)にも採用しています。
(→78ページ)

●シートベルト警告灯

シートベルトの未着用をランプで知らせ、ベルトの着用を促します。
(→96ページ)

●ドアビーム

側面から外力が加わったときに、ドアの変形を抑える効果があります。

●ロールオーバーバルブ

車が転倒したとき、燃料タンクからの燃料流出を防止します。

●難燃性材料使用の内装

フロアカーペットやシートなどには、燃え広がりにくい素材を採用しています。

●リヤワイパー

雨天時の後方視界の確保に効果があります。

(→104ページ)



ドライブを快適にする装備

●エアコン

吹き出し風の調節	161
オートエアコン	162
シートヒーター	169

●オーディオ

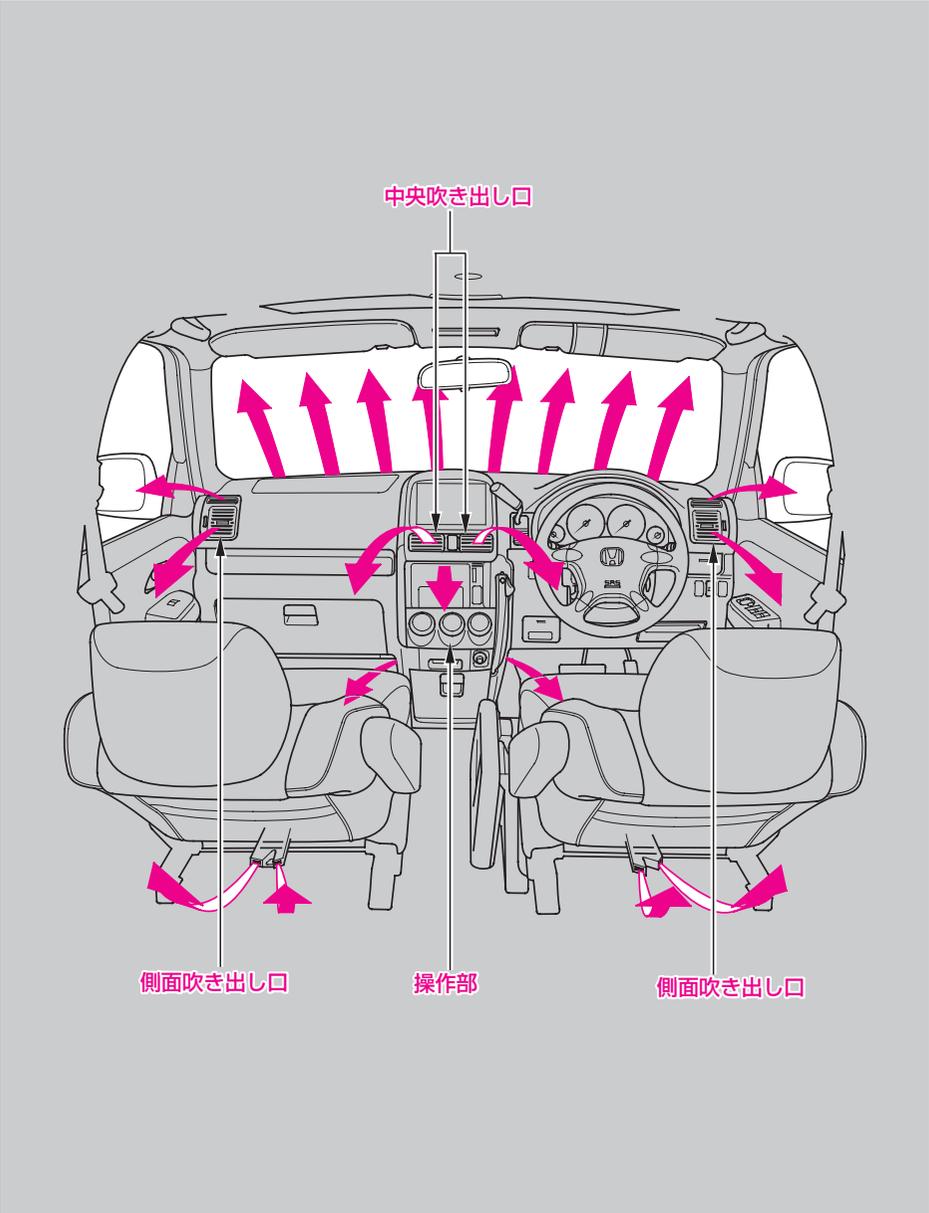
上手な使いかた	170
アンテナ	172
オーディオインデックス	173
CDチェンジャー付	
AM/FMラジオ一体式	
MDステレオ	174
AM/FMラジオ一体式	
MDステレオ	198

●室内装備品

室内灯	212
マップランプ	212
カーゴルーム照明灯	213

エンジンスイッチ照明灯	213
シガレットライター	214
灰皿	215
サンバイザー	216
チケットホルダ	216
アクセサリソケット	217
センターテーブル	217
カップホルダー	218
テイクアウトテーブル	220
小物入れ	222
コンビニフック	224
カーゴフック	224
カーゴネット	225
トノカバー	226
クールボックス	227
停止表示板固定ベルト	227

エアコン

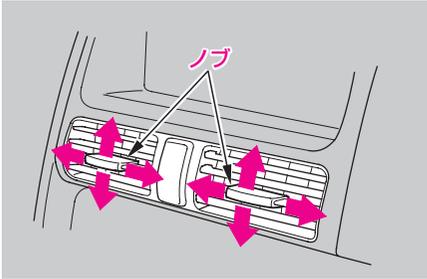




吹き出し風の調節

ノブを上下または左右に動かして、吹き出し風の向きを調節します。

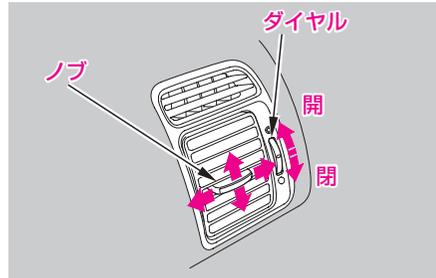
・中央吹き出し口



・側面吹き出し口

ダイヤルで開閉できます。

送風が必要なときは、ダイヤルを“開”のほうに回して吹き出し風の量を調節します。



知識

- 側面ガラスが曇ったときは、吹き出し風がガラスに直接当たるよう両側の吹き出し口の向きを調節すれば、より早く曇りを取ることができます。

オートエアコン

●オートエアコンを使うとき

エンジンをかけた状態で使います。

温度調節ダイヤル

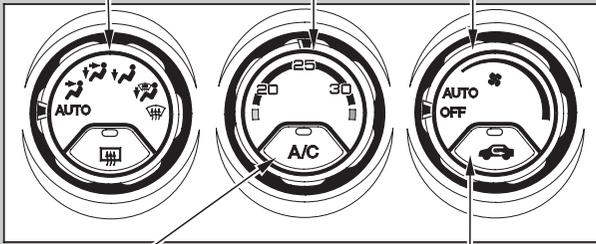
ダイヤルを回して温度を設定します。表示温度は室温設定時のめやすとなります。

吹き出し口切り換えダイヤル

ダイヤルを“AUTO”にすると吹き出し口の切り換えが自動制御されます。

ファンスピード切り換えダイヤル

ダイヤルを“AUTO”にすると風量が自動制御されます。



エアコンスイッチ

ファンスピード切り換えダイヤルが“OFF”以外のとき、スイッチを押すとエアコンが作動します。(表示灯点灯)

冷房や除湿暖房をするときに使います。

また吹き出し口切り換えダイヤルを“”または“”にすると自動的にエアコンが作動します。

内外気切り換えスイッチ

スイッチを押して外気導入(表示灯消灯)と内気循環(表示灯点灯)を切り換えます。

トンネルや渋滞地域などで汚れている外気を室内に入れたくないときは、内気循環にします。

また吹き出し口切り換えダイヤルを“”または“”にすると自動的に外気導入に切り換わります。



通常の使いかた

- ① ファンスピード切り換えダイヤルを**AUTO**にします。
- ② 吹き出し口切り換えダイヤルを**AUTO**にします。
- ③ 温度調節ダイヤルで室内の温度を設定します。
- ④ 冷房や除湿暖房をするときは、エアコンスイッチを入れます。

停止するときはファンスピード切り換えダイヤルを**OFF**にします。

知識

- 希望温度に設定したら、温度調節ダイヤルをむやみに動かさないでください。設定温度への到達時間が長くなることがあります。
- 長時間、冷風を直接体に当てないでください。冷やしすぎは健康上良くありません。
- 炎天下に駐車していたときは、熱気を追い出すため窓を開け、冷房を開始してください。

●マニュアルで使うとき

各スイッチ、ダイヤルを組み合わせることで使うことができます。

温度調節ダイヤル

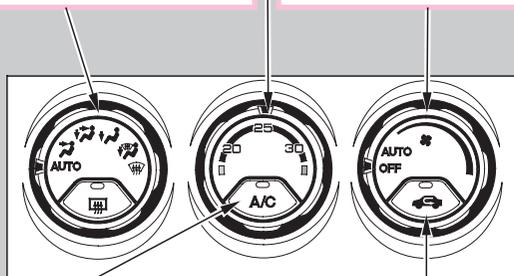
ダイヤルを回して吹き出し風の温度を調節します。

吹き出し口切り換えダイヤル

ダイヤルを回すと吹き出し口が切り換わります。(右ページ参照)

ファンスピード切り換えダイヤル

ダイヤルの位置	OFF	AUTO	
風量	停止	自動切換	弱↔強



エアコンスイッチ

ファンスピード切り換えダイヤルが“OFF”以外のとき、スイッチを押すとエアコンが作動します。(表示灯点灯)

冷房や除湿暖房をするときに使います。

また吹き出し口切り換えダイヤルを“”または“”にすると自動的にエアコンが作動します。

内外気切り換えスイッチ

スイッチを押して外気導入(表示灯消灯)と内気循環(表示灯点灯)を切り換えます。

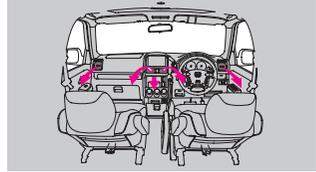
トンネルや渋滞地域などで汚れている外気を室内に入れたくないときは、内気循環にします。

また吹き出し口切り換えダイヤルを“”または“”にすると自動的に外気導入に切り換わります。

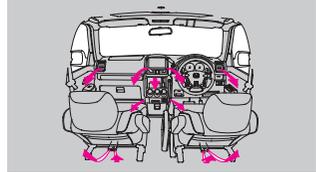


吹き出し口切り換えダイヤル

上半身に送風したいとき



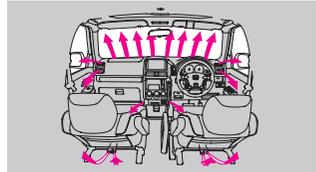
上半身、足元に送風したいとき



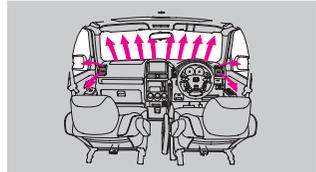
足元に送風したいとき



足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき



窓ガラスの曇りを取りたいとき

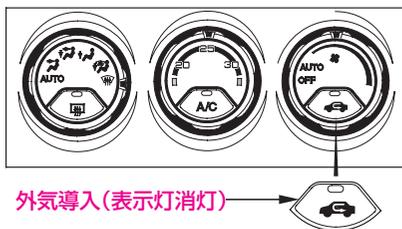
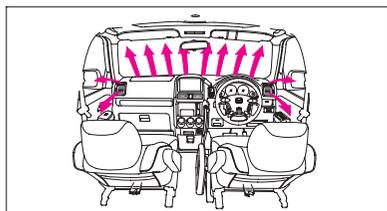


●前面／側面ガラスの霜や曇りを取りたいとき(デフロスター)

- ①ファンスピード切り換えダイヤルを“AUTO”にします。
- ②吹き出し口切り換えダイヤルを“”にします。

デフロスター

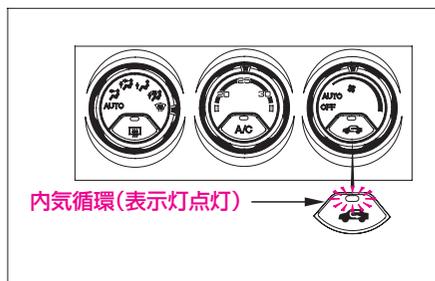
ガラスの曇り取りなどに使用します。ダイヤルを“”にすると自動的にエアコンが作動し、外気導入に切り換わります。また、吹き出し口が前面および側面ガラスに切り換わります。



🎓 知識

- エアコンスイッチを入れているときは、設定温度を最大冷房付近にしないでください。冷風が前面ガラスにあたるとガラスの外側が曇ることがあり、視界のさまたげになります。

急速に霜を取りたいとき



🎓 知識

- 内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界のさまたげになります。一度霜を取った後は外気導入で使ってください。



● エアコンを常用しないとき

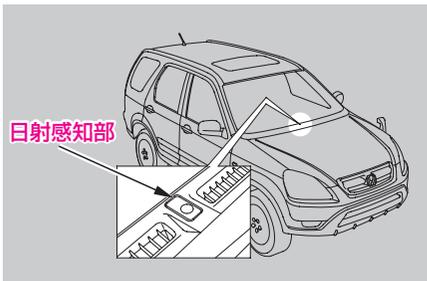
装置各部のオイルをきらさないために、ときどきエンジンを低回転させた状態で数分間冷房または除湿暖房をしてください。

知識

- 室内の温度が低い場合は、エアコンが作動しないことがあります。このような場合には、内気循環で室内を暖めてからエアコンスイッチを入れると作動します。

● 温度感知装置

オートエアコンには、温度感知装置などのセンサーがついています。日射感知部や車内温度感知部の上に物を置いたり、水をかけたりしないでください。車内温度が設定温度とずれることがあります。



●エアクリンフィルター

高性能脱臭タイプ

タイプ別装備

エアコンには、空気中の花粉・ちり・ほこり・粉じん等を集じんし、ディーゼル排ガス臭・タバコ臭などに脱臭効果のあるエアクリンフィルターが取り付けられています。エアクリンフィルターの交換は、通常1年または15,000kmごとに行ってください。ただし、使用条件により異なりますので粉じんの多い場所などでは、早めの交換をおすすめします。

また、芳香剤を使用すると脱臭効果が弱くなったり、脱臭寿命が短くなることがあります。

- ・エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったときなどは、フィルターの目詰まりが考えられます。

交換のしかた →305ページ

ロングライフタイプ

タイプ別装備

エアコンには、空気中の花粉・ちり・ほこり・粉じん等を集じんするエアクリンフィルターが取り付けられています。

エアクリンフィルターの交換は、通常2年または24,000kmごとに行ってください。ただし、使用条件により異なりますので粉じんの多い場所などでは、早めの交換をおすすめします。

- ・エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったときなどは、フィルターの目詰まりが考えられます。

交換のしかた →305ページ

知識

- グローブボックスの内側に交換時期が記載してあります。



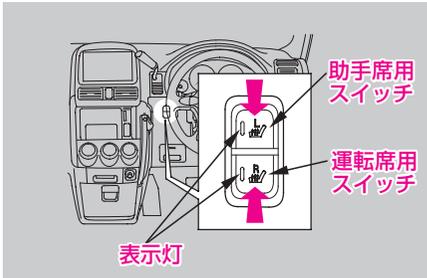
シートヒーター

運転席、助手席のシートを暖めることができます。
エンジンスイッチが“II”のとき使えます。

●前席用

タイプ別注文装備

スイッチを押すと“ON”になり、同時に表示灯が点灯します。もう一度押すと“OFF”になり、作動表示灯は消灯します。



⚠警告

●次のようなかたは、熱すぎたり低温やけどをすることがありますので、ご使用になるときは十分注意してください。

- ・乳幼児、お子さま、お年寄、病気のかた、体の不自由なかた
- ・皮ふの弱いかた
- ・疲労の激しいかた
- ・深酒やねむけをさそう薬(睡眠薬、かぜ薬など)を使用されたかた

また、毛布や座ぶとんなどの保温性の高いものをかけて使用すると、低温やけどをすることがあります。

🎓知識

- 凹凸のある重量物をシートの上に置いたり、針や釘など鋭利な物を突きさしたりしないでください。
- シートの手入れには、シンナー、ベンジン、アルコール、ガソリンなどの有機溶剤を使用しないでください。ヒーターおよびシート表面を損傷するおそれがあります。
- サイドエアバッグ装備車の助手席の背もたれには、サイドエアバッグシステムの乗員姿勢検知システムのセンサーが装備されているため、ヒーター機能はありません。

オーディオ

上手な使いかた

知識

- 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態では安全運転のさまたげとなります。また、運転中のオーディオ操作は、安全運転に支障がないようにしてください。
- 車内や車の近くで携帯電話や無線機を使うとオーディオに雑音が入ることがあります。

● ラジオについて

ラジオの受信については、車の走行にともない受信状態が刻々と変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

● CD/MDIについて

ディスクの変形を避けるため、直射日光や高温多湿を避けてケースに入れ保管してください。

悪路走行などで激しく振動した場合、音とびすることがあります。

寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内部に露(水滴)が生じ、正しく作動しなくなる場合があります。その場合、ディスクを取り出し、換気または除湿してからお使いください。

**CD**

ディスクの信号面は直接手で触れないでください。指紋等の汚れが付くと、音とびなどをする可能性があります。下記マークのついていないディスクおよび円形以外のディスクは使えません。

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

 **知識**

- ディスクは必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因となります。

MD

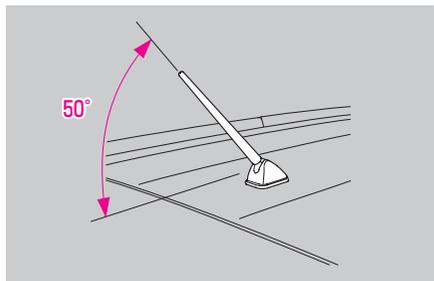
シャッターを無理にあげないでください。こわれることがあります。また、ディスクの信号面は直接手で触れないでください。指紋等の汚れが付くと、音とびなどをする可能性があります。



アンテナ

●センターアンテナ

センターアンテナは、後方約50°の位置にしてください。



自動洗車機を使った場合など、アンテナが倒れてしまった場合は、元の位置(後方約50°)に戻してください。

🎓 知識

- アンテナの角度は、後方約50°にしてください。50°以外の角度では正常に受信できないことがあります。

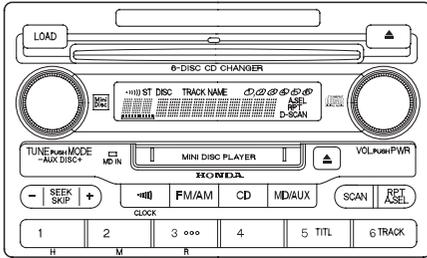


オーディオインデックス

ナビゲーションシステム装備車のオーディオ・テレビの取り扱いについては、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をご覧ください。

CDチェンジャー付AM/FMラジオ一体式
MDステレオ

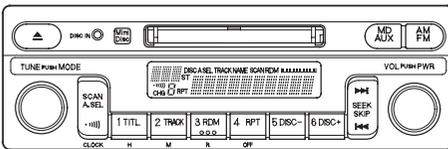
タイプ別注文装備



- 電源の入れかた174
- 音量調節のしかた174
- 音質、バランス調節のしかた175
- モードの切り換え175
- ラジオの使いかた176
- MDプレーヤーの使いかた180
- CDの挿入のしかた184
- CDの取り出しかた188
- CDチェンジャーの使いかた192
- CDチェンジャーコントローラー等の
使いかた※194
- エラーコードについて196
- 時計197

AM/FMラジオ一体式MDステレオ

注文装備

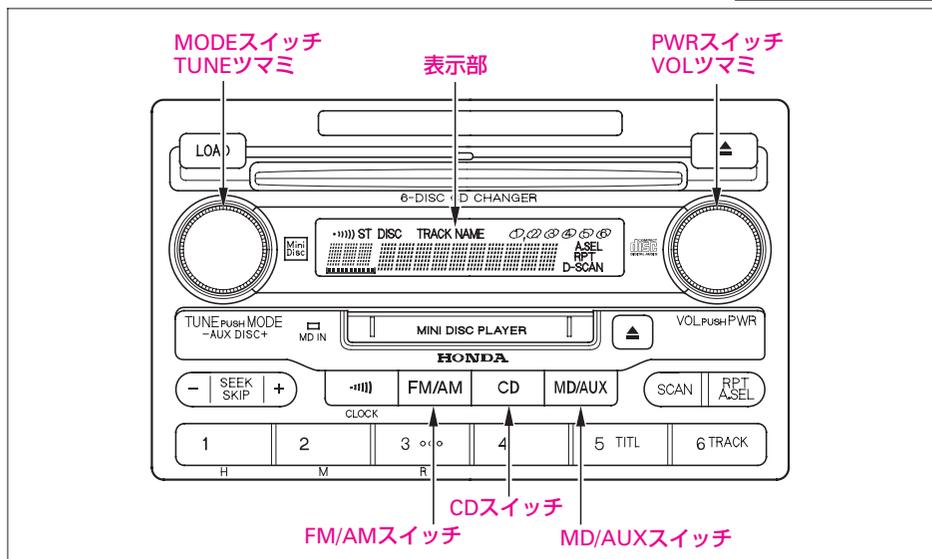


- 電源の入れかた198
- 音量調節のしかた198
- 音質、バランス調節のしかた199
- モードの切り換え199
- ラジオの使いかた200
- MDプレーヤーの使いかた203
- CDチェンジャーコントローラー等の
使いかた※206
- エラーコードについて209
- 時計210

※：Honda純正のオーディオを接続し、操作することができます。詳しくはホンダベルノ店にご相談ください。

CDチェンジャー付AM/FMラジオ一体式MDステレオ

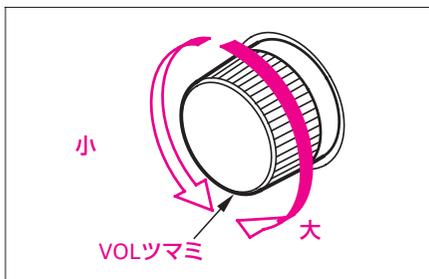
タイプ別注文装備



●電源の入れかた

PWRスイッチを押して、電源を入れます。押すたびに“ON” ↔ “OFF” になります。また、FM/AMスイッチ、CDスイッチまたはMD/AUXスイッチを押して、電源を“ON” にすることもできます。

●音量調節のしかた



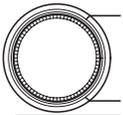


●音質、バランス調節のしかた

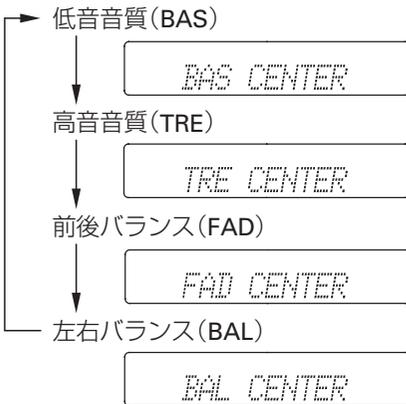
MODEスイッチを押して切り換え、TUNEツマミ(MODEスイッチ兼用)で調節します。

知識

- 調節後約5秒すぎると自動的に解除されます。
- 調節位置が中央のときに表示部に“CENTER”(センター)を表示します。



TUNE Push MODE
-AUX DISC+



MODEスイッチを押すたびに切り換わります。

●モードの切り換え

- ・FM/AMスイッチ

FM/AM

ラジオに切り換わります。

- ・CDスイッチ

CD

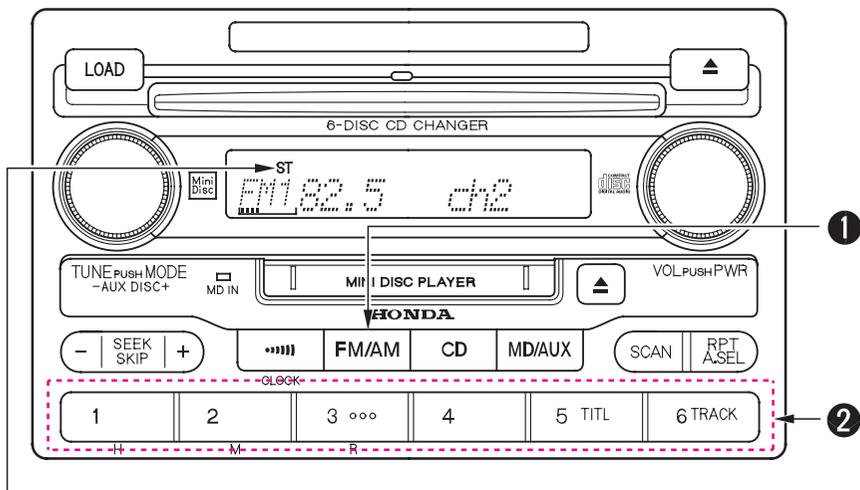
本体CDチェンジャーにディスクが入っているときに押すと、CD演奏に切り換わります。

- ・MD/AUXスイッチ

MD/AUX

MD(ミニディスク)が入っているときに押すと、MD演奏に切り換わります。Honda純正のオーディオを接続しているときに押すと、それらの演奏に切り換わります。

● ラジオの使いかた ラジオ放送のききかた



FMステレオ放送が感度よく受信できたときは、“ST”が点灯します。

① ラジオに切り換え、バンドを選ぶ(FM/AMスイッチ)

スイッチを押して、FM1/FM2、AMを選びます。

② 選局する(ワンタッチ選局スイッチ)

あらかじめ放送局をセットしておく、ワンタッチで選局できます。

FM12局(FM1、FM2それぞれ6局)、AM6局まで記憶できます。



ワンタッチ選局のセットのしかた

- ①FM/AMスイッチでFM1/FM2、AMを選びます。
- ②TUNE/MODEツマミ、SEEK/SKIPスイッチで選局します。



- TUNEツマミを回すと、受信周波数が少しづつ変わります。
- SEEK/SKIPスイッチを押すと、自動選局になり放送を受信すると止まります。



知識

- 受信電波が弱いときは、自動選局できないことがあります。このようなときは手で選局してください。

- ③ワンタッチ選局スイッチのいずれか一つを“ピッ”という電子音がするまで(約2秒間)押し続けます。

知識

- 一度電源が切れた場合(車両のバッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど)、記憶が消去されます。そのときは再度記憶操作をしてください。

自動で放送局を記憶するには(オートセレクト)

放送局の違う地域へ出かけたときなど、セットされた放送局が聞けなくなった場合に操作します。

A.SELスイッチを押します。(“A.SEL”が点滅)



自動選局された電波の強い放送局が、周波数の低い順からワンタッチ選局スイッチにAM 6局、FM12局まで自動的に記憶され“A.SEL”が点滅から点灯に変わります。

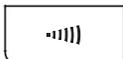
解除するときは、スイッチをもう一度押します。解除すると、ワンタッチ選局スイッチの記憶は、オートセレクトをする前の状態に戻ります。

知識

- 放送局が6局または12局にみえない場合、残りのスイッチには何も記憶されません。記憶されていないスイッチを押すと、周波数が“0”と表示されます。
- オートセレクトされた放送局を個別に変更することもできます。

交通情報をきくとき

⋮⋮⋮ スwitchを押すと、ワンタッチで交通情報を受信できます。(“⋮⋮⋮”が点灯)



周波数を切り換えるとき(1620kHz↔1629kHz)

…A.SELスイッチまたはTUNEツマミで切り換えます。

解除するとき

スイッチをもう一度押します。他のモードに切り換えたときも解除されます。

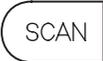
知識

- ⋮⋮⋮ スwitchにあらかじめセットされている受信周波数を変えることはできません。
- ⋮⋮⋮ スwitchを使って交通情報を聞いているときは、ワンタッチ選局スイッチによる選局はできません。

**自動で放送局を数秒ずつ聞きたいときは(スキャン)**

放送局でどんな番組を放送しているかを知りたいときに、操作します。

SCANスイッチを押します。(“SCAN”が点滅)

SCAN

電波の強い放送局が周波数の低い順から選局され、約5秒間つぎつぎと受信します。

解除するときは、スイッチをもう一度押します。他のモードに切り換えたときも解除されます。

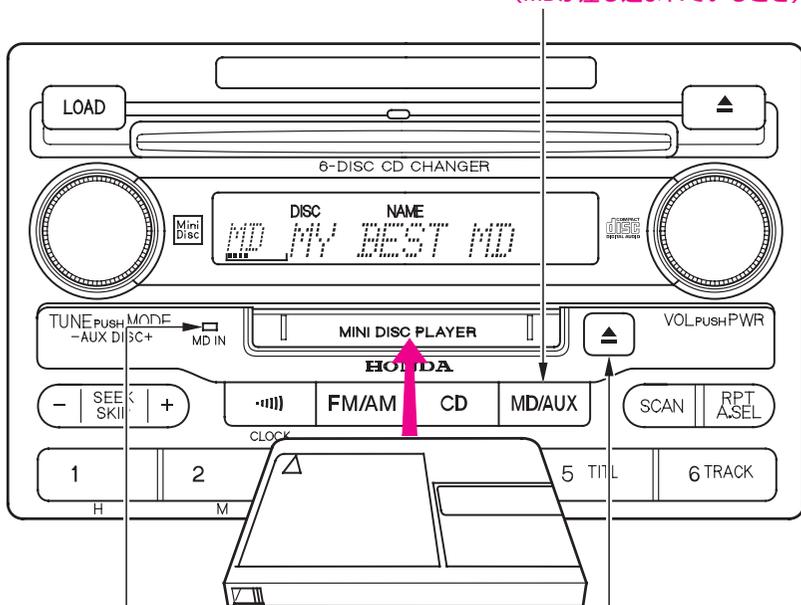
●MDプレーヤーの使いかた

MD演奏のききかた

MDを差し込む

または

MD/AUXスイッチを押す
(MDが差し込まれているとき)



MDインジケーター
(本機にMDがセットされていると点灯)

MD ▲ スイッチ

MDはレーベル面を上にして矢印の方向に入れます。

**MDを取り出すとき**

MD ▲ スイッチを押して、MDを取り出します。



MD演奏中にエンジンスイッチを“0”にした場合でも、MD ▲ スイッチを押せばMDを取り出すことができます。

早送り／早戻し、スキップ／リプレイをするとき

早戻し
リプレイ



早送り
スキップ

押し続けると、早送り／早戻しになります。

短く押すと、スキップ(先の曲の頭出し)／リプレイ(演奏中、前の曲の頭出し)になります。

演奏中の曲を繰り返しきくとき(リピート)

RPTスイッチを短く押します。(“RPT”が点灯)



リピート機能を解除するときは、スイッチをもう一度短く押します。

1枚のディスクの曲順をランダムに演奏するとき

A.SELスイッチを“ピツ”という電子音がするまで押します。(“A.SEL”が点灯)



ランダム演奏の機能を解除するには、スイッチをもう一度“ピツ”という電子音がするまで押します。

ききたい曲を探るとき(スキャン)

SCANスイッチを短く押します。("SCAN" が点灯します)

各トラックの曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。

ききたい曲のところでスイッチをもう一度押すと、スキャン演奏の機能は解除されます。

SCAN

知識

- 全ての曲をスキャン演奏し終ると、スキャン演奏を開始した曲から通常の演奏になります。

**演奏中の曲名を表示するとき**

TRACKスイッチを押します。(トラックの名称が約5秒間点灯)

6 TRACK

トラックの名称は10文字ずつ表示されます。

 **知識**

- ディスクにトラック名称が入力されていない場合は、“NO TITLE”を表示します。

ディスクの名称を表示するとき

TITLスイッチを押します。(ディスクの名称が約5秒間点灯)

5 TITL

ディスクの名称は10文字ずつ表示されます。

 **知識**

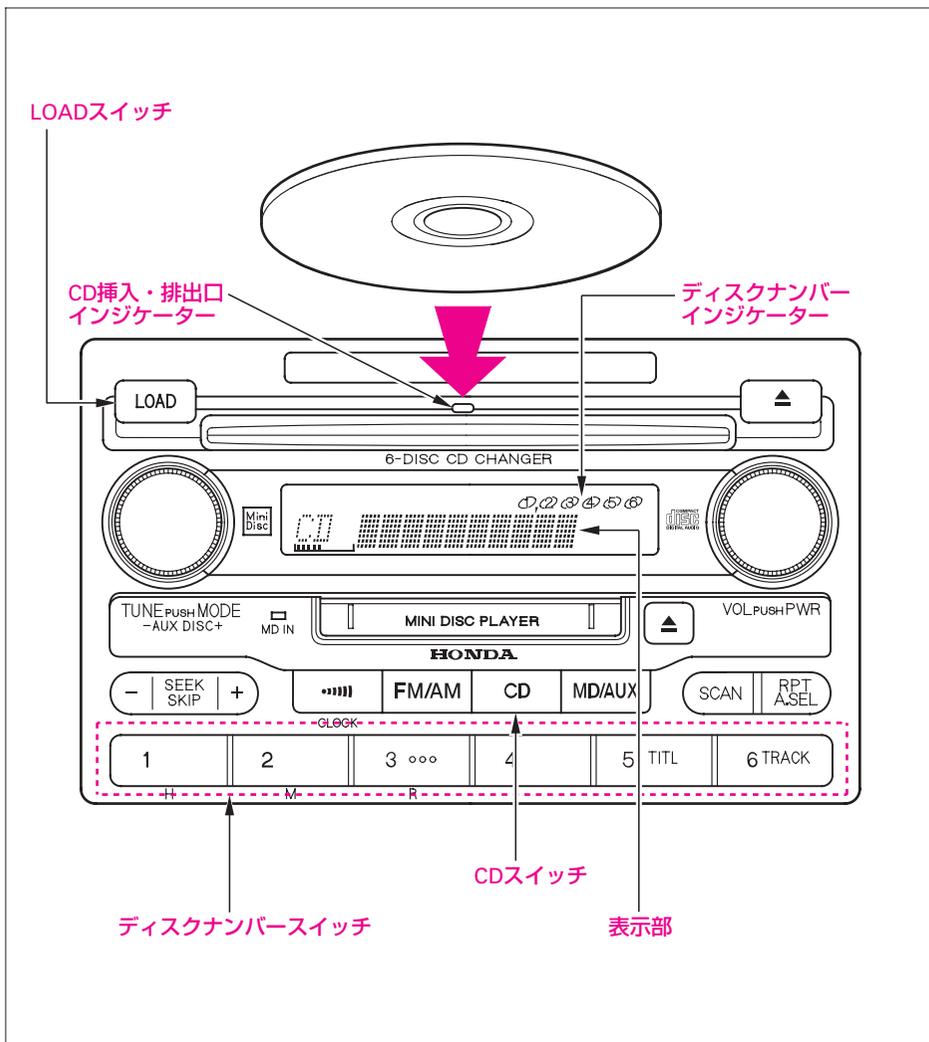
- ディスクにディスク名称が入力されていない場合は、“NO TITLE”を表示します。

●CDの挿入のしかた

エンジンスイッチが「I」または「II」のときに挿入できます。

CDを6枚まで収納することができます。

CDを収納すると、表示部のディスクナンバーインジケータ(①~⑥)が点灯します。





1 枚だけ挿入するとき

収納するディスクナンバーを指定しないとき

- ①LOADスイッチを短く押します。
- ②CDチェンジャーの収納部の中で最も小さい番号のディスクナンバーインジケータが点滅します。（“BUSY”の表示およびCD挿入・排出口インジケータが赤の点滅）
- ③CD挿入待機状態になると、表示部が“LOAD”の表示とCD挿入・排出口インジケータが緑の点灯に変わります。
- ④CDを挿入します。

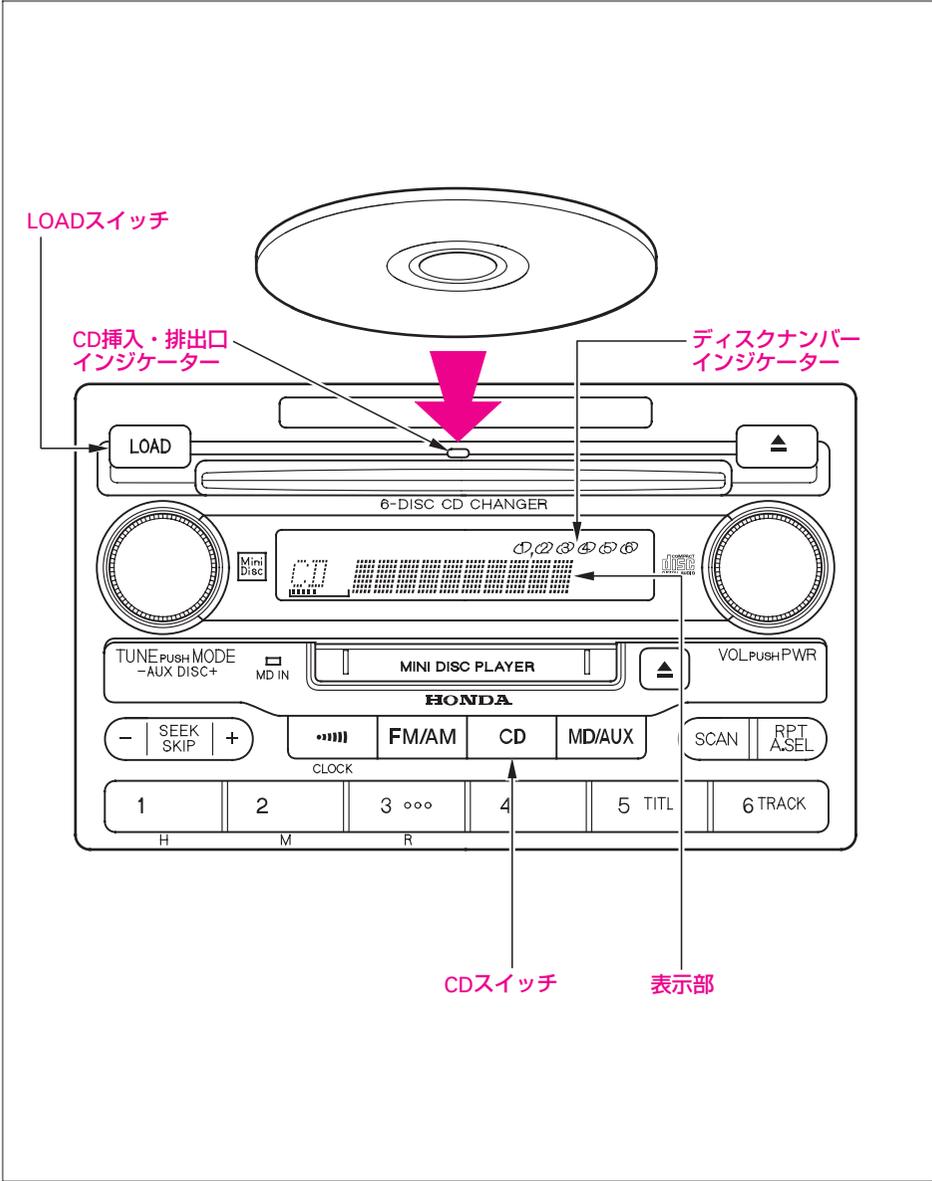
収納するディスクナンバーを指定するとき

- ①CDスイッチを押して、CDチェンジャーモードにします。
- ②収納したい空きディスクナンバースイッチを押します。（“BUSY”の表示およびCD挿入・排出口インジケータが赤の点滅）
- ③CD挿入待機状態になると、表示部が“LOAD”の表示とCD挿入・排出口インジケータが緑の点灯に変わります。
- ④CDを挿入します。

知識

- CDチェンジャーは12cm CD専用です。8cm CDは使わないでください。（CDアダプターを付けても使わないでください。）故障の原因になることがあります。
- ディスクナンバーを指定しないときは、モードに関係なくCDを挿入できます。
- CD挿入待機状態でないときに、無理にCDを挿入しないでください。
- CD挿入待機状態になってから約15秒以内にCDを挿入しないと、CD挿入待機状態は解除されます。
- CDを挿入すると再生されます。
- CDチェンジャーの使いかた

→192ページ



**数枚連続して挿入するとき**

- ①LOADスイッチを“ピッ”という電子音がするまで押します。
- ②CDチェンジャーの収納部の中で最も小さい番号のディスクナンバーインジケーターが点滅します。（“BUSY”の表示およびCD挿入・排出口インジケーターが赤の点滅）
- ③CD挿入待機状態になると、表示部が“LOAD”の表示とCD挿入・排出口インジケーターが緑の点灯に変わります。
- ④CDを挿入します。
収納されたディスクナンバーインジケーターが点灯に変わり、次に小さい番号のディスクナンバーインジケーターが点滅します。（“BUSY”の表示およびCD挿入・排出口インジケーターが赤の点滅）
- ⑤CD挿入待機状態になると、表示部が“LOAD”の表示とCD挿入・排出口インジケーターが緑の点灯に変わります。
- ⑥④⑤を繰り返します。
- ⑦6枚ディスクを収納すると、すべてのディスクナンバーインジケーターが点灯し、CD挿入待機状態は解除されます。

 **知識**

- CDチェンジャーは12cm CD専用です。8cm CDは使わないでください。（CDアダプターを付けても使わないでください。）故障の原因になることがあります。
- CD挿入待機状態になってから約15秒以内にCDを挿入しないと、CD挿入待機状態は解除されます。
- CDを6枚収納するかCD挿入待機状態が解除されると、最後に挿入されたCDが再生されます。
- CDチェンジャーの使いかた

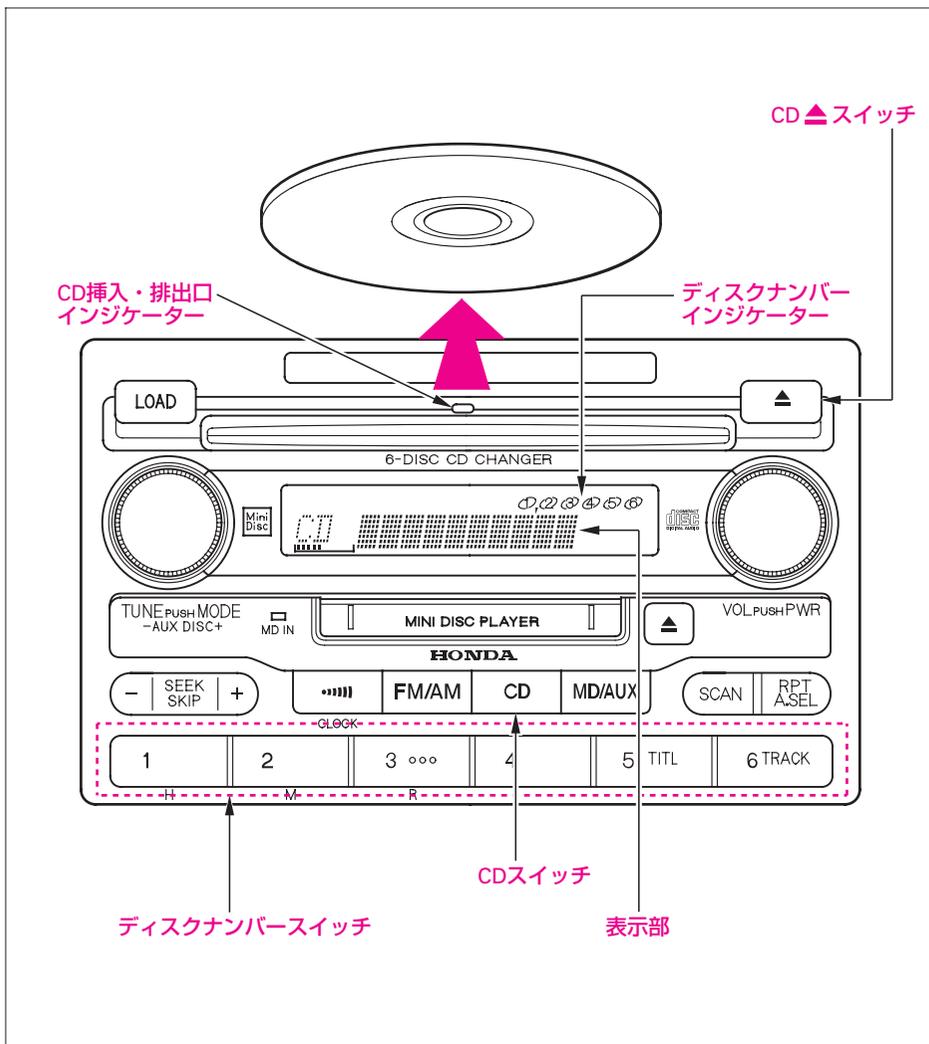
→192ページ

●CDの取り出ししかた

エンジンスイッチが“I”または“II”のときに取り出せます。

エンジンスイッチが“0”のときにも取り出せます。

エマージェンシーイジェクト →191ページ





1枚ずつ取り出すとき

取り出すディスクナンバーを指定しないとき

- ① CD ▲ スイッチを短く押します。（“EJECT”の表示）
最後に再生されたCDのディスクナンバーインジケーターが点滅し、CDが排出されます。
- ② CDを取り出します。
- ③ 続けてCD ▲ スイッチを押すと、取り出したCDの次に大きい番号のディスクナンバーインジケーターが点滅し、CDが排出されます。

知識

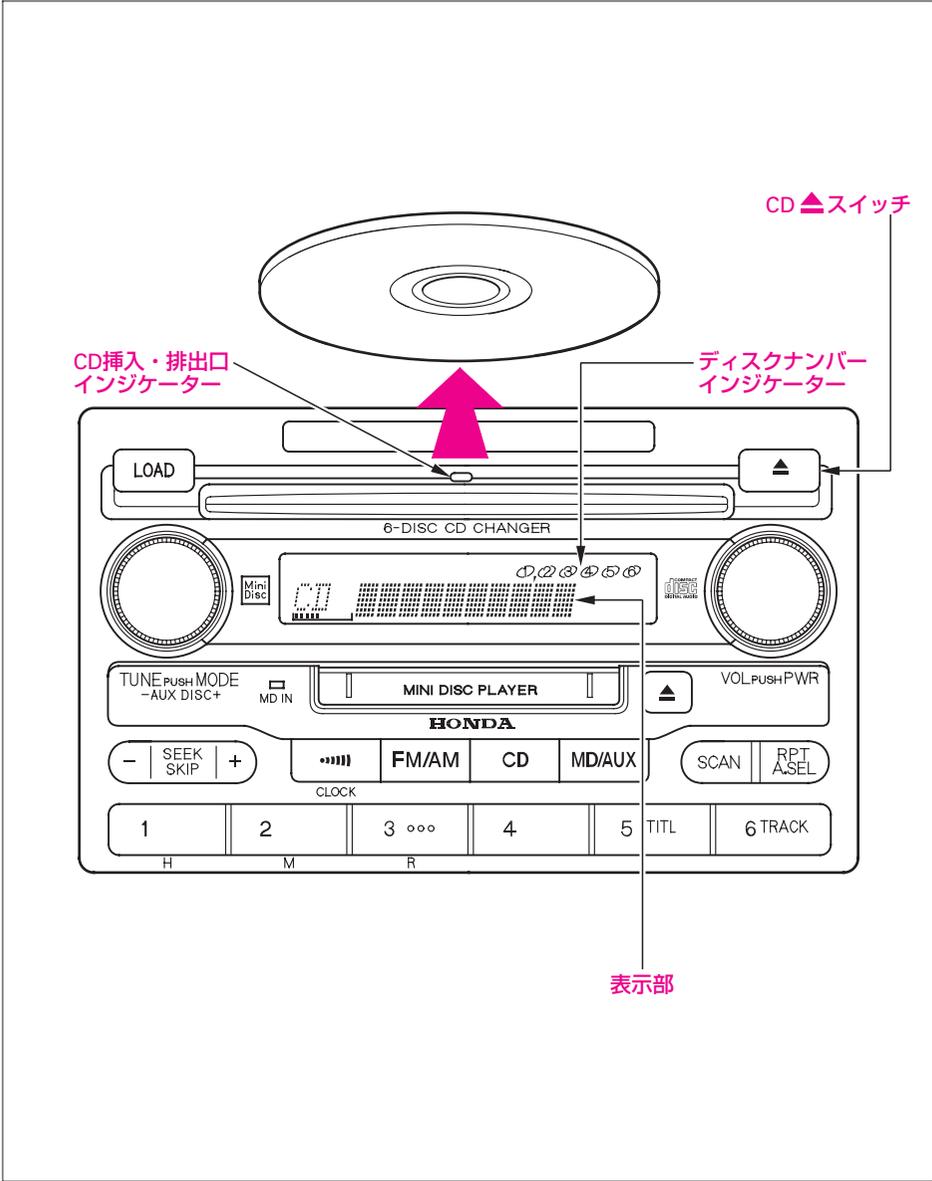
- モードに関係なくCDを取り出せます。
- 取り出したCDのディスクナンバーはCD挿入待機状態になり、別のCDを挿入することができます。
CD挿入のしかた →184ページ
- ディスクやプレーヤーをゴミやほこりから保護するため、ディスクが押し出されたままで約15秒経過すると、自動的に内部に引き込まれます。

取り出すディスクナンバーを指定するとき

- ① CDスイッチを押して、CDチェンジャーモードにします。
- ② 取り出したいCDのディスクナンバースイッチを押します。
- ③ CD ▲ スイッチを短く押します。（“EJECT”の表示）
選択されたCDのディスクナンバーインジケーターが点滅し、CDが排出されます。
- ④ CDを取り出します。

知識

- 再生中のCDを取り出すときは③以降の手順だけで取り出せます。
- 取り出したCDのディスクナンバーはCD挿入待機状態になり、別のCDを挿入することができます。
CD挿入のしかた →184ページ
- ディスクやプレーヤーをゴミやほこりから保護するため、ディスクが押し出されたままで約15秒経過すると、自動的に内部に引き込まれます。



CD挿入・排出口
インジケータ

CD▲スイッチ

ディスクナンバー
インジケータ

表示部



すべて取り出すとき

- ① CD ▲ スイッチを“ピッ”という電子音がするまで押します。（“EJECT”の表示）
収納されているCDの中で、最後に再生されたCDから順にCDが排出されます。
- ② CDを取り出します。
- ③ CDを取り出すと、自動的に次のCDが排出されますので、同様に取り出します。
- ④ ③を繰り返します。
- ⑤ すべてのCDを取り出すと、ディスクナンバー1へのCD挿入待機状態になり、表
- ⑥ 示部が“LOAD”の表示とCD挿入・排出口インジケーターが緑の点灯に変わります。

CD挿入のしかた →184ページ

エマージェンシーイジェクト

エンジンスイッチが“0”のときにも取り出せますが、表示部にディスクナンバーが表示されないため、希望の1枚だけを取り出すことはできません。

1枚ずつ取り出すとき

- ① CD ▲ スイッチを短く押します。
最後に再生されたCDが排出されます。
- ② CDを取り出します。
- ③ 続けてCD ▲ スイッチを押すと、取り出したCDの次に大きい番号のCDが排出されます。
- ④ ③を繰り返します。

すべて取り出すとき

- ① CD ▲ スイッチを約2秒押します。
- ② 収納されているCDの中で、最後に再生されたCDから順にCDが排出されます。
- ③ CDを取り出します。
- ④ CDを取り出すと、自動的に次のCDが排出されますので、同様に取り出します。
- ⑤ ④を繰り返します。

●CDチェンジャーの使いかた ディスク演奏のききかた

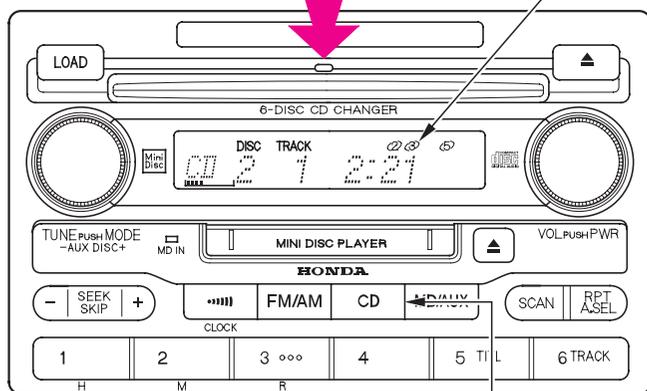
ディスクを差し込む
CD挿入のしかた →184ページ

または

CDスイッチを押す
(ディスクが収納されているとき)



ディスクナンバー
インジケーター
(CDが収納されている
ディスクナンバーが点灯)



CDスイッチ

ディスクを選ぶとき

ディスクナンバースイッチを押します。



早送り／早戻し、スキップ／リプレイをするとき

SEEK/SKIPスイッチを押します。

早戻し
リプレイ



早送り
スキップ

- 押し続けると、早送り／早戻しになります。
- 短く押すと、スキップ(先の曲の頭出し)／リプレイ(前の曲の頭出し)になります。



演奏中の曲を繰り返しきくとき(リピート)

RPTスイッチを短く押します。(“RPT”が点灯)



リピート機能を解除するときは、スイッチをもう一度押します。

1枚のディスクの曲順をランダムに演奏するとき

A.SELスイッチを“ピッ”という電子音がするまで押します。(“A.SEL”が点灯)



ランダム演奏の機能を解除するには、スイッチをもう一度“ピッ”という電子音がするまで押します。

ききたい曲を探すとき(トラックスキャン、ディスクスキャン)

スイッチを押して切り換えます。



- 短く押すとトラックスキャンになります。(“SCAN”が点灯)
演奏中のディスクの各トラックの曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。
“ピッ”という電子音がするまで押すとディスクスキャンになります。(“D-SCAN”が点灯)
- ディスクチェンジャー内の全てのディスクの先頭の曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。

ききたい曲のところでスイッチをもう一度押すと、スキャン演奏の機能は解除されます。

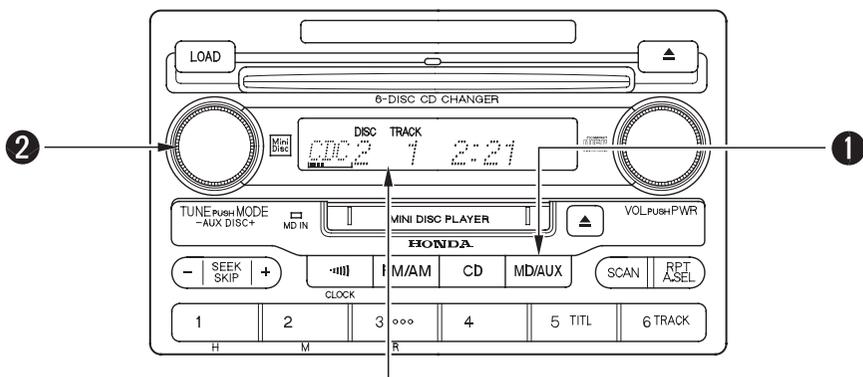
知識

- 全ての曲をスキャン演奏し終ると、スキャン演奏を開始した曲から通常の演奏になります。

●CDチェンジャーコントローラーの使いかた

Honda純正のCDチェンジャー接続時

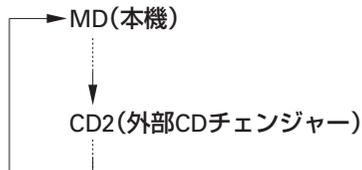
ディスク演奏のききかた



演奏中はディスク、トラックナンバーを表示

①切り換える(MD/AUXスイッチ)

スイッチを押して、切り換えます。スイッチを押すたびに接続されているCDチェンジャーに切り換わります。



②ディスクを選ぶ(AUX DISCツマミ)

CDチェンジャー接続時

AUX DISCツマミを回すと切り換わります。

AUX DISCツマミに続けてSEEK/SKIPスイッチを短く押すと、トラックナンバーの指定もできます。

早送り／早戻し、スキップ／リプレイをするとき

早戻し
リプレイ



早送り
スキップ

押し続けると、早送り／早戻しになります。

短く押すと、スキップ(先の曲の頭出し)／リプレイ(演奏中、前の曲の頭出し)になります。



演奏中の曲を繰り返しきくとき(リピート)

RPTスイッチを短く押します。 (“RPT” が点灯)



リピート機能を解除するときには、スイッチをもう一度短く押します。

1枚のディスクの曲順をランダムに演奏するとき

A.SELスイッチを“ピッ”という電子音がするまで押します。 (“A.SEL” が点灯)



ランダム演奏の機能を解除するには、スイッチをもう一度“ピッ”という電子音がするまで押します。

ききたい曲を探すとき(トラックスキャン、ディスクスキャン)

スイッチを押して切り換えます。



- 短く押すとトラックスキャンになります。 (“SCAN” が点灯)
演奏中のディスクの各トラックの曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。
- “ピッ”という電子音がするまで押すとディスクスキャンになります。 (“D-SCAN” が点灯)
ディスクチェンジャー内の全てのディスクの先頭の曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。

ききたい曲のところでスイッチをもう一度押すと、スキャン演奏の機能は解除されます。

知識

- 全ての曲をスキャン演奏し終ると、スキャン演奏を開始した曲から通常の演奏になります。
- 接続されたユニットにより機能が異なる場合があります。

●エラーコードについて

表示部にエラーコードが表示されたときは、表示されているディスクのチェンジャーの取扱説明書をご覧ください。



エラーが発生しているプレーヤーを表します。

エラーコードの種類を表します。

- CD (本機)
- MD (本機)
- CD2 (外部CDチェンジャー)

エラーコード	原因
ERROR	ディスクやディスクマガジンの装着や取り外しができない等、機械的な不具合
HOT DISC	プレーヤー内部の温度上昇による一時停止状態
NO DISC	ディスクの読み込みができない(露つき、傷、汚れなど)
NO DISC	外部CDチェンジャー ディスクマガジンにディスクが入っていない
BLANK	MD ディスクに録音されていない



●時計

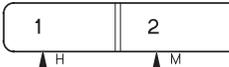
時計は、エンジンスイッチが“I”または“II”のときに表示されます。それぞれのスイッチを操作すると各動作状態を表示し、動作停止後、時計表示に戻ります。

表示の合わせかた

- ①  (CLOCK)スイッチを“ピツ”という電子音がするまで押します。(時計表示が点滅)



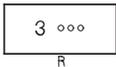
- ② 「時」の調整… 1 (H)スイッチを押します。
「分」の調整… 2 (M)スイッチを押します。



1 (H)スイッチ 2 (M)スイッチ

- ③  (CLOCK)スイッチをもう一度押します。(時計表示が点灯)

時報合わせ…時計表示が点滅しているときに、時報と同時に 3 (R)スイッチを押します。

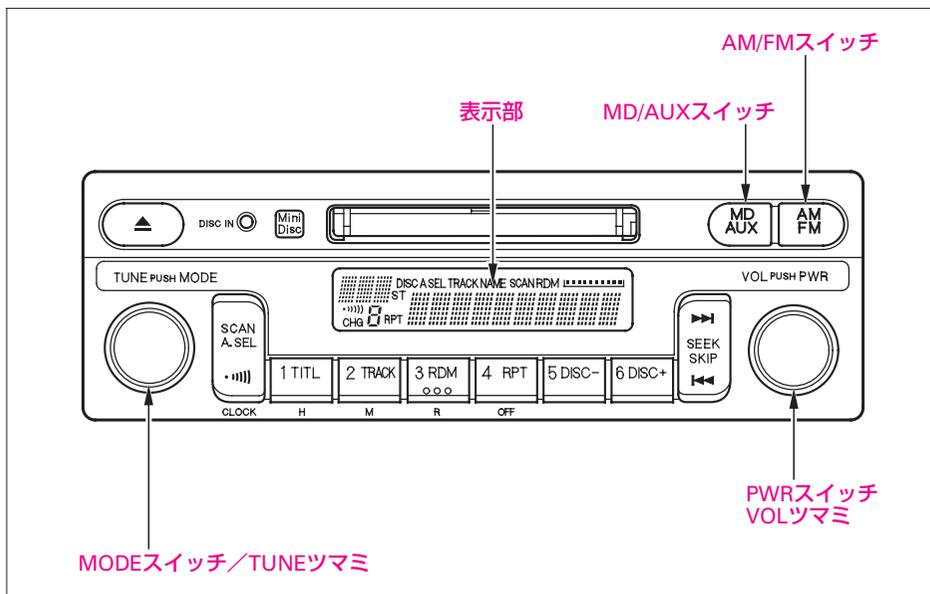


(例) 1:01 ~ 1:29の場合… 1:00
1:30 ~ 1:59の場合… 2:00

AM/FMラジオ一体式MDステレオ

注文装備

エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のときに使えます。



●電源の入れかた

PWRスイッチを押して、電源を入れます。押すたびに“ON”↔“OFF”になります。また、AM/FMスイッチ、MD/AUXスイッチを押して、電源を“ON”にすることもできます。

●音量調節のしかた

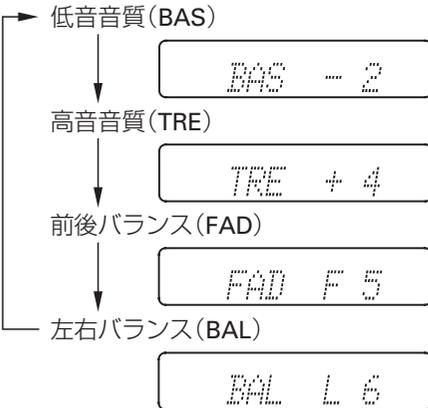
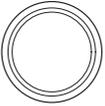




●音質、バランス調節のしかた

MODEスイッチを短く押し切り換え、TUNEツマミで調節します。

TUNE PUSH MODE



MODEスイッチを押すたびに切り換わります。

🎓 知識

- 調節後約5秒すぎると自動的に解除されます。
- 調節位置が中央のときに表示部に“CENTER”(センター)を表示します。

●モードの切り換え

各モードスイッチで切り換えます。

- ・AM/FMスイッチ

AM
FM

ラジオに切り換わります。

- ・MD/AUXスイッチ

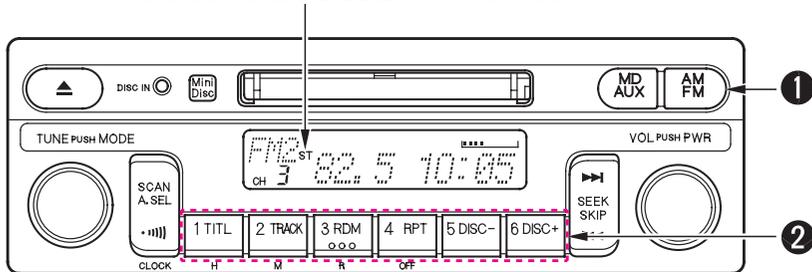
MD
AUX

MD(ミニディスク)が入っているときに押すと、MD演奏に切り換わります。

Honda純正のオーディオを接続しているときに押すと、それらの演奏に切り換わります。

● ラジオの使いかた ラジオ放送のききかた

FMステレオ放送が感度よく受信できたときは、“ST”が点灯します。



① ラジオに切り換え、バンドを選ぶ(AM/FMスイッチ)

スイッチを押して、AM/FM1/FM2を選びます。

② 選局する(ワンタッチ選局スイッチ)

あらかじめ放送局をセットしておく、ワンタッチで選局できます。

AM 6局、FM12局(FM1、FM2それぞれ6局)まで記憶できます。

自動で放送局を記憶するには(オートセレクト)

放送局の違う地域へ出かけたときなど、セットされた放送局が聞けなくなった場合に操作します。

A. SELスイッチを短く押します。(“A. SEL”が点滅)



A.SEL
スイッチ

自動選局された電波の強い放送局が、周波数の低い順からワンタッチ選局スイッチにAM 6局、FM12局まで自動的に記憶され“A.SEL”が点滅から点灯に変わります。

解除するときは、スイッチをもう一度短く押します。解除すると、ワンタッチ選局スイッチの記憶は、オートセレクトをする前の状態に戻ります。

🎓 知識

- 放送局が6局または12局にみえない場合、残りのスイッチには何も記憶されません。記憶されていないスイッチを押すと、周波数が“0”と表示されます。
- オートセレクトされた放送局を個別に変更することもできます。



ワンタッチ選局のセットのしかた

- ①AM/FMスイッチでAM/FM1/FM2を選びます。
- ②TUNEツマミ、SEEK/SKIPスイッチで選局します。



高

低

- TUNEツマミを回すと、受信周波数が少しずつ変わります。
- SEEK/SKIPスイッチを押すと、自動選局になり放送を受信すると止まります。

知識

- 受信電波が弱いときは、自動選局できないことがあります。このようなときは手動で選局してください。

- ③ワンタッチ選局スイッチのいずれか一つを“ピツ”という電子音がするまで(約2秒間)押し続けます。

知識

- 一度電源が切れた場合(車両のバッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど)、記憶が消去されます。そのときは再度記憶操作をしてください。

交通情報をきくとき

- 交通情報スイッチを短く押すと、ワンタッチで交通情報を受信できます。(“交通情報”が点灯)

交通情報
スイッチ

周波数を切り換えるとき(1620kHz↔1629kHz)

- …TUNEツマミまたはSEEK/SKIPスイッチで切り換えます。

解除するとき

- 交通情報スイッチをもう一度短く押します。他のモードに切り換えたときも解除されません。

知識

- 交通情報スイッチにあらかじめセットされている受信周波数を変えることはできません。

自動で放送局を数秒ずつ聞きたいときは(スキャン)

放送局でどんな番組を放送しているかを知りたいときに、操作します。

SCANスイッチを“ピッ”という電子音がするまで押します。(“SCAN”が点灯)



SCAN
スイッチ

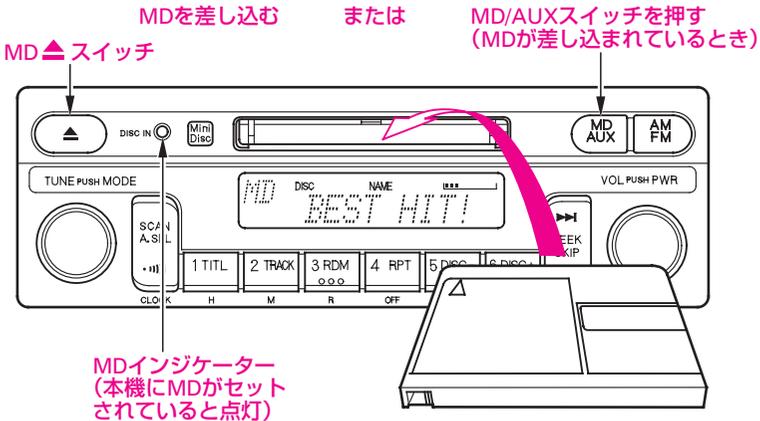
電波の強い放送局が周波数の低い順から選局され、約5秒間つぎつぎと受信します。

解除するときは、スイッチを“ピッ”という電子音がするまで押し続けます。他のモードに切り換えたときも解除されます。



●MDプレーヤーの使いかた

MD演奏のききかた



MDを取り出すとき

MD ▲ スイッチを押して、MDを取り出します。



MD演奏中にエンジンスイッチを“0”にした場合でも、MD ▲ スイッチを押せばMDを取り出すことができます。

早送り／早戻し、スキップ／リプレイをするとき

SEEK/SKIPスイッチを押します。



早送り
スキップ
早戻し
リプレイ

- 押し続けると、早送り／早戻しになります。
- 短く押すと、スキップ(先の曲の頭出し)／リプレイ(演奏中の曲の頭出し)になります。

ききたい曲を探すとき(スキャン)

SCANスイッチを押します。("SCAN"が点灯し、トラックナンバーが点滅します)各トラックの曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。



← SCANスイッチ

ききたい曲のところでスイッチをもう一度押すと、スキャン演奏の機能は解除されます。

🎓 知識

- 全ての曲をスキャン演奏し終ると、スキャン演奏を開始した曲から通常の演奏になります。



演奏中の曲を繰り返しきくとき(リピート)

RPTスイッチを押します。(“RPT”が点灯)

4 RPT

リピート機能を解除するときには、スイッチをもう一度押します。

1枚のディスクの曲順をランダムに演奏するとき

RDMスイッチを短く押します。(“RDM”が点灯)

3 RDM

ランダム演奏の機能を解除するには、スイッチをもう一度押します。

演奏中の曲名を表示するとき

TRACKスイッチを押します。(トラックの名称が約5秒間点灯)

2 TRACK

トラックの名称は10文字ずつ表示されます。

知識

- ディスクにトラック名称が入力されていない場合は、“NO NAME”を表示します。

ディスクの名称を表示するとき

TITLスイッチを押します。(ディスクの名称が約5秒間点灯)

1 TITL

ディスクの名称は10文字ずつ表示されます。

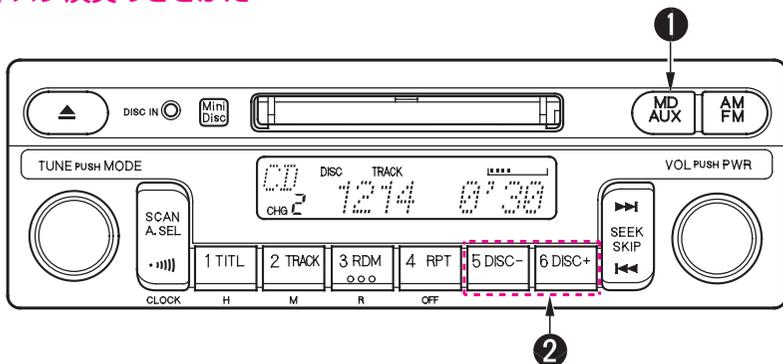
知識

- ディスクにディスク名称が入力されていない場合は、“NO NAME”を表示します。

●CDチェンジャーコントローラー、CDプレーヤーの使いかた

Honda純正のCDチェンジャー、CDプレーヤー接続時

ディスク演奏のききかた



①切り換える(MD/AUXスイッチ)

スイッチを押して、切り換えます。スイッチを押すたびに接続されているチェンジャー、CDプレーヤーに切り換わります。



②ディスクを選ぶ(DISC-/DISC+スイッチ)

CDチェンジャー接続時

DISC-、DISC+スイッチを押すごとに切り換わります。

DISC-、DISC+スイッチに続けてSEEK/SKIPスイッチを短く押すと、トラックナンバーの指定もできます。



早送り／早戻し、スキップ／リプレイをするとき

SEEK/SKIPスイッチを押します。



早送り
スキップ
早戻し
リプレイ

- 押し続けると、早送り／早戻しになります。
- 短く押すと、スキップ(先の曲の頭出し)／リプレイ(演奏中の曲の頭出し)になります。

ききたい曲を探すとき(スキャン)

SCANスイッチを押します。



←SCAN
スイッチ

- 短く押すとトラックスキャンになります。 (“SCAN” が点灯)
演奏中のディスクの各トラックの曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。
機能を解除するには、SCANスイッチをもう一度短く押します。
- “ピッ”という電子音がするまで押すとディスクスキャンになります。 (“SCAN” が点灯)
ディスクチェンジャー内の全てのディスクの先頭の曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。
機能を解除するには、SCANスイッチを“ピッ”という電子音がするまで押し続けます。

演奏中の曲を繰り返しきくとき(リピート)

RPTスイッチを押します。

4 RPT

- 短く押すとトラックリピートモードになります。
 (“RPT” が点灯)
 演奏中の曲を繰り返し演奏します。
 機能を解除するには、RPTスイッチをもう一度短く押します。
- “ピツ”という電子音がするまで押すとディスクリピートモードになります。 (“RPT” が点灯)
 演奏中のディスクを繰り返し演奏します。
 機能を解除するには、RPTスイッチを“ピツ”という電子音がするまで押し続けます。

ディスクの曲順をランダムに演奏するとき

RDMスイッチを押します。

3 RDM

○○○

- 短く押すとトラックランダムモードになります。
 (“RDM” が点灯)
 演奏中のディスクをランダムに演奏します。
 機能を解除するには、RDMスイッチをもう一度短く押します。
- “ピツ”という電子音がするまで押すとディスクランダムモードになります。 (“RDM” が点灯)
 チェンジャー内すべてのディスクをランダムに演奏します。
 機能を解除するには、RDMスイッチを“ピツ”という電子音がするまで押し続けます。



●エラーコードについて

表示部にエラーコードが表示されたときは、表示されているディスクのプレーヤーの取扱説明書をご覧になり、点検してください。



エラーが発生しているプレーヤーを表します。

エラーコードの種類を表します。

- MD (本機)
- CD (CDプレーヤー)
- CD-1 (CDチェンジャー 1)
- CD-2 (CDチェンジャー 2)
- ⋮

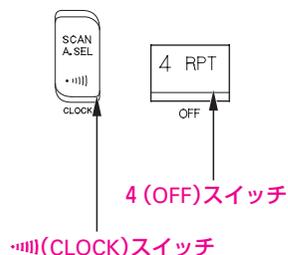
エラーコード	原因
ERROR	ディスクやディスクマガジンの装着や取り外しができない等、機械的な不具合
HOT	プレーヤー内部の温度上昇による一時停止状態
DISC	ディスクの読み込みができない(露つき、傷、汚れなど)
NO DISC	外部CDチェンジャー ディスクマガジンにディスクが入っていない
BLANK	MD ディスクに録音されていない

●時計

時計は、エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のときに表示されます。

表示の切り換え

オーディオ作動時の時計の表示が切り換えられます。



・表示を消すとき

- ① ●●●● (CLOCK)スイッチを“ピッ”という電子音がするまで押します。(時計表示が点滅)
- ② 4(OFF)スイッチを押します。

MDプレーヤーなどの演奏中は演奏時間を表示します。

・表示させるとき

- (CLOCK)スイッチを“ピッ”という電子音がするまで押します。
(時計表示が点灯)



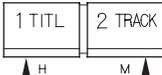
表示の合わせかた

- ①  (CLOCK)スイッチを“ピッ”という電子音がするまで押します。(時計表示が点滅)



 (CLOCK)スイッチ

- ② 「時」の調整… 1 (H)スイッチを押します。
「分」の調整… 2 (M)スイッチを押します。



1 (H)スイッチ 2 (M)スイッチ

- ③  (CLOCK)スイッチをもう一度押します。(時計表示が点灯)

時報合わせ…時計表示が点滅しているときに、時報と同時に 3 (R)スイッチを押します。

(例) 1:01 ~ 1:29の場合… 1:00
1:30 ~ 1:59の場合… 2:00



3 (R)スイッチ

室内装備品

室内灯

“ON”

ドアの開閉に関係なく点灯します。

(中間)

ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。

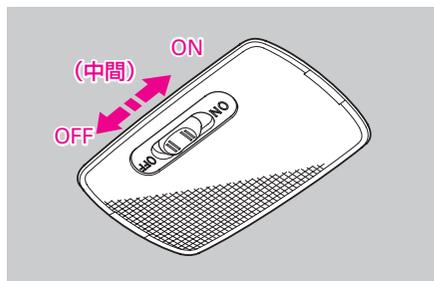
また、次の場合にも点灯し、その後消灯します。

- ・ 運転席ドアを解錠したとき
(ウエルカムライト機能)
- ・ エンジンスイッチからキーを抜いたとき

消灯するときは、徐々に減光してから消えます。

“OFF”

ドアの開閉に関係なく消灯します。



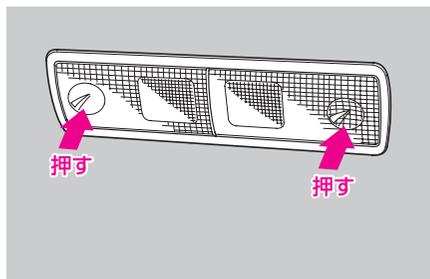
知識

- 次の操作を行ったときは、室内灯はすぐ消灯します。
 - ・ 運転席ドアを施錠したとき
 - ・ エンジンスイッチにキーが差し込まれた状態で運転席ドアを閉めたとき
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているときは、運転席ドアを解錠しても室内灯は点灯しません。
- “中間”の位置のときに、エンジンスイッチにキーを差し込んでいないときは、バッテリー保護のためドアを開けたままにしていると、約3分後に消灯します。

マップランプ

スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

夜間、車を止めて地図などを見るときに便利です。





カーゴルーム照明灯

“ON”

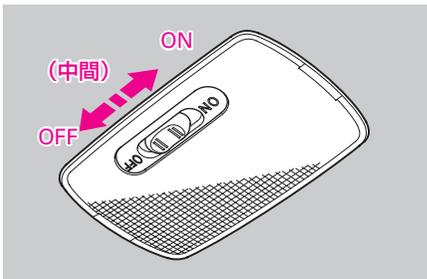
テールゲート、ガラスハッチの開閉に関係なく点灯します。

(中間)

テールゲート、ガラスハッチを開けると点灯し、閉めると消灯します。

“OFF”

テールゲート、ガラスハッチの開閉に関係なく消灯します。

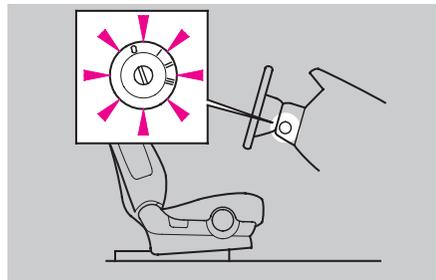


エンジンスイッチ照明灯

ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。

また、次の場合にも点灯し、その後消灯します。

- 運転席ドアを解錠したとき
- エンジンスイッチからキーを抜いたとき



知識

- バッテリー保護のためドアを開けたままにしていると、約3分後に消灯します。

シガレットライター

エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のときだけ使えます。



ライターを押し込んで、手を離し、元の位置に戻るまで待ちます。

ヒーター部が赤熱すると自動的に戻ります。



ライター使用後は灰皿で灰を落としてからすみやかに元に戻してください。

⚠ 注意

- シガレットライターの金属部分には触れないでください。やけどをするおそれがあります。

🎓 知識

- シガレットライターの損傷を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・ライターを押し込んだあと、押さえ続けしないでください。
 - ・ヒーター部に灰や異物が付着したまま使用しないでください。
 - ・ライターのさし込み口からは、Honda純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。
- 他の車のライターを使ったり、自車のライターを修正したりしないでください。戻らなかったり、とび出したりするおそれがあります。
- ライターを押し込んでから、30秒以上たっても戻らないときは故障のおそれがありますので手で引き出し、ホンダベルノ店で点検を受けてください。



灰皿

⚠ 注意

- タバコ、マッチなどは確実に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず閉めてください。
また、吸いがらをためすぎたり、紙くすなどの燃えやすいものを入れないでください。
タバコなどの火が燃え広がるおそれがあります。

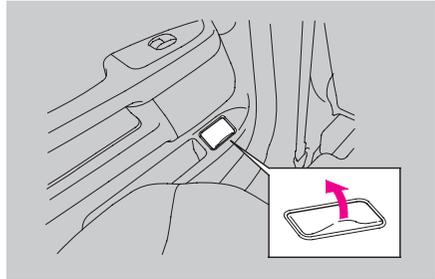
● 前席用

清掃するときは遮熱板を下に押さえながら外します。

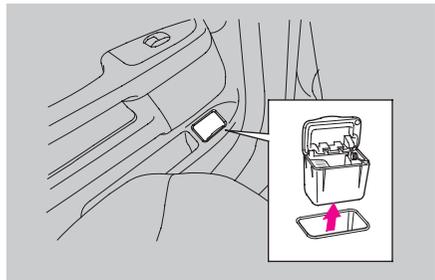


● 後席用

左側ドアにあります。

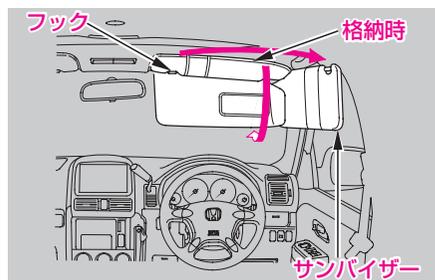


清掃するときは、灰皿本体の内側を引き抜けば、取り外すことができます。



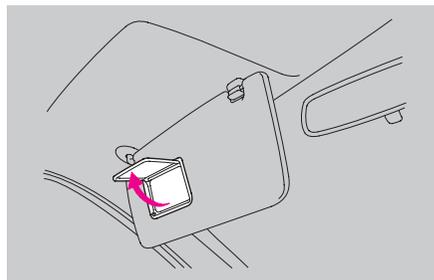
サンバイザー

サンバイザーを横にするときは、フックから外して行います。



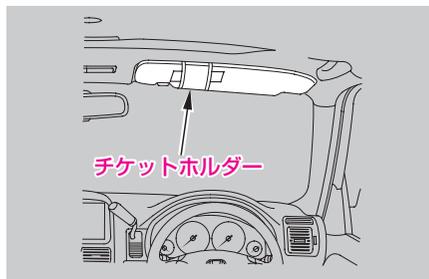
● バニティミラー(化粧鏡)

サンバイザーに鏡があります。
お化粧のときなどに便利です。



チケットホルダー

運転席側のサンバイザーにあります。



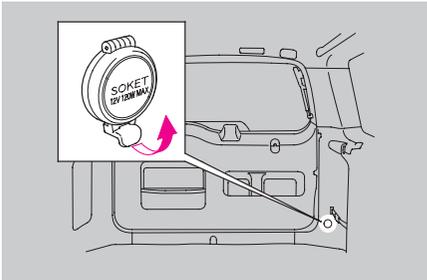


アクセサリースOCKET

カバーを開けて使用します。

Honda純正の電気製品の電源を取り出すのに使用します。

(定格120W [12ボルト、10アンペア]まで使用できます。)



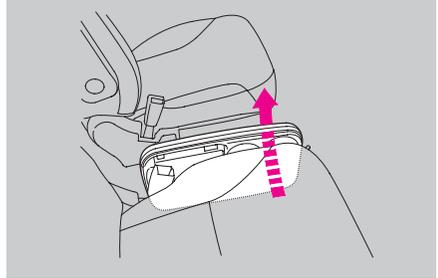
知識

- Honda純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。バッテリーあがりやアクセサリースOCKETの損傷の原因となります。
- バッテリーあがりを防ぐため、エンジンがかかっている状態でご使用ください。
- シガレットライターは差し込まないでください。発熱するおそれがあります。
- アクセサリーソケットを使わないときは、異物の侵入を防ぐためカバーを閉めてください。

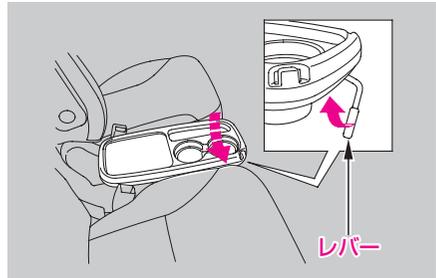
センターテーブル

● 使いかた

上に引き起こして固定します。



元に戻すときは、レバーを引いてテーブルをおろします。



知識

- テーブルの上に乗ったり、下にもぐったり、重い物を置くなど無理な力をかけないでください。破損や変形などの原因になります。
- 走行中にテーブルの上に物を置いておくと、落ちたり飛び出すことがあります。

カップホルダー

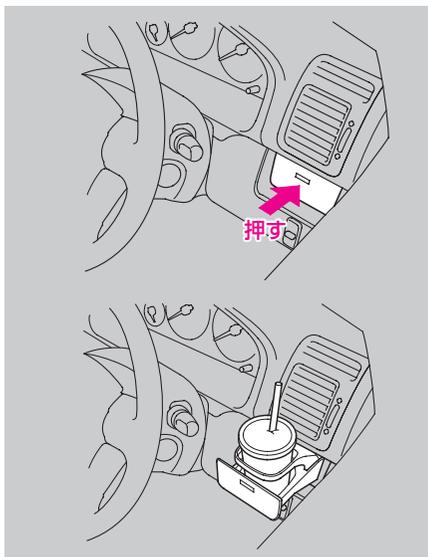
カップなどを置くときに使います。

知識

- ドアの開閉や走行中の振動、車の動きなどで飲み物がこぼれることがあります。
熱い飲み物などはやけどのおそれがありますので注意してください。
- 飲み物がスイッチ等にかかると、故障の原因となりますので注意してください。

●運転席

カップホルダーは、押すと手前へ出てきます。

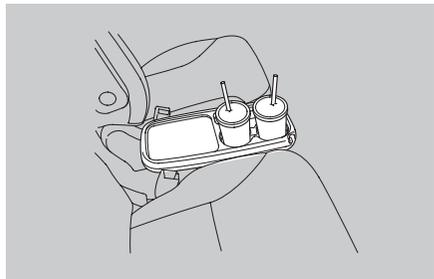


カップホルダーを使わないときは、格納してください。



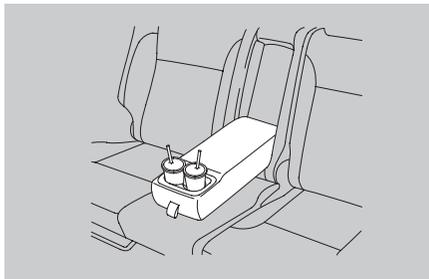
●前席用

センターテーブルを起こして使います。



●後席用

アームレストを前に倒して使います。

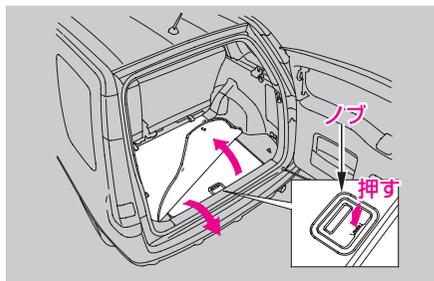


テイクアウトテーブル

トランクルーム内のリッドを取り出してテーブルとして使えます。

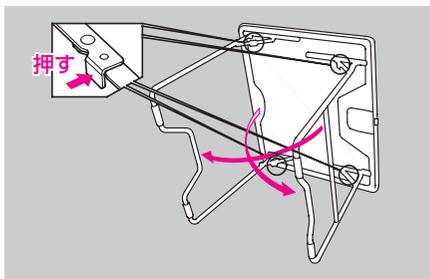
●取り出しかた

カーペットをめくり、ノブを引いて取り出します。

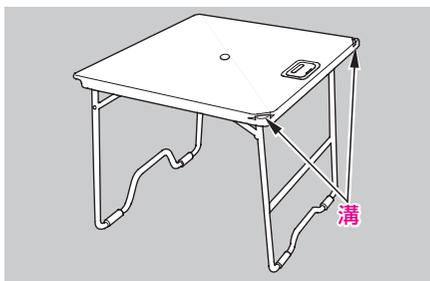


●テーブルの組み立てかた

テーブルの足をいっぱいにかき、確実にロックします。



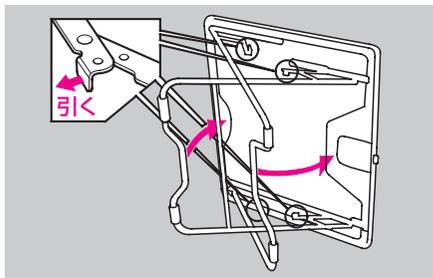
テーブルの端2カ所に、小物や袋をかける溝があります。





● 収納のしかた

- ① テーブルのロックを外して足をたたみ、確実に固定します。



- ② トランクルームの切り欠き部に合わせ確実に取り付けます。

⚠ 注意

- テーブルを組み立てたり、収納するときは、指などはさまないように十分注意してください。

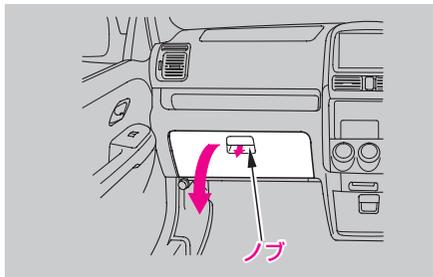
🎓 知識

- テーブルを使うときは、倒れないように足をいっぱいにかき、なるべく平らな場所でお使いください。また、テーブルの端の溝に重い物をかけないでください。
- テーブルの上に乗ったり、重い物を置くなど無理な力をかけないでください。破損や変形などの原因になります。
- テーブルの上に熱い物を直接のせたり、たき火や調理器具など高熱になるところのそばでは使わないでください。変形などの原因になります。
- テーブル中央部にビーチパラソルを立てるときは、ぐらついたり倒れたりしないようにパラソルを地面に突き差すなどして確実に固定してください。また、風があるときは、ビーチパラソルは使わないでください。
- ノブやテーブルの足の部分などに飲み物をこぼしたときは、さびの原因になりますのですぐに拭き取ってください。
- テーブルをしまうときは、汚れや水分を拭き取り、元の場所に確実に固定してください。

小物入れ

●グローブボックス

ノブを引くと開きます。

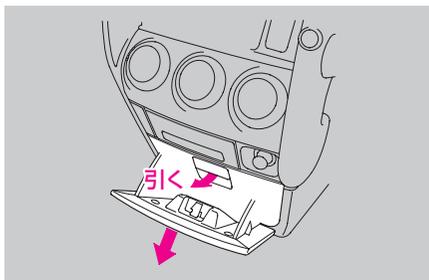


⚠ 警告

- 走行中は、グローブボックスのふたを必ず閉めてください。グローブボックスのふたが開いていると、衝突したときなどにふたにぶつかったり、内部の物がとび出したりして思わぬ事故につながります。

●センターポケット

オートマチック車



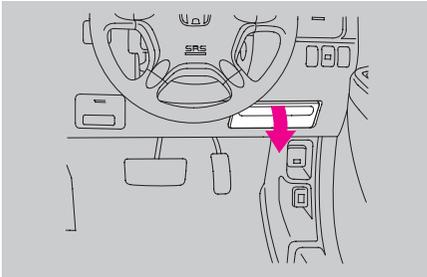
🎓 知識

- ナビゲーションシステム装備車は、ナビゲーション本体があります。



●コインボックス

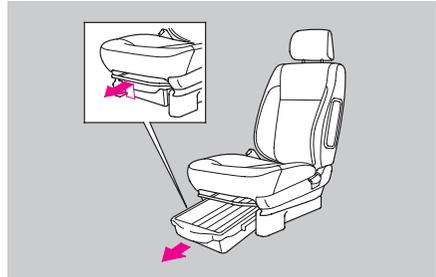
ふたを下げると開きます。小銭を入れておくと有料道路の料金所などで便利です。



●シートアンダーボックス (助手席のみ)

タイプ別装備

前端部を上を持ち上げながら、引き出します。

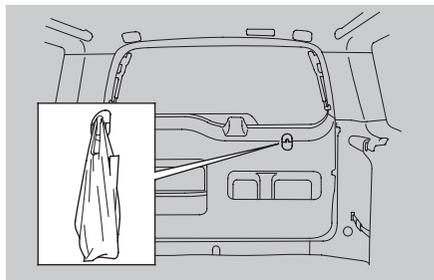


🎓 知識

- シートアンダーボックスを引き出した状態で、上に乗ったり無理な力をかけないでください。破損や変形などの原因になります。

コンビニフック

軽い荷物をかけておくのに便利です。

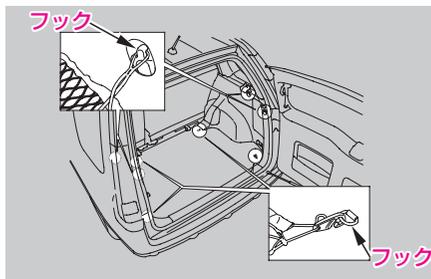


知識

- 重い物(約 3 kg 以上)や大きな物をかけないでください。特に、重い物をかけるとフックが破損することがあります。

カーゴフック

カーゴネットを固定するときに使います。

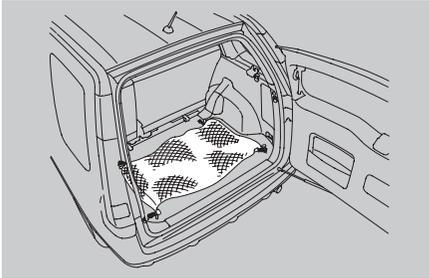




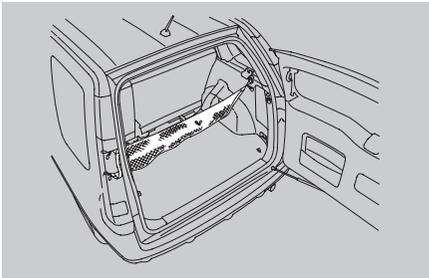
カーゴネット

カーゴフックを使って荷物の固定をする
ときなどに使います。

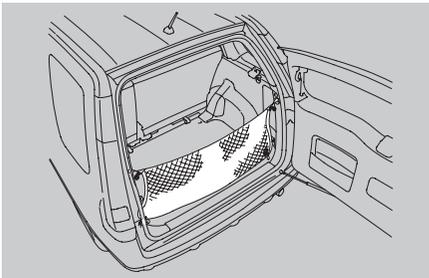
固定するとき



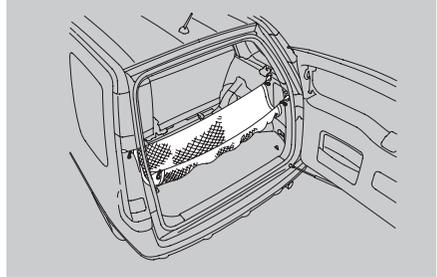
カーゴスペースを分割するとき



荷物を脱落防止するとき



荷物を吊るとき



⚠ 注意

- 走行中は荷物の出し入れはしないでください。
急ブレーキなどのときに思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知識

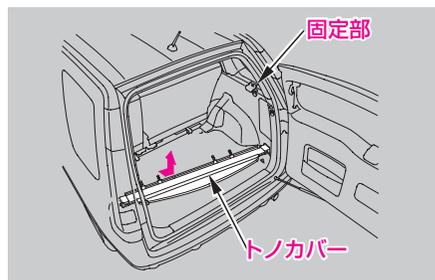
- ネットの損傷を防ぐため、5 kg 以上の物を置かないでください。
- カーゴスペースに荷物を置くときは、リヤシートの背もたれの高さを越えないようにしてください。後方視界を妨げるばかりでなく、急停止のときなど飛び出すおそれがあります。

トノカバー

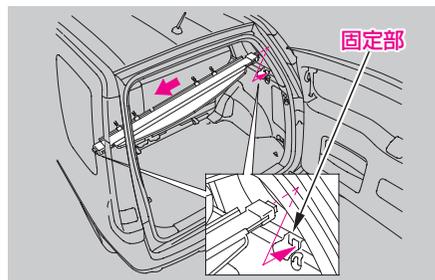
タイプ別装備

取り付けかた

① トノカバーを横にずらし取り出します。

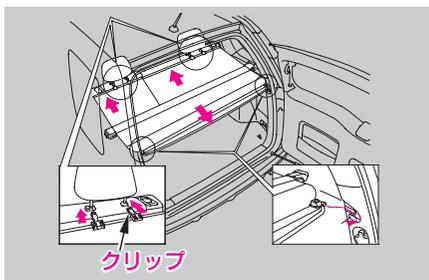


② トノカバーを左右の固定部に取り付けます。



③ トノカバーの前側を引き出しリヤシートのピローにクリップを固定します。

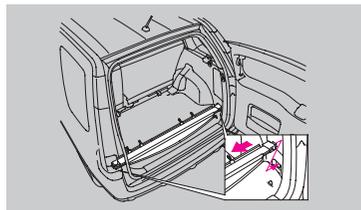
④ トノカバーの後側を引き出し固定します。



取り外すときは、逆の手順で行います。

知識

- トノカバーの上に物を置かないでください。
後方視界をさまたげるばかりでなく、急ブレーキなどのときにとび出すおそれがあります。
- トノカバーに強い力をかけないでください。
- 使用しないときは収納部にしっかりと固定しておきます。





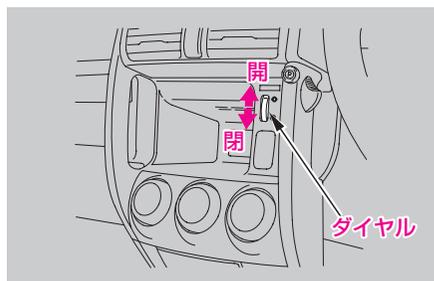
クールボックス

エアコンの吹き出し口切り換えダイヤルを“”または“”にして、ダイヤルを開にするとエアコンの風が吹き出します。ペットボトルなど、冷やすときに使います。

ダイヤルを閉にすると小物入れになります。

エアコンをマニュアルで使うとき

→164ページ

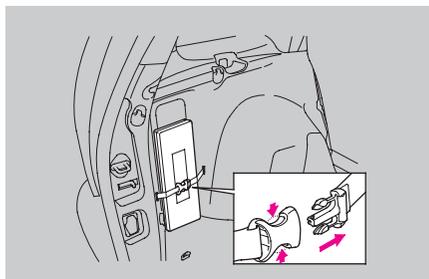


知識

- このクールボックスはエアコンの冷風を使って冷やすので、エアコンの能力以上に冷やすことはできません。
- ヒーターを使用しているときは、冷すことができません。
- 飲みかけのペットボトル等はふたを確実に閉めてください。飲み物がこぼれるおそれがあります。
- 飲み物がスイッチ等にかかると、故障の原因となりますので注意してください。

停止表示板固定ベルト

ベルトで停止表示板を固定します。







万-のとき

●工具・スペアタイヤ・発炎筒

- 格納場所 ……………230
- 工具の種類 ……………231
- 発炎筒について ……………231

●故障したとき

- 踏切で動けなくなったとき ……232
- 高速道路で故障したとき ……232
- 道路で動けなくなったとき ……233
- 故障の修理について ……………233

●事故が起きたとき ……234

●けん引

- けん引されるとき
(ロープによるけん引) ……236
- 故障車をけん引するとき ……239

●パンクしたとき

- ジャッキの取り扱い ……………240
- スペアタイヤカバー ……………242
- スペアタイヤ ……………244
- 応急用スペアタイヤ ……………245
- タイヤ交換 ……………246

●オーバーヒートしたとき

- ……………250

●電気系統が異常のとき

- バッテリーあがりのとき ……252
- ライト類が点灯しないとき、
電気装置が作動しないとき
……………254
- サンルーフが作動しないとき
……………265

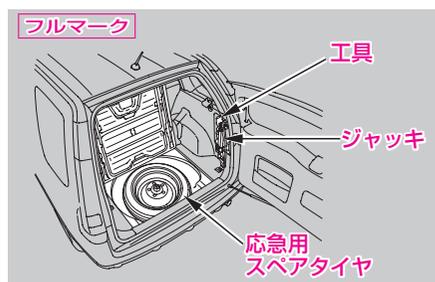
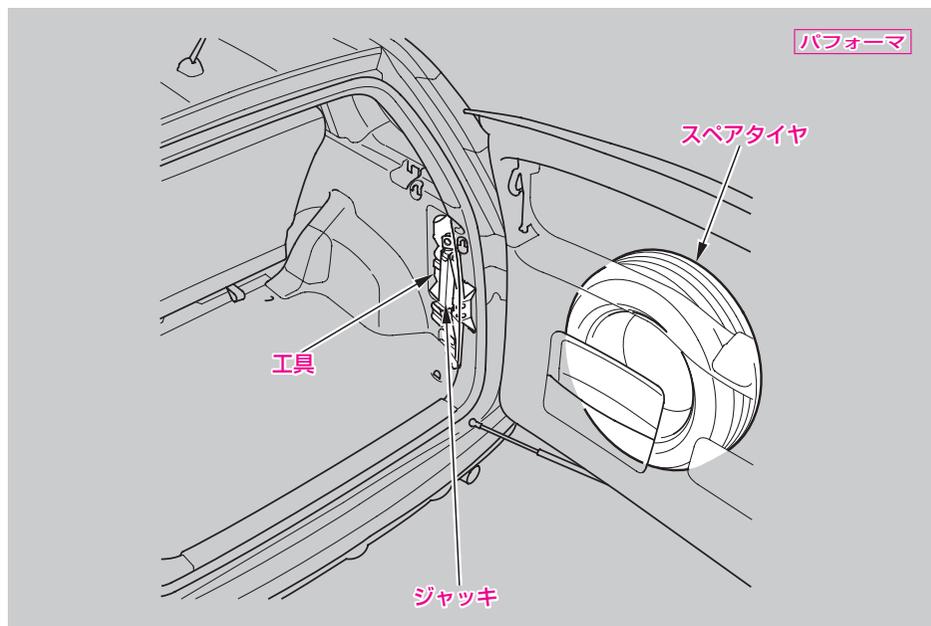
5

* 全国のHonda販売店およびJAFの電話番号は別冊の「サービス網一覧」に記載してあります。

工具・スペアタイヤ・発炎筒

格納場所

●工具・スペアタイヤ



●発炎筒

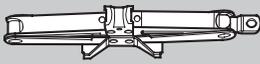
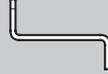


発炎筒は助手席足元にあります。



工具の種類

ジャッキ

ホイールナットレンチ
(兼ジャッキハンドル)サンルーフレンチ
サンルーフ装備車

ジャッキハンドルバー

知識

- 工具の種類、ジャッキ、発炎筒の使いかたなどは万一のとき困らないようあらかじめ確かめておきましょう。
- スペアタイヤ、ジャッキは走行中動かないように、所定の位置にしっかり固定してください。
- 高速道路で故障などにより停止するときは、停止表示器材による表示義務がありますので、停止表示板などを常時携帯するようにしましょう。

発炎筒について

高速道路、踏切などの危険な場所で故障したときに使います。発炎筒に記載されている次のことをよく読んであらかじめ確認しておいてください。

- ・使いかた
- ・使用上の注意
- ・発炎時間
- ・有効期限

警告

- ガソリンなどの燃えやすいもののそばでは使わないでください。火災や爆発のおそれがあります。

注意

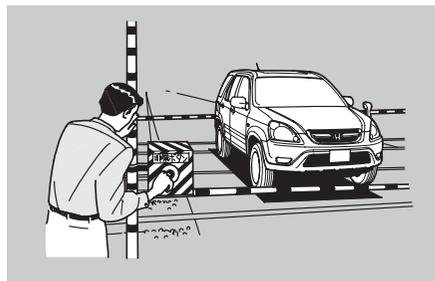
- お子さまにいじらせないでください。いたずらなどにより発炎筒が発火して思わぬ事故ややけどの原因になります。
- 発炎筒を使うとき顔やからだに向けてやけどなどをすることがあるのでおやめください。
- トンネル内では視界を悪くするので使用しないでください。トンネル内では非常点滅表示灯を使ってください。

故障したとき

車を路肩に止め、非常点滅表示灯を点滅させます。必要に応じて停止表示板(または停止表示灯)、発炎筒を使い、後続する車に故障車とわかるようにします。

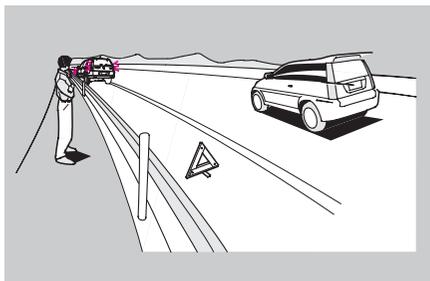
踏切で動けなくなったとき

脱輪などで踏切内で動けなくなったときは、踏切の非常ボタンを押してください。非常ボタンがわからず、緊急を要するときは、発炎筒で合図をしてください。



高速道路で故障したとき

車を路側帯に寄せ、非常点滅表示灯を点滅させ、車両後方に停止表示板(または停止表示灯)を置いて表示してください。法律で義務づけられています。



人は車からおりて、安全な場所に避難してください。



道路で動けなくなったとき

一般道路で動けなくなったときは、付近の人に安全な場所まで押しってもらってください。



知識

- マニュアル車、オートマチック車ともにスターターを回して車を動かすことはできません。

クラッチ・スタートシステム

マニュアル車

→110ページ

故障の修理について

ホンダベルノ店へお申しつけください。



お持ちこみいただければ、簡単なものはその場で修理いたします。長くかかるものは、予定をお知らせします。

お持ちこみのむずかしいときには電話でご連絡ください。

遠出などのときは全国どこでもHonda販売店へご連絡ください。

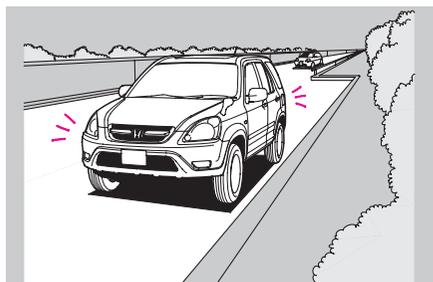
Honda販売店およびJAFの電話番号については別冊の「サービス網一覧」をご覧ください。

事故が起きたとき

あわてずに次の処置をとります。

1 事故の続発を防ぐ。

他の交通のさまたげにならないような安全な場所(路肩、あき地など)に車を移動させ、エンジンを止めます。



2 負傷者がいる場合は、応急手当を行う。

医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急手当を行います。

この場合、とくに頭部に傷などがあるときは、そのままの姿勢で動かさないようにしますが、後続事故の心配があるときは安全な場所に移動させます。



🎓 知識

- 外傷がなくても医師の診断を受けましょう。後になってから後遺症が出るおそれがあります。



3 警察へ連絡する。

事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し、指示を受けます。



4 相手方、事故の状況をメモする。

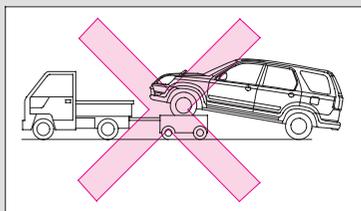
5 ご購入された販売店や保険会社へ連絡する。

けん引

けん引は専門業者に依頼し、できるだけ四輪または前輪を持ち上げて行ってください。

アドバイス

- 車輪が動かないときなど動力伝達装置に異常があると思われるときは、必ず四輪または前輪を持ち上げてけん引してください。
- 4WD車の場合、前輪または後輪を台車に乗せた(車輪が回転できない)状態でのけん引は、絶対に行わないでください。
駆動装置が破損したり、車輪が台車からとび出すおそれがあります。

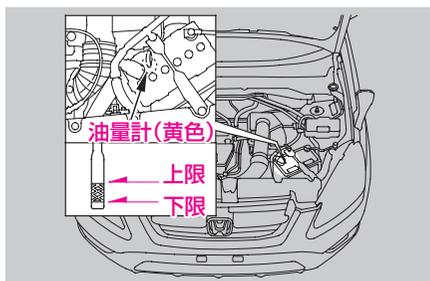


けん引されるとき (ロープによるけん引)

やむをえず四輪を接地させてロープでけん引を行う場合は、次の方法で行ってください。

① オートマチック車

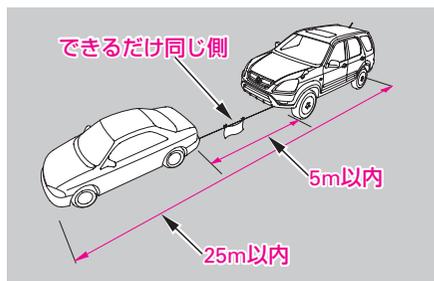
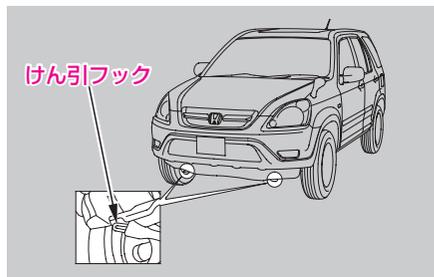
トランスミッションオイルの量が目盛りの上限と下限の間にあるかを点検します。



下限より下がっている場合は、四輪または前輪を持ち上げてけん引してください。



- ②ロープをけん引フックにかけ、ロープ中央部に白い布(0.3m平方以上)を付けます。



- ③チェンジレバーまたはセレクトレバーはN(ニュートラル)に、エンジンスイッチは“I”または“II”にします。
- ④パーキングブレーキを解除し、けん引されます。けん引中は、前の車の制動灯に注意してロープをたるませないようにしてください。
- ⑤ **オートマチック車**
速度30km/h以下、走行距離80km以内でけん引してください。

アドバイス

- けん引フックにロープをかけるときは、車体やフックの破損・変形を防ぐために次のことに気をつけてください。
 - ・けん引フック以外のところにロープをかけないでください。
 - ・けん引時にけん引フックに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。
- ワイヤーロープや金属製のチェーンなどを使ってけん引されるときは、車体にあたる部分のチェーンに布をまくなどして行ってください。そのままけん引されると、バンパーに傷をつけるおそれがあります。

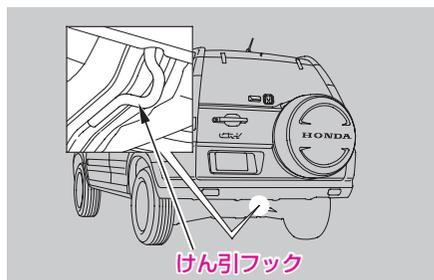
知識

- エンジンが停止している状態でのけん引は、次のことに気をつけてください。
 - ・ブレーキの倍力装置がはたらかなくなるので、ブレーキのききが悪くなります。
 - ・パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなるので、ハンドル操作が重くなります。
 - ・マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“0”にするとキーが抜けることがあり、ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり、事故につながるおそれがあります。
- 長い下り坂では、ブレーキ部の温度が上がりブレーキがきかなくなるおそれがあります。レッカー車にけん引してもらってください。



故障車をけん引するとき

やむをえず故障車をけん引するときは、
自車より重い車のけん引は避けてくださ
い。



アドバイス

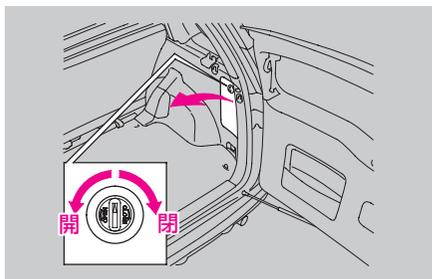
- けん引フックにロープをかけるときは、車体やフックの破損・変形を防ぐために次のことに気をつけてください。
 - ・けん引フック以外のところにロープをかけないでください。
 - ・けん引時にけん引フックに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。
- ワイヤーロープや金属製のチェーンなどを使ってけん引するときは、車体にあたる部分のチェーンに布をまくなどして行ってください。そのままけん引すると、バンパーに傷をつけるおそれがあります。

パンクしたとき

ジャッキの取り扱い

●ジャッキの取り出しかた

①ツマミを回してカバーを外します。



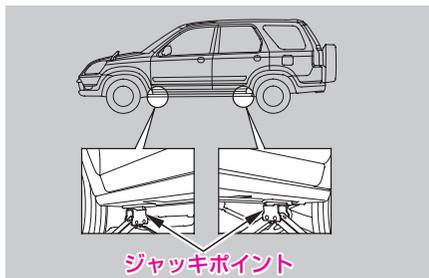
②ジャッキをゆるめて外します。



🎓 知識

- ジャッキを格納するときにはドライバーなどで無理に締めないでください。
ジャッキ取り付け部が変形するおそれがあります。

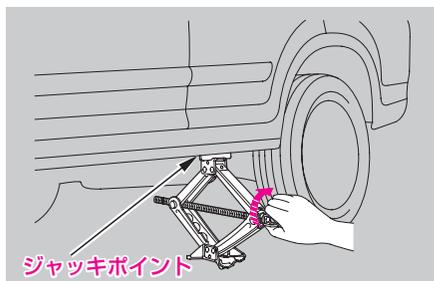
●ジャッキをかける位置



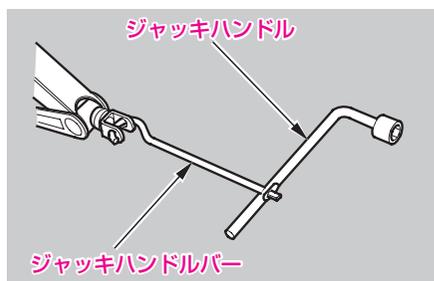


● ジャッキのかけかた

- ① 地面が固い平らなところに車を停めます。
- ② パーキングブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。
- ③ ジャッキを地面に置き、手で回してジャッキの溝がジャッキポイントに入るまで上げます。



- ④ ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを使って、タイヤと地面が少し離れるまで車体を上げます。



⚠ 警告

- 車がジャッキだけで支えられているときは、不安定な状態にあるので車の下に入ったりしないでください。
万一、ジャッキが外れると、思わぬ事故につながります。

⚠ 注意

- ジャッキを使うときは安全のため、次のことを必ず守ってください。
 - ・ エンジンがかけたままにしない。
 - ・ 地面が固い平らなところ以外では使用しない。
 - ・ 指定された位置以外にかけない。
 - ・ 人や荷物をのせたままにしない。
 - ・ ジャッキの上や下に物をいれたりしない。
 - ・ タイヤ交換やタイヤチェーン着脱以外には使用しない。

🎓 知識

- この車に搭載されているジャッキをお使いください。他のジャッキでは支えられる重量(呼荷重)が不足したり、形状が合わないことがあります。

スペアタイヤカバー

タイプ別注文装備

知識

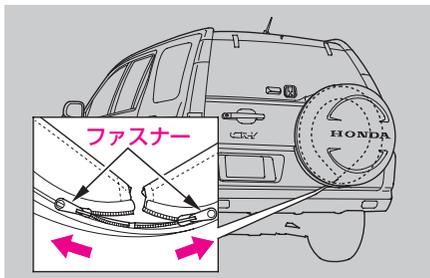
- 作業をする場合は、安全で、堅く水平な場所に車を止めてください。
- 指定したサイズ以外のタイヤや異なる空気圧の場合は、カバーが取り付けできないことや、脱落するおそれがあります。
- ファスナーを開閉するときは、無理に行くとファスナーを破損するおそれがあります。

アドバイス

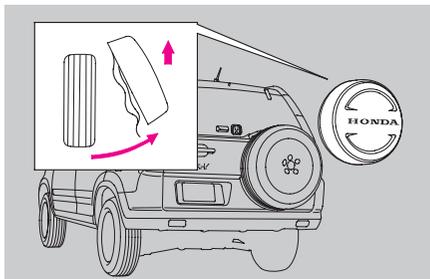
- ファスナーが氷結して開きにくいときは、雪や氷を取り除いてから少しずつ開いてください。

●取り外しかた

- ①タイヤカバーの下側から左右にファスナーを開きます。



- ②カバーの下部を手前に引いて上に持ち上げるようにして取り外します。

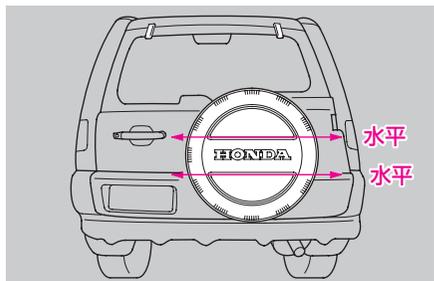


**●取り付けかた**

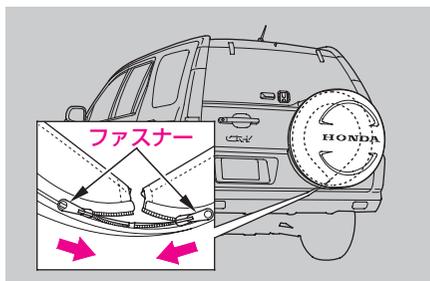
①指定のタイヤサイズ、空気圧であることを確認します。

タイヤサイズ、空気圧 →303ページ

②デザイン線が水平になるようにカバーを持ち、カバー上部をスペアタイヤにかぶせます。



③左右のファスナーをカバー下部まで閉めます。

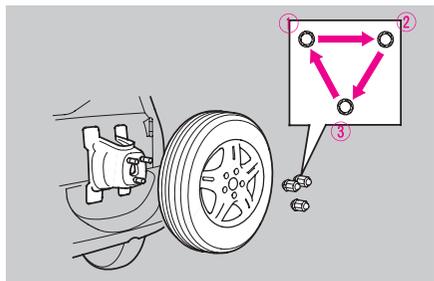


スペアタイヤ

パフォーマ

●取り外しかた

ホイールナットレンチで図の番号順にナットをゆるめ外します。



●取り付けかた

取り外したときの逆の手順で取り付けます。

(参考)スペアタイヤホイールナット締め付けトルク:

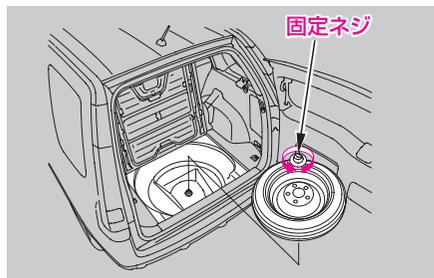
49－59 N·m (5.0－6.0 kgf·m)



応急用スペアタイヤ

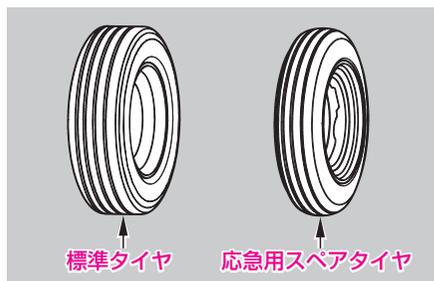
フルマーク

固定ネジをゆるめて取り出します。



応急用スペアタイヤは、タイヤがパンクしたときの応急用としてのみを使うタイヤです。

標準タイヤの収納 →248ページ



お使いになるときは次のことをお守りください。

知識

- 空気圧はときどき点検し、指定空気圧でお使いください。

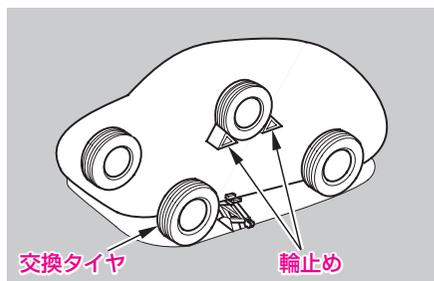
指定空気圧：

420 kPa (4.2 kgf/cm²)

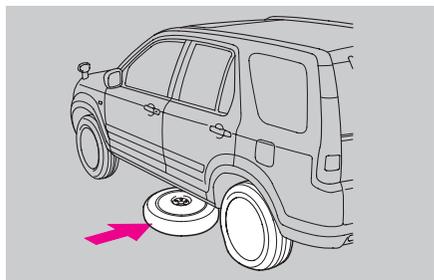
- 応急用スペアタイヤを装着したときは、100km/h以下で走行し、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
- この応急用スペアタイヤとホイールはこの車の専用品です。他のタイヤやホイールと組み合わせたり、他の車に使わないでください。
- 応急用スペアタイヤにはタイヤチェーンは装着できません。チェーン装着時に前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した後輪タイヤを前輪に取り付け、これにタイヤチェーンを装着してください。

タイヤ交換

- ①車を地面が固く平らで安全な場所に止め、工具類、応急用スペアタイヤを取り出します。
- ②パーキングブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。



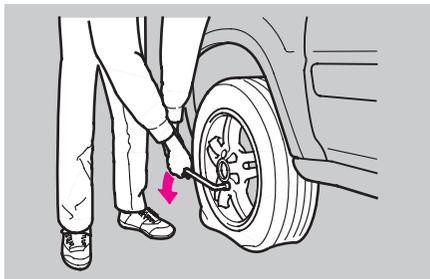
- ③スペアタイヤは交換するタイヤ近くの車体の下にホイール表面を上にして置きます。



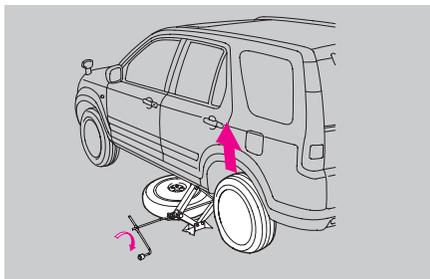
- ④ジャッキをセットします。

→187ページ

- ⑤ホイールナットをホイールナットレンチで少し(約1回転)ゆるめます。

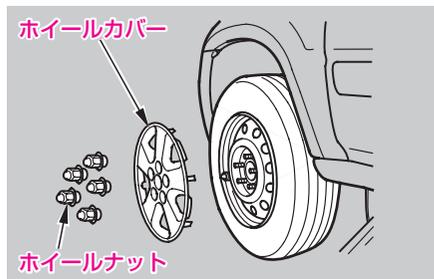


- ⑥タイヤと地面が少し離れるまでジャッキで車体を上げます。





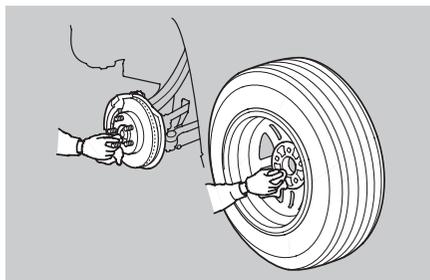
- ⑦ ホイールナット、ホイールカバー(タイプ別装備)を外し、タイヤを外します。



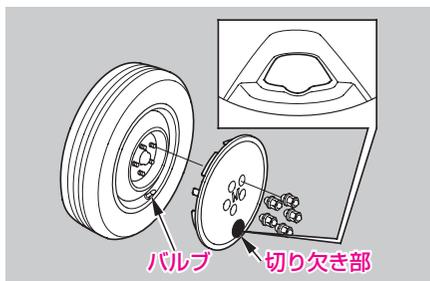
知識

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。下にして置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。
- ホイールカバーは、ホイールナットを外さないと取り外しができません。ドライバーなどで無理にこじらないでください。

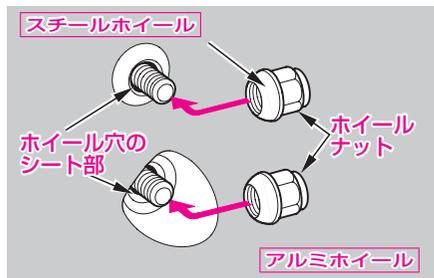
- ⑧ 交換するタイヤのホイールの接触面のよごれをふき取ります。



- ⑨ ホイールカバーを取り付けるときは、切り欠き部がバルブの位置にくるようにします。



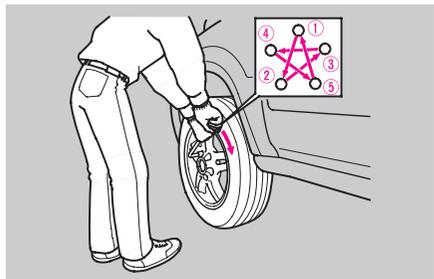
- ⑩ホイールナットがホイール穴のシート部に軽く当たり、ホイールがガタつかない程度までホイールナットを締めます。



- ⑪ジャッキをおろし、図の番号順に2～3度にわたり、ホイールナットをしっかり締め付けます。

ホイールナット締め付けトルク：

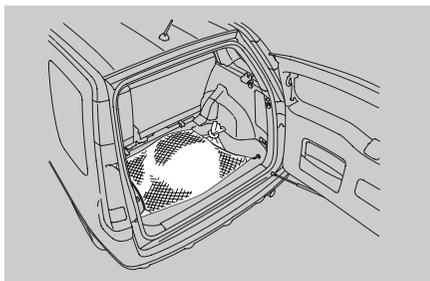
98－118 N・m (10.0－12.0 kgf・m)



●標準タイヤを収納する

フルマーク

- ①パンクしたタイヤを収納袋に入れカーゴルーム中央に置きます。
- ②カーゴネットをかけたカーゴフックに固定します。



 **アドバイス**

- 4WD車は、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。
サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用すると動力伝達装置に悪影響をあたえます。
- VSA装備車は四輪とも、同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤを指定空気圧にてお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用したり、指定空気圧でない場合、VSAが正常に機能しなくなることがあります。また、応急用スペアタイヤを装着した場合も、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。

 **知識**

- この車専用のホイールをお使いください。
専用以外のホイールを使うと走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換に際しては、必ずホンダベルノ店にご相談ください。
- レンチを足で踏んだり、パイプなどを使って必要以上に締め付けしないでください。トルクがかかりすぎることがあります。
- パンク修理、タイヤの摩耗、リムの変形などでホイールバランスが狂うことがあります。車体の振動などの異常を感じたらホンダベルノ店で点検を受けてください。
- タイヤ交換は安全のため、地面の硬い平らな場所で、他の交通に十分注意して行ってください。必要に応じて停止表示板、非常点滅表示灯を使ってください。
- 必ず指定サイズ、同一種類のタイヤを使ってください。指定サイズ以外のタイヤや種類の異なるタイヤを使うと安全性を損ないます。
- 応急用スペアタイヤの空気圧は使うときに調整してください。
やむをえず、未調整のまま走る場合は、速度を控えめにしてください。

タイヤの空気圧 →303ページ

ホイールカバー装備車

ホイールカバーは、ホイールナットを外さないと取り外しができません。
ドライバーなどで無理にこじらないでください。

アルミホイール装備車

パンク修理などでホイールを取り付け直したときには、念のため1,000km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。

オーバーヒートしたとき

次のようなときは、オーバーヒートです。

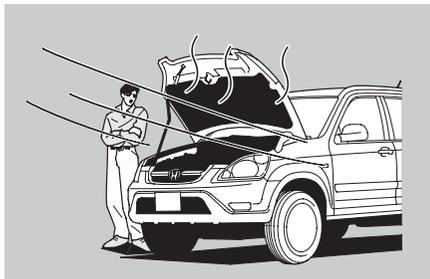
- 水温計の針が“H”の目盛に入ったり、エンジンの力が急に落ちる。
- エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている。

⚠ 警告

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、ボンネットを開けないでください。
蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。
- エンジンが十分に冷え、水温が下がるまでラジエーターキャップを外さないでください。
冷却水には圧力がかかっているため、蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

● 処置のしかた

- ① 車を安全な場所に停めます。
- ② エンジンをかけたままボンネットを開けて風通しをよくします。



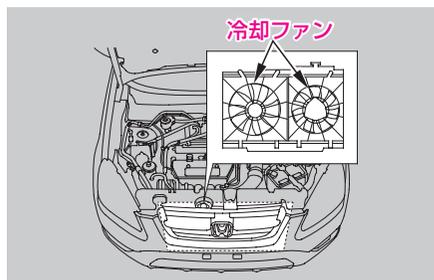
🎓 知識

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、エンジンを止めます。
蒸気が出なくなってからボンネットを開け、エンジンをかけてください。



- ③冷却ファンの作動を確認し、水温計の針が下がってきてからエンジンを止めます。

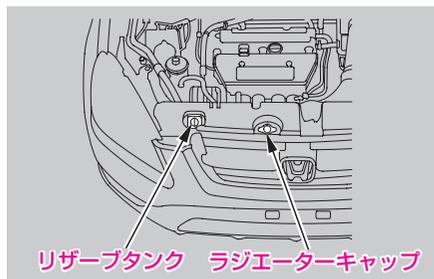
冷却ファンが作動していないときはすぐにエンジンを止めてください。



アドバイス

- 冷却ファンが作動していない場合は、故障が考えられますので、ホンダベルノ店へご連絡ください。

- ④エンジンが冷えてから、冷却水量、ホースなどからの水漏れを点検します。



- ⑤冷却水量が不足していたらラジエーターとリザーブタンクに冷却水を補給します。冷却水がない場合は、応急的に水を補給します。

アドバイス

- エンジンが熱いときに冷却水を入れないでください。急に冷たい冷却水を入れると、エンジンが損傷するおそれがあります。冷却水はエンジンが冷えてからゆっくりと入れてください。

- ⑥なるべく早くホンダベルノ店で点検を受けてください。

電気系統が異常のとき

バッテリーあがりのとき

次のようなときは、バッテリーあがりです。

- ・スターターが回らないか、回っても回転が弱くエンジンがかからない。
- ・ライトがいつもより極端に暗かったり、ホーンの音が小さい。

●処置のしかた

安全のため、押しがけはしないでください。

救援車のバッテリーを利用してエンジンを始動させます。

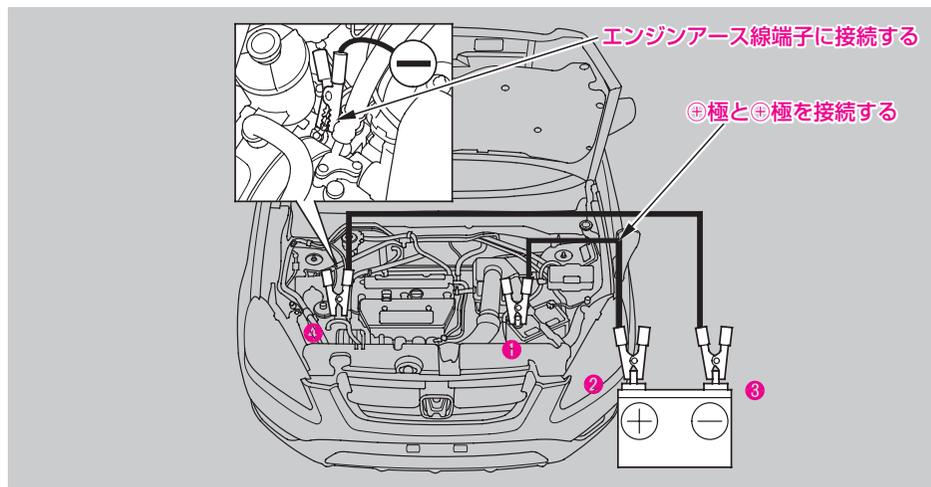
①ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

1本目

- ①自車のバッテリーの⊕端子
- ②救援車のバッテリーの⊕端子

2本目

- ③救援車のバッテリーの⊖端子
- ④自車のエンジンのアース線端子



- ②救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにします。
- ③自車のエンジンをかけます。
- ④ブースターケーブルをつないだときと逆の順番で外します。
- ⑤Honda販売店や最寄りのガソリンスタンドなどで点検を受けてください。



⚠ 警告

- バッテリーを取り扱うときは次のことを必ず守ってください。
バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・ バッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動または充電を行わないでください。
 - ・ 火気を近づけないでください。
 - ・ 帯電した体でバッテリーに触れないでください。
 - ・ 換気に十分注意し、換気の悪い場所では充電を行わないでください。
 - ・ バッテリーを充電するときは、すべてのキャップを外してください。
- ブースターケーブルをつなぐときは次のことを必ず守ってください。火花が出て、バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・ 自車のバッテリーの⊖端子に直接ケーブルをつながないでください。
 - ・ ⊕端子と⊖端子を間違えないでください。
 - ・ ケーブルの先端どうしを接触させないでください。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮ふに着くとその部分が侵されますので十分注意してください。
万一、付着したときはすぐに多量の水ですくなくとも5分間以上洗浄し、飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲んでください。応急処置後は、専門医の診察を受けてください。

🎓 知識

- バッテリー液が不足しているときは、使用しないでください。
バッテリー内部の劣化の進行が促進するおそれがあります。
- ブースターケーブルのクリップは、エンジン始動時などの振動で外れたりしないように確実に固定してください。また、ブースターケーブルが冷却ファンやベルトに巻き込まれないように十分気をつけてください。
- 救援車には、12Vのバッテリーを装着している車を使用してください。
- バッテリー交換などでバッテリーケーブルを取り外すと、ラジオにセットされた周波数が消去されます。また、バッテリーを取り付けた後は運転席パワーウィンドーのオート作動ができなくなります。その場合は、オート作動の機能を復帰させてください。

はさみ込み防止機構 →45ページ

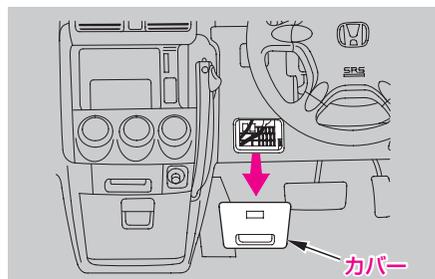
ライト類が点灯しないとき、 電気装置が作動しないとき

バッテリーがあがっていないときは、ヒューズ切れや電球(バルブ)切れが考えられます。

- ① エンジンスイッチを“0”の位置にします。
- ② ヒューズが切れていないかを点検します。
 - ・故障の状況から点検すべきヒューズをヒューズボックスの表示で確認し、点検します。
- ③ 必要に応じて、ヒューズや電球を交換します。

●ヒューズの点検、交換

運転席足元のヒューズボックス

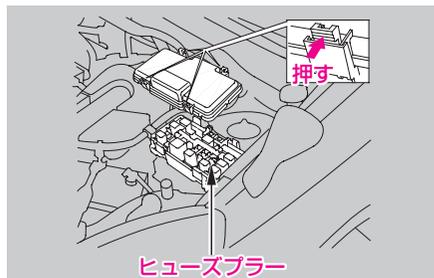


・各ヒューズの装備と容量

	表示	装備	容量
1		イグニッション コイル	15A
2		ECU	20A
3		フロントフォグライト	20A
4		発電機	10A
5	—	—	—
6		パワーウィンドー/ サンルーフ	7.5A
7		サンルーフ	20A
8		オーディオ	7.5A
9		リヤワイパー/ ウォッシャー	7.5A
10		メーター	7.5A
11		ABSユニット	7.5A
12	—	—	—
13	SRS	SRSエアバッグシステム	10A
14		電動ドアミラー	10A
15	—	—	—
16		シートヒーター	20A
17		フューエルポンプ	15A
18		シガレットライター	15A
19		方向指示器	7.5A
20		フロントワイパー/ ウォッシャー	20A
21	—	—	—
22	AS 	パワーウィンドー 助手席	20A
23	DR 	パワーウィンドー 運転席	20A
24	RR L 	パワーウィンドー 後席左側	20A
25	RR R 	パワーウィンドー 後席右側	20A



エンジンルーム内のヒューズボックス

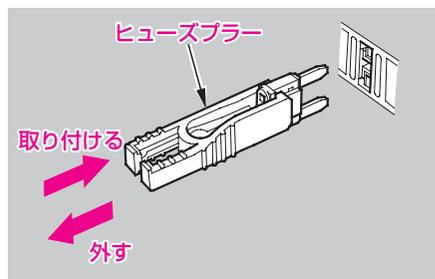


・各ヒューズの装備と容量

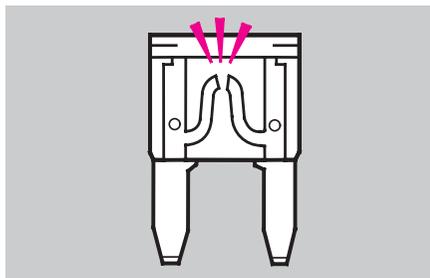
	表示	装備	容量
1		冷却ファン (コンデンサーファン)	20A
2		車幅灯／尾灯	15A
3		室内灯／ マップランプ	15A
4		冷却ファン	20A
5		非常点滅表示灯	15A
6		ECU	15A
7		ホーン／制動灯	15A
8	—	—	—
9		バックアップ	10A
10		ABSユニット	30A
11		リヤデフロスター	20A
12		ヒーターモーター	40A
13		パワーウィンドー／ サンルーフ	40A
14		ECU	40A
15		左側ヘッドライト	15A
16		MPCSユニット	20A
17		右側ヘッドライト	15A
18		ABSユニット	30A
19		バッテリー	100A
20		イグニッション	50A
		スペアヒューズ	

ヒューズの外しかた

備え付けのヒューズプラーでヒューズを外します。



ヒューズが切れているとき



ヒューズボックスの表示に従い規定容量のヒューズに交換します。

アドバイス

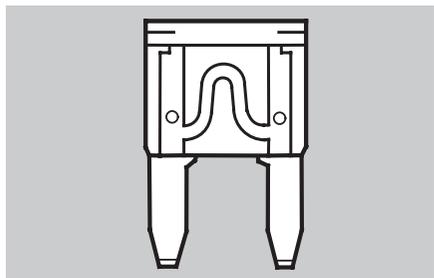
- 規定容量のヒューズ以外のものは絶対に使わないでください。配線コードなどを焼損させる原因となります。

知識

- オーディオのヒューズが切れると、ラジオにセットされた周波数が消去されます。
- 運転席パワーウィンドーのヒューズが切れると、ヒューズを交換した後も運転席パワーウィンドーのオート作動ができなくなります。その場合は、オート作動の機能を復帰させてください。
はさみ込み防止機構 →45ページ
- 交換しても、またヒューズが切れる場合は、電気系統の異常が考えられますので、ホンダベルノ店で点検を受けてください。



ヒューズが切れていないとき



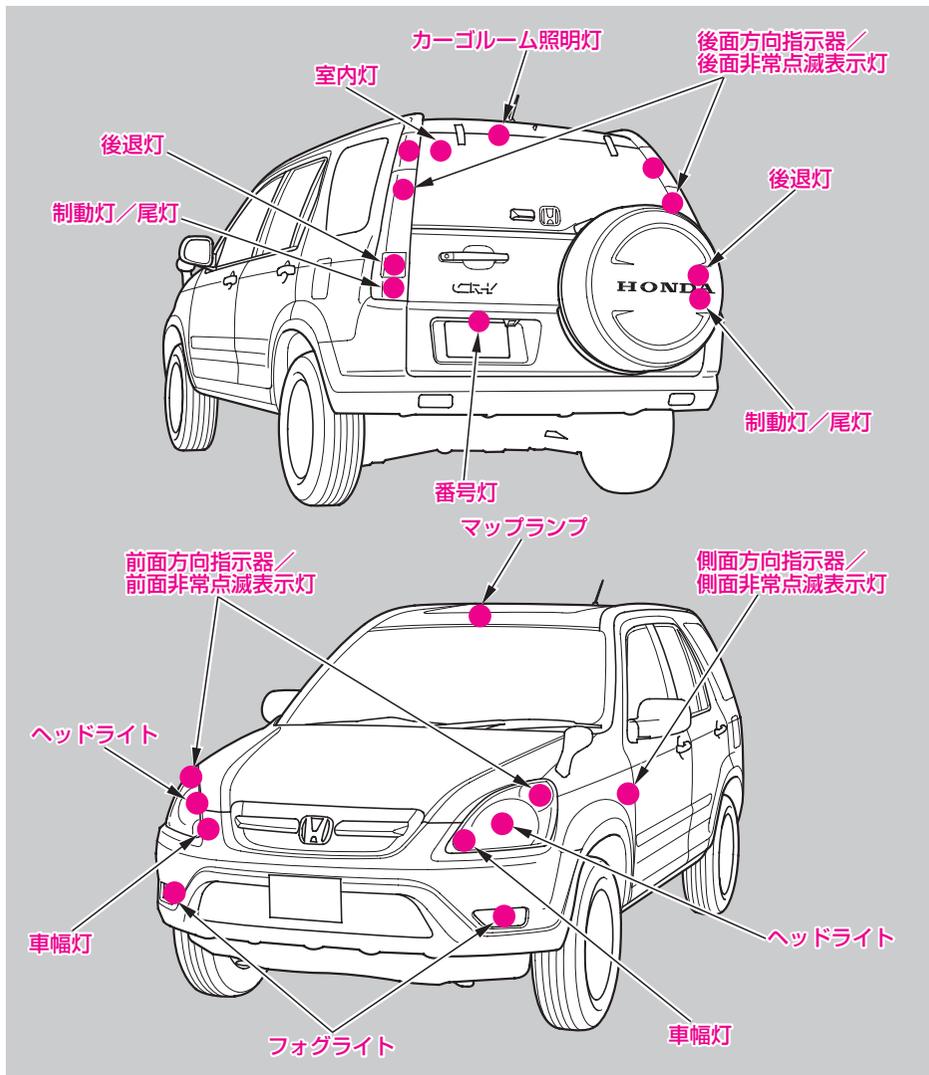
- ライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。
電球を点検し、切れているときは交換してください。

知識

- 電球が切れていない場合は、電気系統の異常が考えられますので、ホンダベルノ店で点検を受けてください。
- ライト類以外の電気装置が作動しないときは、電気系統の異常が考えられますので、ホンダベルノ店で点検を受けてください。

●電球(バルブ)の交換

ヒューズが切れていないのにライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。電球を点検し、切れているときは交換してください。





知識

- ランプ本体やレンズを外すときは、ボディに傷を付けないように注意してください。
- 電球を交換するときはワット(W)数の違うものを使わないでください。
電球のワット数 →300ページ
- ハロゲンバルブはガラス球内部の圧力が高いため、落としたり、物をぶつけたり、傷をつけたりすると破損してガラスがとび散ることがあります。
取り扱いには十分に注意してください。
また、ハロゲンバルブの電球の表面に手などが、触れないようにしてください。
使用時電球が高温になるため、油などが付着すると寿命が短くなります。触れた場合は、中性洗剤の薄い水溶液を柔らかい布に含ませてよくふき取ってください。
- ヘッドライト、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇るのと同様の現象であり、機能上の問題はありません。
ただし、レンズ内面に大粒の水 droplet がついているときやランプ内に水がたまっているときは、ホンダベルノ店にご相談ください。

ヘッドライトについて

ディスチャージヘッドライト装備車

ヘッドライトの電球切れの点検、交換は必ずホンダベルノ店で行ってください。

⚠ 注意

- ディスチャージヘッドライトは高電圧を使用しており、不適切な取り扱いや分解を行うと感電するおそれがあります。

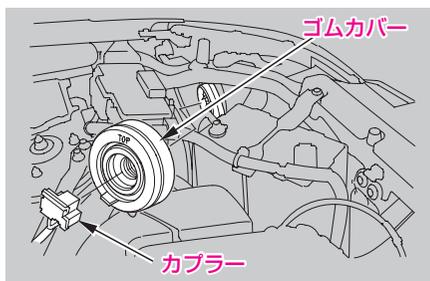
ヘッドライト

ハロゲンヘッドライト装備車

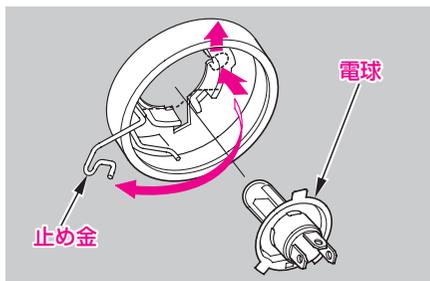
ハロゲンバルブを使用していますので、取り扱いに注意してください。

ハロゲンバルブ →259ページ

- ①カプラーを抜き取ります。
- ②ゴムカバーを外します。



- ③止め金を外し、電球を外します。





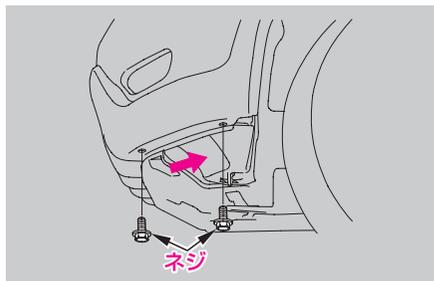
フォグライト

タイプ別装備

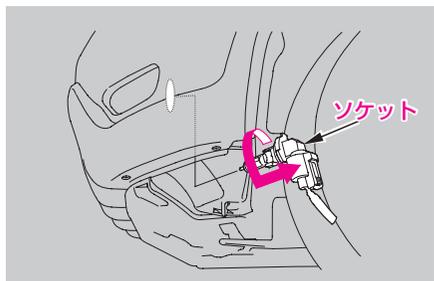
ハロゲンバルブを使用していますので、取り扱いに注意してください。

ハロゲンバルブについて →259ページ

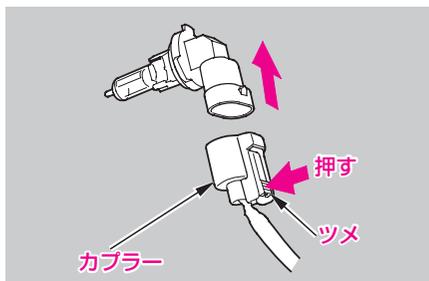
- ①ネジを2本はずし、アンダーカバーを上へ押し込みます。



- ②ソケットを左に回して外します。

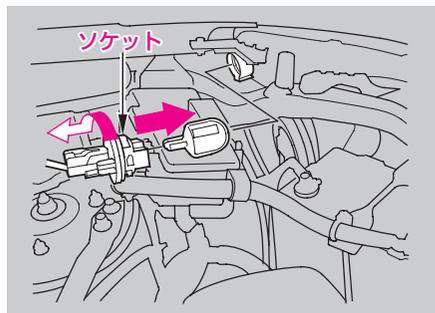


- ③カプラーのツメを押しながらカプラーを外します。



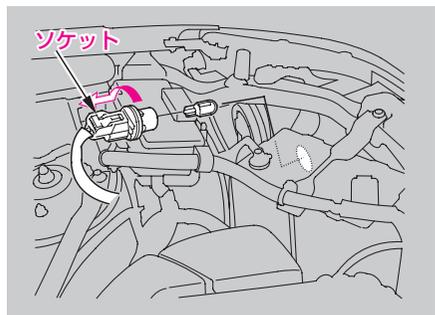
前面方向指示器／前面非常点滅表示灯

ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。



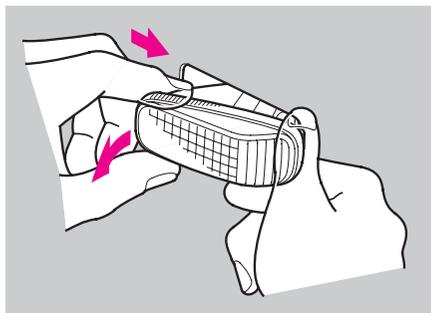
車幅灯

ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

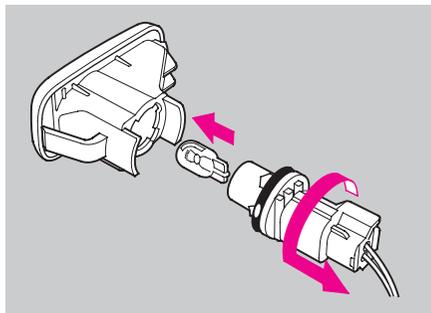


側面方向指示器／側面非常点滅表示灯

①ランプ本体を後方に押して外します。



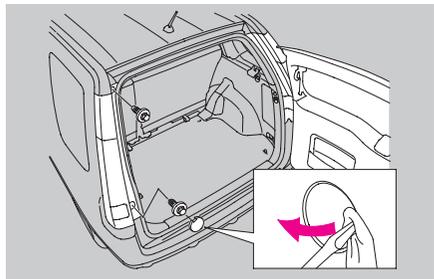
②ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。



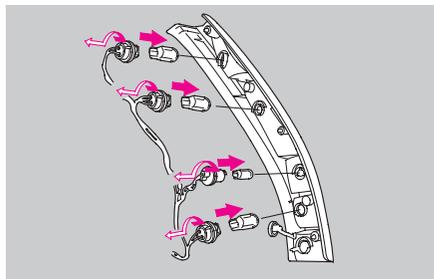


制動灯／尾灯、後面方向指示器／後面非常点滅表示灯、後退灯

- ① キャップを外します。
- ② ネジを外し、ランプ本体を外します。

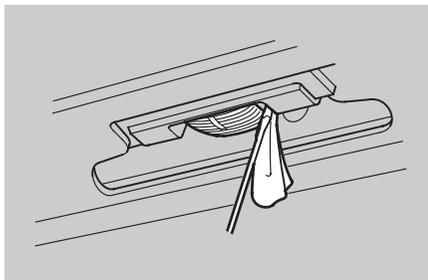


- ③ ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

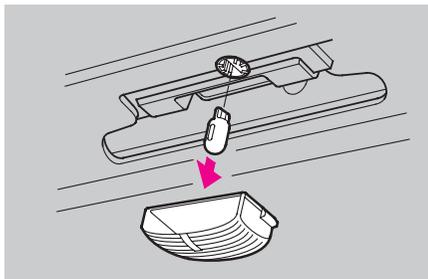


番号灯

- ① ドライバーの先端に布などを巻き、カバーを外します。



- ② 電球を抜き取ります。

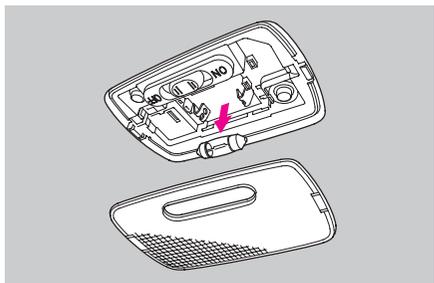


室内灯、カーゴルーム照明灯

①レンズを外します。



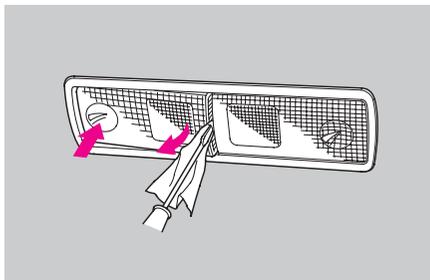
②電球を抜き取ります。



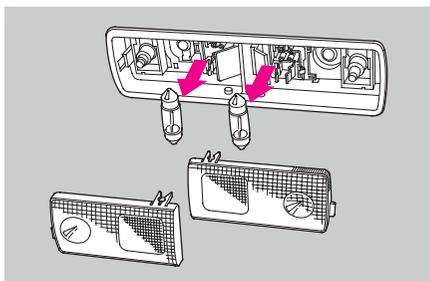
マップランプ

サンルーフ装備車

①レンズを押してすきまを作り、ドライバーを差し込んでレンズを外します。



②電球を抜き取ります。

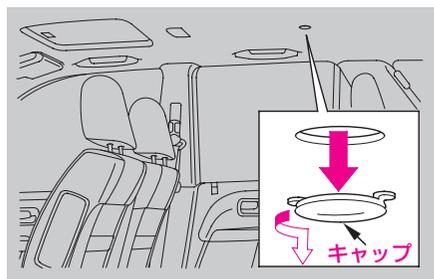


**サンルーフが作動しないとき****サンルーフ装備車**

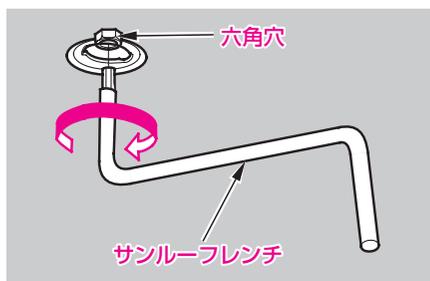
万一、電動でサンルーフが閉まらなくなった場合は、応急処置として工具袋内のサンルーフレンチを使って閉めてください。

工具 →177ページ

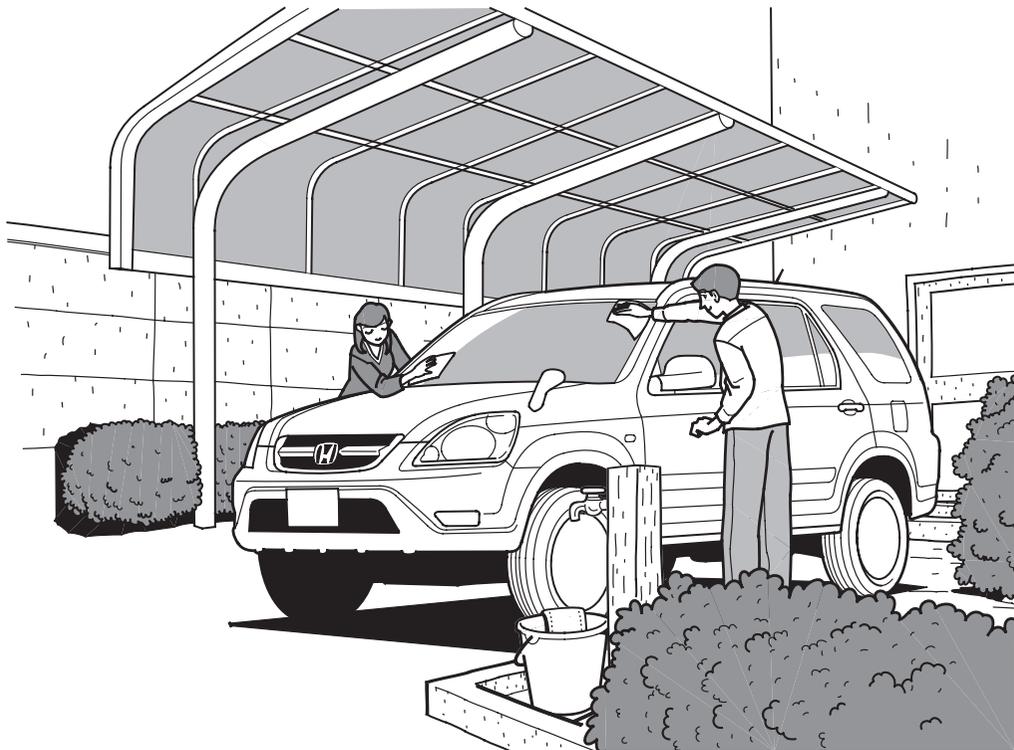
- ①前席ルーフ中央のキャップをコインなどで回し、キャップの溝が図のように左右を向いたところで取り外します。



- ②六角穴にサンルーフレンチを差し込んで回します。

**知識**

- 応急処置後はホンダベルノ店で点検を受けてください。



車の手入れ

- 点検・整備について……268
- 日常の手入れ
 - 外装の手入れ ……………272
 - 内装の手入れ ……………274
 - タイヤについて ……………276
 - アルミホイールについて ……278
 - スペアタイヤカバー
について ……………279
- 車にあった部品の使用…280

6

点検・整備について

車は走行するにすぎない、また時間が経過するとともに部品の劣化や摩耗などが進んでいき、適切な点検整備を行わないと、安全・快適に乗っていただけなくなるばかりか大気汚染や騒音の増加などを引き起こすことがあります。

このようなことから点検整備が必要であり、ドライバー（運転者）は点検整備を実施することが法律でも義務づけられています。



詳しくは、別冊のメンテナンスノートに記載してありますので、よくお読みになり必ず点検整備を行ってください。

●点検整備の種類

日常点検

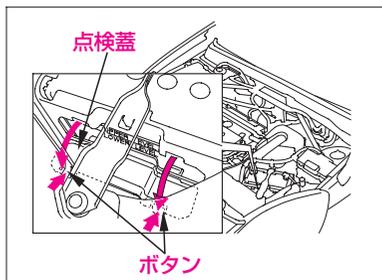
日常の車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

点検時期の目安としては長距離走行前や洗車時、給油時などに実施します。



バッテリー液について

バッテリー液の量は、バッテリーカバーのボタンを押して点検窓を開いて点検します。





法定定期点検

年間走行距離が10,000km程度の標準的な使用を前提に、12か月および24か月毎に実施する点検です。法律で定められているものと、Hondaが指定するものがあります。



その他

新車時の無料点検や定期交換、厳しい使われかたをしたときの点検整備があります。



日常の手入れ

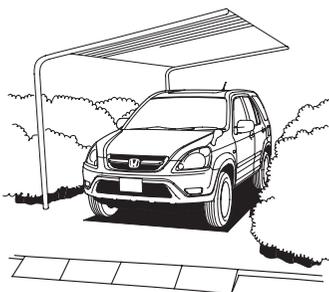
走行後は

- 塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としましょう。
- とび石などによる塗装面の傷は錆の原因となります。見つけたら早めに補修してください。



保管、駐車は

- 風通しのよい車庫や、屋根のある場所をおすすめします。





洗車を忘れずに

- 少なくとも月に一度は洗車しましょう。
- 次の場合は、必ず洗車してください。
 - ・凍結防止剤を散布した道路を走行したとき、海岸地帯を走行したとき。
錆の原因となるので車体の下回り、フェンダーの内側を念入りに洗ってください。
 - ・コールトール、ばい煙、鳥のふん、虫、樹液などがついたとき。
化学変化で塗装面にむらができるので、中性洗剤で洗ってから水で完全に流し、必要に応じてポリシングワックス(ワックス乳液)で磨いてください。
ポリシングワックスは、**Honda**純正ケミカル用品をお使いください。



外装の手入れ

●洗車のしかた

- 十分に水をかけながら、下回り、足まわりの汚れを落とします。
- 塗装面は屋根から順に下のほうへ水をかけながら、スポンジかセーム皮のような柔らかいもので洗います。
- 汚れがひどいところは中性洗剤で洗い、さらに水で完全に洗い落とします。
- 水が乾かないうちに拭き取ります。

- ボンネットの裏のインシュレーターには、直接水をかけて洗わないでください。
- 故意に空気取り入れ口やエンジンルーム内の電気部品に水をかけないでください。故障のもとになります。



自動洗車機を使うとき

- ドアミラーを格納して洗車してください。
- ホイールカバー装備車は、自動洗車機のホイール専用ブラシを使わないでください。十分水をかけスポンジまたはセーム皮のような柔らかいもので洗ってください。
- **スペアタイヤカバー装備車**
カバーを外して洗車してください。
取り外しかた →242ページ
スペアタイヤカバーの手入れ
→279ページ

- 自動洗車機を使うと、ブラシの傷がつき光沢が失われたり、劣化を早めることがあります。

コイン洗車機を使うとき

洗車ノズルと車体の距離を十分に離して洗車してください。
ウィンドーまわりは、特に注意して行ってください。近づけすぎると室内へ水が侵入することがあります。



●ワックスをかけるとき

月に一回程度または水をはじかなくなったときに行います。洗車したあと、日陰か車体表面が体温以下になっているときにワックスをかけます。

- ワックスはHonda純正ケミカル用品をお使いください。



- みがき粉(コンパウンド)入りのワックスは使わないでください。塗装面に細かい傷が残ることがあります。

●樹脂塗装部品 (バンパーなど)の手入れ

ガソリン、オイル、ラジエーター液、バッテリー液などが付着すると、しみの発生や塗膜がはがれる原因となります。

すみやかに柔らかい布で拭き取ってください。

- 樹脂塗装部品の傷の補修をする場合は、ホンダベルノ店にご相談ください。不適當な塗料を使うと塗膜を傷めます。

●ガラスの手入れ

ガラスの油膜を取るときは、ガラスクリーナーをお使いください。

- ガラスクリーナーはHonda純正ケミカル用品をお使いください。

リヤガラスの清掃をするとき

リヤガラスの内側に電熱線が装着されていますので、これに沿って柔らかい布で拭いてください。

内装の手入れ

- ①中性洗剤の水溶液を柔らかい布に軽く含ませて、汚れを落とします。
 - ・飲食物などをこぼしたときは、すぐに汚れを落としてください。
- ②真水を含ませた柔らかい布で、残った洗剤分をきれいに拭き取ります。
- ③直射日光を避け、風通しのよい日陰で乾燥させます。



- ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤は変色、しみなどの原因となるので使わないでください。
- 室内に水をかけないでください。電気部品に水がかかると故障の原因となります。

●液体芳香剤、 レザークリーナーについて

液体芳香剤、レザークリーナーはその成分によっては、樹脂部品、布材の変色、ひび割れを起こすことがあります。

取り扱いには十分にご注意ください。

- 液体芳香剤はこぼさないように、容器を確実に固定してください。
芳香剤の使用にあたっては固形タイプのもをおすすめします。
- レザークリーナーを使用したあとは、必ず乾いた布で軽く拭き取ってください。
また、使用した布はそのまま樹脂部品、布材の上に長時間放置しないでください。



● 本革の取り扱い

タイヤ別注文装備

- ①ウール用中性洗剤の5%水溶液を柔らかい布に軽く含ませて、汚れを落とします。
- ②真水を含ませた柔らかい布で、残った洗剤分をきれいにふき取ります。
- ③直射日光を避け、風通しのよい日陰で乾燥させます。

🎓 知識

- ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤は変色、しみなどの原因となるので使わないでください。
- 本革部分に油污れなどが付くとカビなどの原因となるので、早めに落としてください。
- 本革部分を直射日光に長時間さらすと、変質、縮みの原因となります。駐車するときは、日よけに心がけてください。
- 夏期などは、ビニール類を本革部分の上に置かないでください。
室内が高温になっていると、ビニールが変質して本革部分に付着するおそれがあります。
- 助手席シート**
乾燥していない状態で使用するとサイドエアバッグの乗員姿勢検知システムが正しく作動しないおそれがあります。

タイヤに ついて

タイヤの異常摩耗、亀裂、損傷および指定外の空気圧は、乗り心地、操縦性、タイヤの寿命を損ないます。また、摩耗したタイヤは雨天時の高速走行で通常よりもハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

・安全のため、こまめに点検を行ってください。

また、必ず指定サイズ、同一種類のタイヤをお使いください。

⚠ 警告

● 次のようなタイヤは使わないでください。

コントロールを失うことがあり、思わぬ事故につながります。

- ・ 摩耗限度を超えたタイヤ
- ・ 指定空気圧に調整されていないタイヤ

タイヤの空気圧

→303ページ

⚠ 注意

● タイヤの空気圧を調整するときは、規定圧力を守ってください。

空気を入れ過ぎると、タイヤが破裂しけがをするおそれがあります。

● 4WD車は、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用すると動力伝達装置に悪影響を与えます。

● VSA装備車は、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用するとVSAが正常に機能しなくなることがあります。

摩耗限界表示

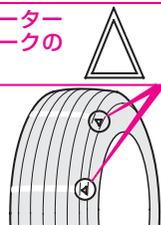
(ウェアインジケーター)

ウェアインジケーターが表れたらタイヤを交換してください。

・ウェアインジケーターは、タイヤの接地面にあり、他の部分より溝が1.6mmだけ浅くなっています。

ウェアインジケーターの位置を示すマークの代表例です

ウェアインジケーターが表れたとき(タイヤの溝がなくなったとき)は交換





●位置交換 (タイヤローテーション)

5,000kmごとにタイヤの位置を交換します。

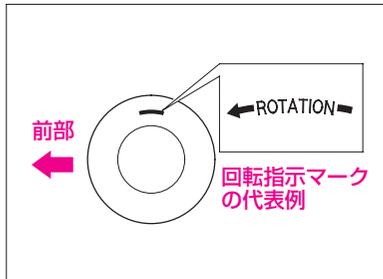
- ・同じ位置で長く走ると偏摩耗し、タイヤの寿命を縮めるだけでなく走行性、制動力にまで悪影響を与えます。

●フルマーク

応急用スペアタイヤは、位置交換に使わないでください。

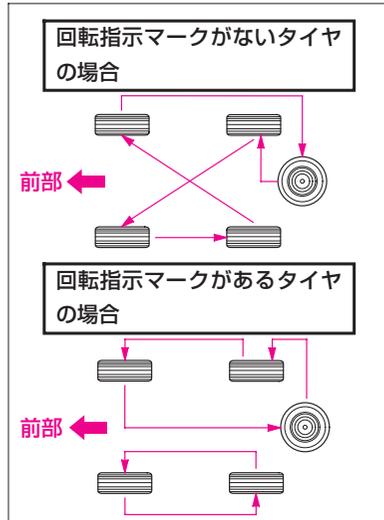
タイヤ回転指示マーク

タイヤの性能上、回転方向が指定されているタイヤには、タイヤ側面に回転指示マークがあります。回転指示マークが前部へ向くように取り付けてください。

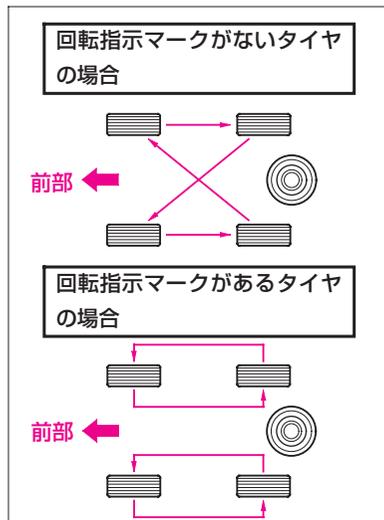


スペアタイヤを使う場合

パフォーマ



スペアタイヤを使わない場合

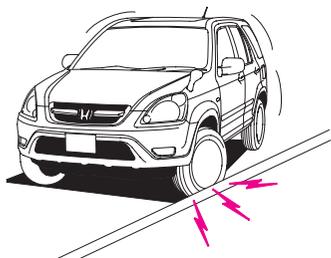


アルミホイール について

アルミホイール装備車

アルミホイールは一般的なスチールホイールと取り扱いかたが異なります。

アルミホイールの特性を維持するため、必ず次のことをお守りください。



●取り扱い

- この車専用のホイールをお使いください。専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換に際しては、必ずホンダベルノ店にご相談ください。
- パンク修理などでホイールを取り付け直した際には、念のため1,000km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。
- アルミホイールは傷つきやすいので歩道の縁石などに乗り上げたり、すり当てたりすることを避けてください。
- バランスウェイトやバルブはHonda純正のアルミホイール専用部品をお使いください。ホイールに傷をつけたり、機能を損なうことがあります。
- タイヤチェーンを装着するときは、正しく装着してください。ホイールに対して片寄ったり、ゆるかったりするとホイールに傷をつけるおそれがありますので注意して装着してください。



●手入れ

- アルミホイールは、塩分や汚れを嫌いますので、海水や道路凍結防止剤などが付いたときには、スポンジに中性洗剤を含ませ、汚れを早めに落としてください。
- ホイールの光沢を維持するため、時々ワックスがけをしてください。
- アルミホイールは傷つきやすいので、砂入り石鹸や硬いブラシを使わないでください。高速洗車機（ホイール専用ブラシ付きのもの）によるホイールの洗浄は避けてください。
- スチーム洗浄などで、熱湯がホイールに直接かからないようにしてください。
光沢を失うおそれがあります。

スペアタイヤカバーの手入れ

スペアタイヤカバー装備車

汚れを拭き取る場合は、中性洗剤または水を含ませた柔らかい布で、拭き取ってください。

- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。ヒビ割れ等の原因になるおそれがあります。

車にあった部品の使用

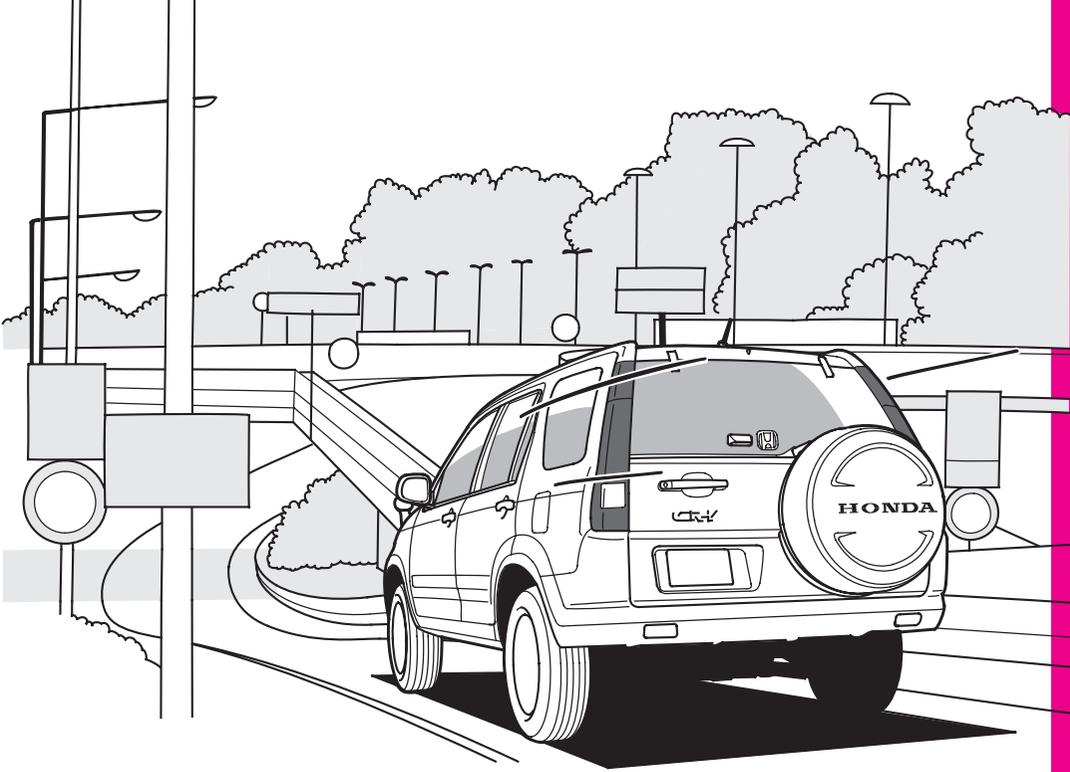
車の性能、品質を維持するために、Honda車に最も適したHonda純正部品をお使いください。

純正部品は厳しい検査を実施し、Honda車に適合するように作られています。お求め、装着に際しては、ホンダベルノ店にご相談ください。

- 純正部品には下のマークがついています。



- Honda純正部品以外の車の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。
適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりすることがあります。
- 車の改造はしないでください。
不正改造は、法律に触れることはもちろん思わぬ事故を起こす場合があります。



車との上手なつきあいかた

●積雪・寒冷時の取り扱い

運転するまえ	282
運転するとき	284
駐車するとき	288
冬期の手入れ	290

●こんなときは

雨の日の運転	292
夏場の取り扱い	294
経済走行のために	295
4WD車の運転	296

7

積雪・寒冷時の取り扱い

運転するまえ

●車に積もった雪や着氷は 取り除く

屋根に積もった雪

走行時にガラス面に落ちた雪が視界のさまたげとなり危険です。走行するまえに取り除いてください。

- ・氷結している部分を無理に取り除くと塗装などを傷めます。氷が溶けてから取り除いてください。



ガラス面の雪や霜

雪や霜を落として視界を確保してください。

- ・プラスチックの板などを使うとガラスに傷をつけずに落とすことができます。

足まわりの着氷

足まわりなどに氷塊が付着している場合は、部品を損傷しないように十分注意して取り除いてください。



●凍結しているとき

ドアの凍結

無理に開けるとドアまわりのゴムがはがれたりするので、お湯をかけて氷を溶かしてから開けてください。

- ・ドアキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結すると、キーが差し込めなくなります。



お湯をかけたあとは、凍結防止のために水分をよく拭き取ってください。

ワイパーの凍結(ガラス面が着氷、積雪しているとき)

ワイパーブレード(ゴム部)を損傷したり、モーターの故障となりますので、氷や雪を取り除いてから動かしてください。

●乗車するとき

靴にこびりついた雪をよく落としてから、乗車してください。

- ・ペダル類を操作するときに滑ったり、室内の湿気が多くなりガラスが曇ったりすることがあります。



運転するまえに

ペダル類やハンドルの動きが円滑かどうか確認してください。

運転するとき

- 雪道や凍結路では、たいへん滑りやすくなっているため、速度を落とし車間距離を十分とって運転しましょう。
また、ハンドルやブレーキの操作は特に慎重にしてください。
 - ・急加速、急減速、急ブレーキや急ハンドルは横すべりを起こして方向性を失います。



- 冬用タイヤ、タイヤチェーンを装着して走行してください。

タイヤチェーンについて

→286ページ

- ・冬用タイヤを装着するときは、四輪とも同じ種類のものに交換してください。
- ・地区条例により違いがありますので、その地区の条例に従ってください。

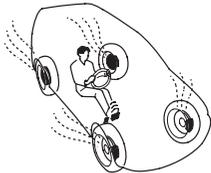
- 冬用タイヤを装着したときには、安全のため高速走行は避けてください。



●ブレーキのききについて

ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し、ブレーキのききが悪くなることがあります。

その際には、前後の車に十分注意して、ブレーキペダルを軽く踏みながら低速で走行し、ブレーキのしめりを乾かしてください。



- ブレーキのききが回復しないときは、ブレーキ系統に異常が考えられますので、ただちにホンダベルノ店で点検を受けてください。

●ウォッシャー液を噴射するとき

先にヒーターを使ってフロントガラスを暖めてからウォッシャー液を噴射します。

⚠ 注意

- 寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。ウォッシャー液が凍りついて視界のさまたげとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●ハンドルのきれについて (タイヤまわりの着氷)

フェンダー裏側に付着した雪が氷結し、次第にたい積してハンドルのきれが悪くなる場合があります。

ときどき確認し、着氷が大きくなる前に取り除いてください。



●パンクしたとき (タイヤチェーン装着時)

フルマーク

前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に付け、外した後輪タイヤを前輪につけてタイヤチェーンを装着します。

- ・応急用スペアタイヤには、タイヤチェーンは装着できません。



●タイヤチェーンについて

推奨タイヤチェーン

フェンダーやホイール表面を傷つけるおそれがありますので、Honda純正スーパーグリップチェーンをお使いください。

お求めはホンダベルノ店へお申しつけください。

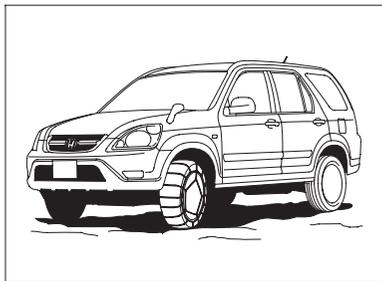
- タイヤチェーンはタイヤに合った適正なものをお使いください。

推奨タイヤチェーン以外のものを使うと、ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

標準的なタイヤチェーンの取り付けかた

4WD車の場合も前輪駆動を主とした四輪駆動なので、チェーンは前輪に装着してください。

後輪には、タイヤチェーンを装着しないでください。





- タイヤチェーンに付属の取扱説明書にしたがって、正しく取り付けてください。

- タイヤチェーンは平らな所で他の交通に十分注意して取り付けてください。

必要に応じて非常点滅表示灯などを使ってください。

- タイヤチェーンを取り付けたときには、安全のため雪道、凍結路では30km/h以下の速度で運転してください。

なお乾燥路面ではタイヤチェーンを装着したままで走行するのは避けてください。チェーンの摩耗を早めます。

- **フルマーク**

応急用スペアタイヤには、タイヤチェーンは装着できません。

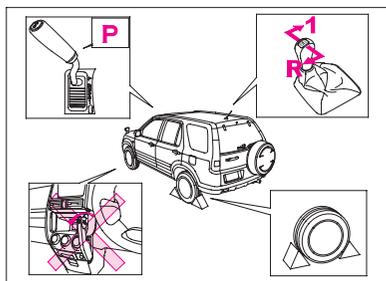
チェーン装着時に前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した後輪タイヤを前輪に取り付け、これに標準タイヤ用のタイヤチェーンを装着してください。

駐車するとき

パーキングブレーキの凍結を防ぐために、パーキングブレーキは使わないでください。

マニュアル車はギヤをR(後退)か1に、オートマチック車は回に入れます。

石などで輪止めをしておきます。



●屋外に駐車するとき

- エンジンの冷えすぎを防ぐために、車の前部を風下や日の当たる方向に向けて停めてください。
 - ・エンジンが冷えすぎると始動しにくくなることがあります。
- 落雪や積雪を避けるために、軒下や樹木の下などには停めないでください。
 - ・車の屋根などがへこむことがあります。
- ワイパーアームは起こしてください。
 - ・雪の重みでアームの取り付け部がこわれることがあります。

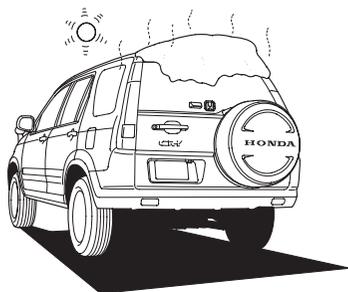


●長期間使わないで 屋外におくとき

塗装面の保護とドアまわりの凍結を防ぐために、ボディカバーを使ってください。

⚠注意

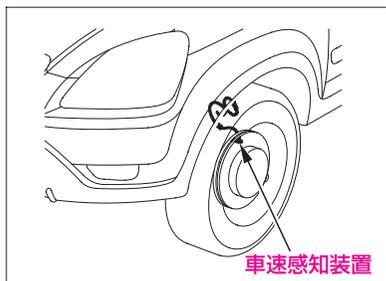
- 格納するとき、エンジン部を毛布で覆ったり、ラジエーターのまわりに段ボールや新聞紙をはさみ込んだりしないでください。
そのまま走行すると、火災のおそれがあります。



冬期の手入れ

●雪道走行後の手入れ

- ・フェンダー裏側や足まわりに付着した泥、雪は周囲の部品を損傷しないように取り除いてください。足まわり(前、後輪の4か所)に車速感知装置が取り付けられていますので、傷をつけないように特に注意してください。



- ・積雪時には道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。錆の原因になりますので、走行後はすぐに洗車してください。特に下回りは念入りに行ってください。

●点検・整備

バッテリーについて

気温が下がるとバッテリーの性能が低下し、エンジン始動に支障をきたすことがありますので、液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や充電をしてください。

エンジンオイルについて

冬期はオイルの劣化が激しくなります。冬期に主として短距離、または市街地を運転される方は、早めに交換してください。



冷却水について

冷却水の凍結を防ぐために点検してください。

ウォッシャー液について

ウォッシャー液の凍結を防ぐために、ウォッシャー液の濃度を上げてください。

- 点検方法はメンテナンスノートを参照し、交換はホンダベルノ店にご相談ください。

こんなときは

雨の日の運転

雨の日は視界が悪くなるうえ、窓ガラスが曇ったり、路面が滑りやすくなるなど悪条件が重なるので通常より注意深い運転が必要です。

- 急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、晴れの日よりも速度を落とし、車間距離を十分にとって運転しましょう。
- ハイドロプレーニング現象に注意しましょう。
- 雨の降り始めの舗装道路は滑りやすいので特に気を付けましょう。

⚠ 警告

- 滑りやすい路面では、急加速、急ブレーキや急ハンドルは避けてください。
車のコントロールを失い思わぬ事故につながります。

ハイドロプレーニング現象とは

路面が水でおおわれているところを高速で走行しようとしたときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になることをいいます。

- このような状態になると、ハンドルやブレーキがきかなくなり、非常に危険です。



●**ガラスの曇りをとりたいとき**
ガラスが曇って外が見にくいときは、エアコンのデフロスターを使って曇りをとります。

リヤガラスの曇りは

リヤデフロスタースイッチを押して、曇りをとります。

●**ガラスの油膜をとりたいとき**
油膜があると、雨の夜は対向車のライトなどが乱反射します。
ガラスクリーナーを使ってガラスの表面をきれいにします。

- ・ガラスクリーナーはHonda純正ケミカル用品をお使いください。

●**ワイパーのふきむらがあるとき**
ワイパーブレードのラバーが傷んでいると、ふきむらが出て視界のさまたげとなります。また、ガラス面を傷つけることがありますので、早めに交換してください。



夏場の 取り扱い

● エアコンの上手な使いかた

- ・冷媒(ガス)が不足していると、冷房性能が低下します。
夏になる前に点検、補充をしておきましょう。
- ・室内温度が高いときは、窓を開けて熱気を逃がしてからエアコンをかけましょう。
- ・エアコンの冷やしすぎは健康上良くありません。

- この車の冷媒は、環境保護のため、新冷媒HFC-134a (R-134a)を使用しています。補充・交換が必要な場合は、ホンダベルノ店にご相談ください。



● 炎天下に駐車するときは

- ・ボディに覆いをかけたり、ハンドルやシートにタオルなどをかけて、室内温度の上昇を抑えましょう。
- ・フロントガラスにアルミ光沢性の日除けバイザーを使うと、反射光が集光し、インストルメントパネルなどが変色、変形することがあります。

● 海から帰ってきたときは

海に出かけた後は車も塩分を浴びています。錆の原因になりますので早めに洗車してください。下回りも念入りに洗いましょう。

● オーバーヒートを防ぐために

冷却水の量が不足しないように、こまめに点検します。

- ・走行中、水温計の針が“H”の目盛に入った場合は、オーバーヒートのおそれがあります。安全な場所に停車してエンジンを冷やしてください。

オーバーヒートしたとき

→250ページ



経済走行の ために

- 不必要な急加速、急減速などアクセルペダルをバタつかせるような運転をしないでください。
- 変速位置の選択は、走行速度に応じて適切に行ってください。
- マニュアル車のチェンジレバーの操作は、クラッチペダルをいっばいに踏み込んでから確実に行ってください。
 - ・クラッチペダルの足のせ運転、半クラッチの連続使用はしないでください。
- 長すぎる暖機運転をしないようにしましょう。
- 点検整備をきちんとし、タイヤの空気圧を適正にしましょう。

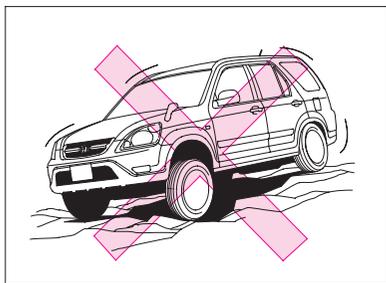
- 駐車時にはエンジンを止めましょう。
- 高速道路でも不必要な高速走行は避けましょう。
- 車間距離は十分にとり、不必要なブレーキをかけないようにしましょう。
- カーゴルームには不必要な荷物は載せないようにしましょう。



4WD車 の運転

4WD車は積雪地、砂地、ぬかるみ、急坂路など滑りやすい路面において2WD車に比べて走破性にすぐれています。万能ではありません。アクセル、ハンドル、ブレーキの操作は一般の車と同じく慎重に行い、常に安全運転を心がけてください。この車は、オフロードやラリー走行を目的とした車ではありません。必ず、次のことをお守りください。

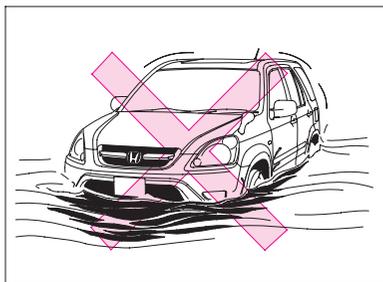
- ・砂地、ぬかるみ等、前輪が空転しやすいところでの連続走行やラリー走行は避けてください。



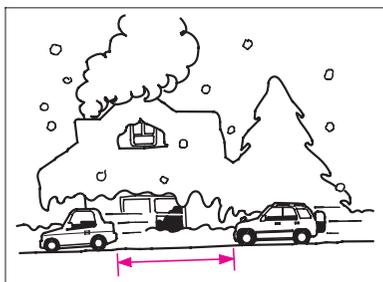
知識

- 4WDの状態で行進中に車輪の空転が続いてシステム内の油温が上昇すると、システム保護のため4WDから2WDに切り換わることがあります。しばらくして油温が下がると、4WDに復帰します。

- ・渡河などの水中走行はしないでください。

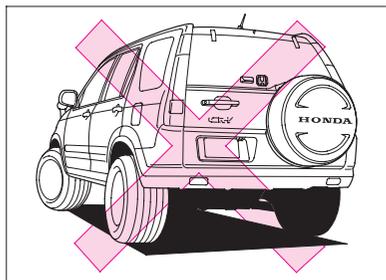


- ・ブレーキ性能は2WD車と比べてほとんど差がないので、滑りやすい路面での走行には十分車間距離をとってください。





- 4WD車は、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用すると動力伝達装置に悪影響を与えます。



- けん引される場合、前輪または後輪を台車に載せた(車輪が回転できない)状態でのけん引は、絶対に行わないでください。駆動装置が破損したり、車輪が台車から飛び出すおそれがあります。

けん引 →236ページ

●こんなとき

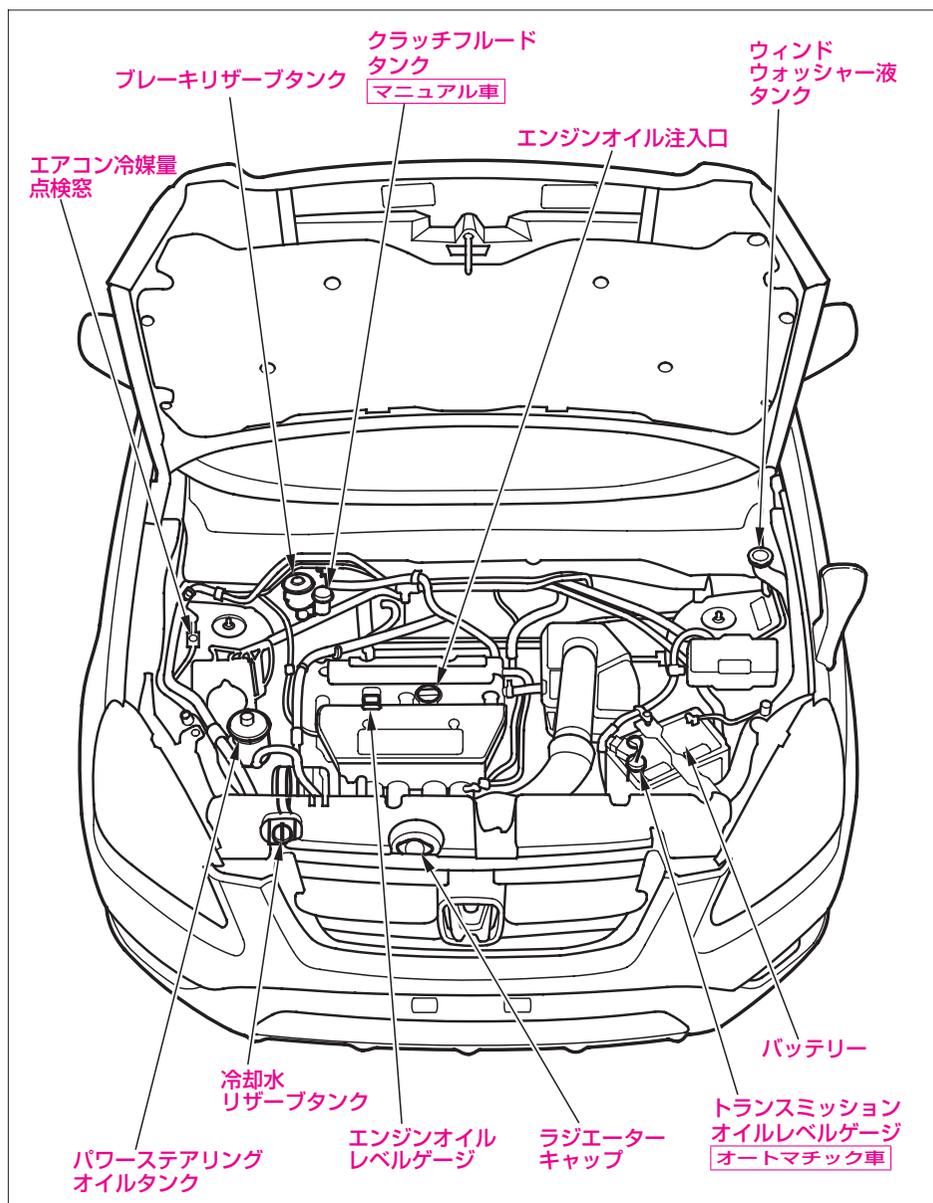
ぬかるみなどにはまってしまったときは

むやみにアクセルペダルを踏むと、穴が深くなりかえって脱出が困難になります。タイヤの下に石や木などをあてがい脱出するか、前進・後退を繰り返し慣性を利用して脱出してください。また、ぬかるみがひどいときは、タイヤチェーンを装着するのも効果的です。

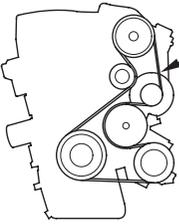
急斜面では

- 急斜面での登り始めと終わりは、凹凸の少ないなだらかな斜面を選んでください。
- 登る途中で前進ができなくなったときは、絶対に方向転換はしないでそのままの状態で降りてください。方向転換をしようとすると、車が傾いたり、転覆することがあります。

サービスデータ



点検整備については「メンテナンスノート」も合わせてご覧ください。

項 目	サ ー ビ ス デ ー タ	
ベルトのたわみ量	 <p data-bbox="636 339 941 424">発電機ベルト (エアコンディショナーベルト、 パワーステアリングベルト兼用)</p>	
	発 電 機 ベ ル ト	自動調整式 (インジケーター内の基準内にあること)
点 火 プ ラ グ*	タ イ プ	NGK ZFR6K-11
		DENSO KJ20DR-M11
	電 極 の す き 間	1.0-1.1 mm

※：ISO (国際標準化機構) 規格品の突出しタイプを使用しています。Ⓔ、Ⓕのマークがついています。

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
ブレーキペダル	遊 び	1-5 mm	
	床板とのすき間	マニュアル	127 mm 以上 {約196N(20kgf)の力}
		オートマチック	VSA装備 136 mm 以上 {約196N(20kgf)の力}
		VSA非装備	130 mm 以上 {約196N(20kgf)の力}
	カーペットとのすき間 (参考値)	マニュアル	89 mm 以上 {約196N(20kgf)の力}
オートマチック		VSA装備	98 mm 以上 {約196N(20kgf)の力}
		VSA非装備	92 mm 以上 {約196N(20kgf)の力}
クラッチペダル	遊 び	6-17 mm	
	床板とのすき間	98 mm 以上(クラッチが切れたとき)	
	カーペットとのすき間 (参考値)	58 mm 以上(クラッチが切れたとき)	
パーキングブレーキ	引 き し ろ	5-9回 {約196N(20kgf)の力}	
エアクリナー エレメント	タ イ プ	乾式	
バ ッ テ リ ー	容 量 / タ イ プ	36AH(5)/46B24L	
電 球 (バ ル ブ)	W (ワ ッ ト) 数	ヘッドライト	12V-35W ^{※1} 12V-60/55W ^{※2}
		フォグライト	12V-51W ^{※3}
		前面方向指示器/前面非常点滅表示灯	12V-21W
		車幅灯	12V-5W
		側面方向指示器/側面非常点滅表示灯	12V-5W
		後面方向指示器/後面非常点滅表示灯	12V-21W
		番号灯	12V-5W
		制動灯/尾灯	12V-21/5W
		後退灯	12V-21W
		室内灯	12V-8W
		マップランプ	12V-8W
		カーゴルーム照明灯	12V-8W

※1：ディスチャージヘッドライト装備車

※2：ハロゲンヘッドライト装備車

※3：ハロゲンバルブ

⚠注意

- ディスチャージヘッドライトのバルブを交換する場合は、必ずホンダベルノ店で行ってください。
ディスチャージヘッドライトは高電圧を使用しており、不適切な取り扱いや分解を行うと感電するおそれがあります。

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
エンジンオイル	推 奨 オ イ ル	Honda純正オイル(4サイクル四輪車用) ウルトラLEO SL(API SL/GF-3級SAE 0W-20)* ウルトラLTD SL(API SL/GF-3級SAE 5W-30) ウルトラGOLD SL(API SL級SAE 5W-40) ウルトラMILD SL(API SL/GF-3級SAE 10W-30)	
	規 定 量	オイル交換時	4.0 ℓ
		オイル、オイルフィル ター同時交換時	4.2 ℓ

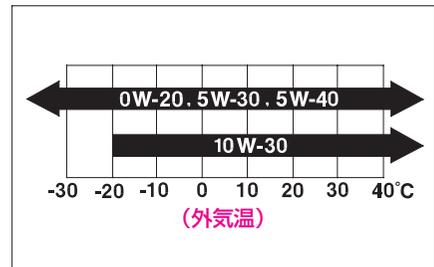
※：0W-20は、最も省燃費性に優れたオイルです。

推奨エンジンオイル

Honda純正エンジンオイルまたはAPI S J 級以上か、オイル缶にAPI CERTIFICATION(エーピーアイ サーフィケーション)マークの入ったエンジンオイルをお使いください。



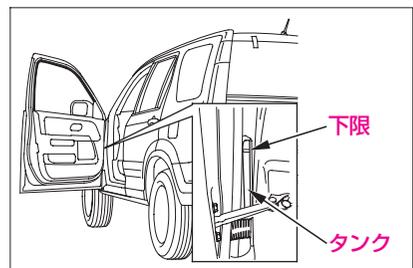
市販のエンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを下表にもとづきお使いください。



項目		サービスデータ		
燃 料	使 用 燃 料	無鉛ガソリン(無鉛レギュラー又はハイオク)		
	タ ン ク 容 量	58 ℓ		
トランスミッション オ イ ル	指 定 オ イ ル	マニュアル	Honda純正オイルウルトラMTF-II	
	指 定 液	オートマチック	Honda純正ウルトラATF-Z1	
	規 定 量 (交換時)	マニュアル	1.9 ℓ	
		オートマチック	2WD車	2.9 ℓ
		4WD車	3.1 ℓ	
デファレンシャル オ イ ル (4WD車)	指 定 液	Honda純正ウルトラDPSF		
	規 定 量 (交換時)	1.0 ℓ		
冷 却 水	指 定 液	Honda純正ウルトラeクーラント		
	規 定 濃 度	50%		
	規 定 量 (交換時リザーブ タンク0.55ℓ含む)	マニュアル	5.4 ℓ	
		オートマチック	5.3 ℓ	
ブ レ ー キ 液	指 定 液	Honda純正ウルトラブレーキフルードDOT 3 またはDOT 4		
ク ラ ッ チ 液	指 定 液	Honda純正ウルトラブレーキフルードDOT 3 またはDOT 4		
パワーステアリング液	指 定 液	Honda純正ウルトラパワーステアリングフルード-Vまたは-II		
ウオッシャー液	タ ン ク 容 量	2.5 ℓ		

ウオッシャー液の量の点検

助手席側ドアを開けタンク内のウオッシャー液の量を確認します。



項目		タイヤ空気圧 kPa (kgf/cm ²)		リムサイズ*	
		前輪	後輪	スチールホイール	アルミホイール
タイヤサイズ 標準タイヤ	205/70R15 95S	180 (1.8)		15×6JJ	15×6JJ
	205/65R16 95S	180 (1.8)		16×6JJ	16×6JJ
応急用 スペアタイヤ (フルマークのみ)	T135/80D16 101M 2WD車	420 (4.2)		16×4T	
	T145/80D16 105M 4WD車	420 (4.2)		16×4T	

タイヤの溝の深さ	1.6 mm 以上
位置交換時期(タイヤローテーション)	5,000 km ごと

※：この車専用のホイールをお使いください。

専用以外のホイールを使うと走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換に際しては、必ずホンダベルノ店にご相談ください。

名称	排気量 (cm ³)	車体形状	乗車定員 (人)	タイプ	
CR-V	1,998	4 ドア ステーション ワゴン	5	フルマーク i G	2WD
				フルマーク i L	
				フルマーク i G	4WD
				フルマーク i L	
				パフォーマ i G	
パフォーマ i L					

エアークリーンフィルターの交換

・高性能脱臭タイプ

タイプ別装備

エアコンには、空気中の花粉・ちり・ほこり・粉じん等を集じんし、ディーゼル排ガス臭・タバコ臭などに脱臭効果のあるエアークリーンフィルターが取り付けられています。エアークリーンフィルターの交換は、通常1年または15,000kmごとに行ってください。ただし、使用条件により異なりますので粉じんの多い場所などでは、早めの交換をおすすめします。

また、芳香剤を使用すると脱臭効果が弱くなったり、脱臭寿命が短くなることがあります。

- ・エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったときなどは、フィルターの目詰まりが考えられます。

交換のしかた →305ページ

・ロングライフタイプ

タイプ別装備

エアコンには、空気中の花粉・ちり・ほこり・粉じん等を集じんするエアークリーンフィルターが取り付けられています。

エアークリーンフィルターの交換は、通常2年または24,000kmごとに行ってください。ただし、使用条件により異なりますので粉じんの多い場所などでは、早めの交換をおすすめします。

- ・エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったときなどは、フィルターの目詰まりが考えられます。

交換のしかた →305ページ

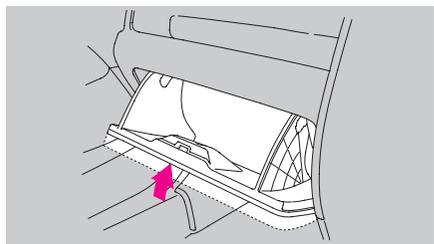
知識

- グローブボックスの内側に交換時期が記載してあります。

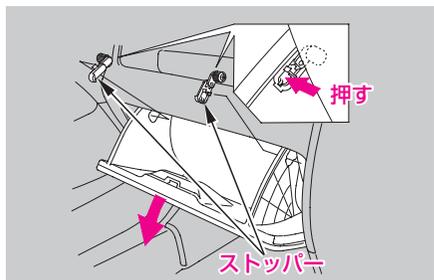
・交換のしかた

- ①グローブボックスを開け、全開の状態から少し戻します。

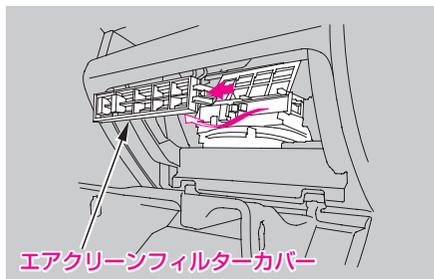
グローブボックス →222ページ



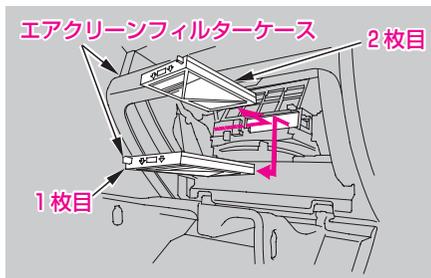
- ②グローブボックスの両側についているストッパーを内側に押し込んで外し、グローブボックスを一番下まで下ろします。



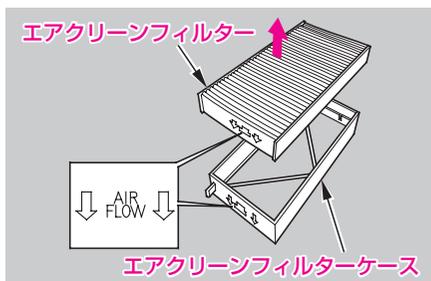
- ③ツメを押しながらエアクリーンフィルターカバーを外します。



- ④エアクリーンフィルターケースを取り出します。1枚目は手前に引き抜きます。2枚目は右側にずらしてから手前に引き抜きます。



- ⑤エアクリーンフィルターケースからエアクリーンフィルターを外して新品と交換します。交換するときはケースとフィルターの“AIR FLOW”マークの矢印が同じ方向(下向き)になるように取り付けてください。



知識

- エアクリーンフィルターを交換するときは、取り付け方向に注意してください。フィルターの取り付け方向を間違えると、フィルターの効果を十分に発揮しません。

さくいん

ア

アームレスト	53・55
アクセサリソケット	217
雨の日の運転	292
アルミホイール	
アンチロックブレーキシステム(ABS)	
運転のしかた	150
ABSのしくみ	150
警告灯	97・151
取り扱いについて	151
アンテナ	172

イ

イグニッション(エンジン)	
キー	32
スイッチ	98

ウ

ウィンカー	
スイッチ	101
電球の交換	262・263
表示灯	90
W(ワット)数	300
ウィンドー	44
ウォッシュ液	
スイッチ	102
タンクの容量	302
冬期の手入れ	291
補給	302
運転のしかた	108

エ

エアクリーナーエレメント	300
エアクリーンフィルター	168・304
エアコン	
シートヒーター	169
使いかた	162
吹き出し風の調節	161
ベルト	299
AM/FMラジオ一体式MDステレオ	198
SRSエアバッグシステム	
SRSエアバッグシステムのしくみ	130
お子さまを乗せるときは	135
警告灯	96・137
作動しないとき	133
作動するとき	132
取り扱いについて	136
エンジンオイル・フィルター	
オイル量	301
冬期の手入れ	290
エンジンキー(キー)	32
エンジンスイッチ	98
照明灯	213
エンジンのかけかた	108
エンジンブレーキ	18・122
エンジンルーム	298
エンジンをかける前に	118

オ

オーディオ	
インデックス	173
上手な使いかた	170
オートエアコン	162
オートマチックトランスミッション	
運転のしかた	118
オイル	302
セレクトレバー	114
オーバードライブ(O/D)	
オーバードライブOFF表示灯	91
オーバードライブ(O/D)スイッチ	116
オーバーヒートしたとき	250
オドメーター	85
温度感知装置	166

カ

外気温表示	86
外装の手入れ	272
学童用(ジュニア)シート	15・73
格納	289
カーゴフック	224
カーゴネット	225
カーゴルーム照明灯	
使いかた	213
電球の交換	264
W(ワット)数	300
カップホルダー	218
ガラスハッチ	40
換気	13
寒冷時の取り扱い	282

キ

キー	32
キー抜き忘れ警告ブザー	99
キーレスエントリー	34
キーレステールゲートオープナー	38
キックダウン	20

ク

クールボックス	227
曇り取り(デフロスター)	166
クラッチペダル	300
クリーブ現象	20
車にあった部品の使用	280
車の積雪について	282
グローブボックス	222

ケ

警告灯	
警告灯類	92
電球切れの点検	97
経済走行	295
けん引	
けん引されるとき	236
故障車をけん引するとき	239

コ

コインボックス	223
コーナーセンサー&バックソナー	126
工具(ツール)	
格納場所	230
種類	231
高速道路で故障したとき	232
後退灯(バックランプ)	
電球の交換	263
W(ワット)数	300
後部ワイパー(リヤワイパー)	
スイッチ	104
故障したとき	232
故障の修理について	233
小物入れ	222
コンビニフック	224

サ

サイドアンダーミラー	66
サイドエアバッグシステム	
警告灯	96・147
作動しないとき	141
作動するとき	140
サイドエアバッグシステム	
自動停止表示灯	91・145
サイドエアバッグシステムのしくみ	138
乗員姿勢検知システム	144
取り扱いについて	146
サービスデータ	298
三点式シートベルト	71
サンバイザー	216
サンルーフ	
作動しないとき	265
サンシェード(遮光板)	46
操作	46

シ

シート	
アレンジインデックス	50
カーゴスペースの作りかた	60
正しい運転姿勢	48
フロントシート	52
フラットシート	58
リヤシート	54
シートアンダーボックス	223
シートヒーター	169
シートベルト	68
警告灯	96
種類	70
ショルダーアンカー	75
着用のしかた	74
シートベルトプリテンショナー	
警告灯	96・149
シートベルトプリテンショナー	
のしくみ	148
取り扱いについて	149
シガレットライター	214
事故が起きたとき	234
室内灯(ルームランプ)	
使いかた	212
電球の交換	264
W(ワット)数	300
シフトロック装置	23・121
霜取り・曇り止め	
前面/側面ガラス	166
ジャッキの取り扱い	240
車幅灯(ポジションランプ)	
電球の交換	262
W(ワット)数	300
充電警告灯	95
樹脂塗装部品	273
ジュニア(学童用)シート	15・73
純正部品	280

ス

水温計	86
スイッチの使いかた	98
スノータイヤ(冬用タイヤ)	284
スパークプラグ(点火プラグ)	299
スピードメーター	85
スペアタイヤ	
格納場所	230
空気圧	303
サイズ	303
スペアタイヤについて	244
スペアタイヤカバー	242・279

セ

制動灯(ブレーキランプ)	
電球の交換	263
W(ワット)数	300
積雪・寒冷時の取り扱い	282
運転するとき	284
運転するまえ	282
駐車するとき	288
冬期の手入れ	290
セレクトレバー	
操作	114
ポジション表示灯	91
洗車のしかた	272
前照灯(ヘッドライト)	
上向きと下向きの切り換え	100
上向き表示灯	90
追い越し合図(パッシング)	100
スイッチ	100
W(ワット)数	300
センターテーブル	217
センターポケット	222

ソ

速度計	85
速度範囲	112・117
その他の安全装備	157

タ

タイヤ	
位置交換(ローテーション)	277
ウェアインジケータ	276
空気圧	303
交換	246
サイズ	303
スペアタイヤ	244・245
スノータイヤ	284
チェーン	286
点検	276
タコメーター	85

チ

チェーン	286
チェンジレバーの操作	112
チケットホルダー	216
チャイルド(幼児用)シート	15・73
チャイルドシート固定機構	
付シートベルト	78
チャイルドシート固定装置	78
チャイルドブルーフ	35
駐車	
坂道	25
積雪・寒冷時の取り扱い	288
駐車ブレーキ(パーキングブレーキ)	
警告灯	94
積雪・寒冷時の取り扱い	288
操作	111
チルトステアリング	62

テ

テイクアウトテーブル	220
テールゲート	38
開閉警告灯	96
停止表示板固定ベルト	227
デザアンカー	80
点火プラグ	299
電気系統が異常のとき	252
電気装置が作動しないとき	254
電球(バルブ)	
交換	258
W(ワット)数	300
点検・整備について	268
電動リモコンドアミラー	64

ト

ドア	
開閉警告灯	96
施錠・解錠	32
積雪・寒冷時の取り扱い	283
ドアミラー	64
冬期の手入れ	290
道路で動けなくなったとき	232
時計	197・210
塗装の手入れ	272
トノカバー	226
トランスミッション	
オイルの容量	302
警告灯	96
トリップメーター	85

ナ

内装の手入れ	274
夏場の取り扱い	294

ニ

日常の手入れ	271
二点式シートベルト	71
乳児用(ベビー)シート	15・73

ネ

燃料(ガソリン)	
使用燃料	42
タンク容量	42
燃料計	86
燃料残量警告灯	96
補給口	42

ハ

パーキングブレーキ(駐車ブレーキ)	
警告灯	94
積雪・寒冷時の取り扱い	288
操作	111
灰皿	215
ハイドロブレーニング現象	292
ハイビーム表示灯	90
ハザードランプ(非常点滅表示灯)	
スイッチ	106
電球の交換	262・263
W(ワット)数	300
発炎筒	
格納場所	230
発炎筒について	231
バックソナー	126
バックミラー(後写鏡)	
サイドアンダーミラー	66
ドアミラー	64
ルームミラー	63
バッテリー	
充電	253
冬期の手入れ	290
バッテリーあがりのとき	252
バッテリー液について	268
容量	300
発電機ベルト	299
バニティミラー(化粧鏡)	216
パワーウィンドー	44
パワーステアリングベルト	299
パンク	
パンクしたとき	240
番号灯(ライセンスランプ)	
電球の交換	263
W(ワット)数	300

ヒ

PGM-FI警告灯	95
ビークルスタビリティアシスト(VSA)	
運転のしかた	153
警告灯	97・155
表示灯	91・152
取り扱いについて	154
VSAのしくみ	152
非常点滅表示灯(ハザードランプ)	
スイッチ	106
電球の交換	262・263
W(ワット)数	300
尾灯	
電球の交換	263
W(ワット)数	300
ヒューズ	254
表示灯	88

フ

フォグライト	
スイッチ	101
電球の交換	261
吹き出し風の調節	161
踏切で動けなくなったとき	232
フューエルリッド	43
プラグ	299
ブレーキ	
警告灯	94
積雪・寒冷時の取り扱い	285
倍力装置	18
ペダル	300

へ

ヘッドライト
上向きと下向きの切り換え 100
上向き表示灯 90
追い越し合図(パッシング) 100
スイッチ 100
電球の交換 260
W(ワット)数 300
ヘッドレスト 52・54
ベビー(乳児用)シート 15・73
ベルトのたわみ量 299

ほ

ホーンスイッチ 106
ホイールサイズ 303
ホイールの交換について 249・303
芳香剤 274
方向指示器
スイッチ 101
電球の交換 262・263
表示灯 90
W(ワット)数 300
ボンネット 36

ま

マップランプ 212
使いかた 212
電球の交換 264
W(ワット)数 300
万一のとき 229

み

ミラー
サイドアンダーミラー 66
ドアミラー 64
ルームミラー 63

む

無線装置 27

め

メーター(計器類) 84

ゆ

油圧警告灯 94
雪道走行後の手入れ 290

よ

幼児用(チャイルド)シート 15・73
四輪駆動機構(4WD) 156
4WD車の運転 296

ラ

ライト消し忘れ警告ブザー	100
ライトスイッチ	100
ライト類が点灯しないとき	254
ラジオの使いかた	176・200

リ

リムサイズ	303
リモートコントロールドアミラー	64
リヤデフロスター	105
リヤワイパー	104

ル

ルームミラー(防眩式室内後写鏡)	63
------------------	----

レ

冷却水(ラジエーター液)	
水量	302
冬期の手入れ	291
レザークリーナー	274

ワ

ワイパー	
スイッチ	102
積雪・寒冷時の取り扱い	288
ワックスがけ	273

A

ABS(アンチロックブレーキシステム)	
運転のしかた	150
ABSのしくみ	150
警告灯	97・151
取り扱いについて	151
A/C(エアコン)	
使いかた	162
吹き出し風の調節	161
ベルト	299
AT(オートマチックトランスミッション)	
運転のしかた	118
オイル	302
セレクタレバー	114

E

ELR付三点式シートベルト	70
ELR・ALR付三点式シートベルト	70

H

HFC-134a(エアコン冷媒)	294
------------------	-----

I

INT(間欠ワイパー)	103
ISO FIX テザータイプチャイルドシート 固定装置	80

M

MT(マニュアルトランスミッション)	
オイル	302
チェンジレバー	112

P

PGM-FI警告灯	95
PRESS(シートベルトバックル)	75・77

S

SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステムのしくみ	130
お子さまを乗せるときは	135
警告灯	96・137
作動しないとき	133
作動するとき	132
取り扱いについて	136

V

VSA(ビークルスタビリティアシスト)

運転のしかた	153
警告灯	97・155
表示灯	91・152
取り扱いについて	154
VSAのしくみ	152

W

W数(ライト類の電球のワット数)	300
------------------	-----

お問い合わせ、ご相談は、お買い求めの販売店もしくは全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターがお受け致します。

フリーダイヤル	0120-112010
FAXインフォメーション	03-5412-2388

本田技研工業株式会社 お客様相談センター

受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00

〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1

・所在地、電話番号が変更になることがありますのでご了承ください。

販売店のご案内、カタログのご注文、車の手続き、税金、保険、車種別主要諸元、装備、価格についてはHonda24時間FAXインフォメーションをご用意しておりますのでご利用ください。

こんなことでお困りのとき

●キーが回せない

“0”から“1”に回らないとき

- ・ハンドルを左右に動かしながらキーを回してください。

エンジンスイッチ →98ページ

“1”から“0”に回らないとき **オートマチック車**

- ・セレクトレバーが回に入っていますか。

キーを抜くとき →98ページ

●エンジンがかからない

- ・オートマチック車は、セレクトレバーが回か回に入っていますか。
- ・ガソリンが入っていますか。(メーター内の燃料計で確認してください。)
- ・バッテリーがあがっていませんか。

バッテリーあがりのとき →252ページ

- ・マニュアル車はクラッチペダルをいっばいに踏み込んでいますか。

クラッチ・スタートシステム →110ページ

●セレクトレバーが回から動かさない **オートマチック車**

- ・ブレーキペダルを踏んでから操作していますか。
(操作できないときは、キーをシフトロック解除穴に差し込み、押しながらセレクトレバーを動かしてください。)

セレクトレバーが動かないとき →121ページ

- ・エンジンスイッチを“II”にしてから操作していますか。

シフトロック装置の正しい理解を →23ページ

●ドアを開けるとブザーが鳴る

- ・キーをエンジンスイッチに差し込んだままになっていませんか。

キー抜き忘れ警告ブザー →99ページ

- ・ライトを消し忘れたままになっていませんか。

ライト消し忘れ警告ブザー →100ページ

●キーを閉じ込めてしまった

- ・Honda販売店またはJAFへご連絡ください。

●水温計の針が“H”の目盛に入った

●エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている

- ・オーバーヒートのおそれがあります。
(安全な場所に停車して、エンジンを冷やしてください)

オーバーヒートしたとき →250ページ

●走行中にブレーキを踏むと金属的な摩擦音がる

- ・ブレーキパッドが摩耗して使用限界になっているおそれがあります。
(ホンダベルノ店で点検を行ってください。)